

(様式第 10)

東邦大森院（総）第 3-50 号
令和 3 年 10 月 1 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 学校法人東邦大学
理事長 炭山嘉伸

東邦大学医療センター大森病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和 2 年度の業務に関して報告します。
記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒143-8540 東京都大田区大森西 5 丁目 2 1 番 1 6 号
氏 名	学校法人東邦大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

東邦大学医療センター大森病院

3 所在の場所

〒143-8541 東京都大田区大森西 6 丁目 1 1 番 1 号	電話 (03) 3762 - 4151
------------------------------------	---------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

○1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	○有	無
内科と組み合わせた診療科名等		
1呼吸器内科		
2消化器内科		
3循環器内科		
4腎臓内科		
5神経内科		
6血液内科		
7内分泌内科		
8代謝内科		
9感染症内科		
○10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		
○11リウマチ科		
診療実績		

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	○有 ・ 無		
外科と組み合わせた診療科名			
○1呼吸器外科	○2消化器外科	3乳腺外科	4心臓外科
5血管外科	○6心臓血管外科	7内分泌外科	○8小児外科
診療実績			

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○1精神科	○2小児科	○3整形外科	○4脳神経外科	○5皮膚科	○6泌尿器科	7産婦人科
○8産科	○9婦人科	○10眼科	○11耳鼻咽喉科	○12放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科		○15麻酔科	○16救急科			

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	○有 ・ 無		
歯科と組み合わせた診療科名			
○1小児歯科 ○2矯正歯科 ○3口腔外科			
歯科の診療体制			

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 心療内科	2 脳神経内科	3 呼吸器科	4 消化器科	5 循環器科	6 形成外科
7 美容外科	8 性病科	9 肛門科	10 気管食道科	11 リハビリテーション科	12 病理診断科
13	14	15	16	17	18
19	20	21			

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
36床	床	床	床	880床	916床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	260人	192人	432.8人	看 護 補 助 者	10人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	3人	4人	6.6人	理 学 療 法 士	15人	臨床検査技師	98人
薬 剤 師	68人	4人	71.6人	作 業 療 法 士	6人	衛生検査技師	0人
保 健 師	269人	0人	269.0人	視 能 訓 練 士	8人	そ の 他	0人
助 産 師	74人	0人	74.0人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	678人	15人	687.9人	臨 床 工 学 士	21人	医療社会事業従事者	6人
准 看 護 師	3人	0人	3.0人	栄 養 士	2人	その他の技術員	58人
歯 科 衛 生 士	5人	1人	5.1人	歯 科 技 工 士	0人	事 務 職 員	129人
管理栄養士	16人	1人	16.9人	診 療 放 射 線 技 師	59人	そ の 他 の 職 員	15人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	43人	眼 科 専 門 医	11人
外 科 専 門 医	46人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	10人
精 神 科 専 門 医	8人	放 射 線 科 専 門 医	7人
小 児 科 専 門 医	26人	脳 神 経 外 科 専 門 医	10人
皮 膚 科 専 門 医	6人	整 形 外 科 専 門 医	12人
泌 尿 器 科 専 門 医	16人	麻 酔 科 専 門 医	8人
産 婦 人 科 専 門 医	29人	救 急 科 専 門 医	6人
		合 計	238人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (瓜田 純久) 任命年月日 令和3年7月1日 (前回任命：平成30年7月1日)

セイフティーマネジャー 平成19年4月～平成22年1月。
 医療の質会議への出席、医療安全管理委員会・安全管理対策委員会への助言。
 管理者任期は1期3年間で、令和3年10月1日現在は2期目の1年目。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	633.9人	4.0人	637.9人
1日当たり平均外来患者数	1,849.7人	52.3人	1,902.0人
1日当たり平均調剤数	1,013.8剤（入院：892.0剤，外来：121.8剤）		
必要医師数	171.7人		
必要歯科医師数	4人		
必要薬剤師数	24人		
必要（准）看護師数	382.35人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	246.69m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	病床数	9床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 34.45m ² [移動式の場合] 台数 7台	床面積	34.45m ²	病床数	1床	
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 32.80m ² [共用室の場合] 共用する室名	床積	32.80m ²			
化学検査室	615.32m ²		(主な設備) 生化学自動分析装置			
細菌検査室	216.56m ²		(主な設備) 微生物検査装置・顕微鏡			
病理検査室	451.79m ²		(主な設備) 顕微鏡			
病理解剖室	93.84m ²		(主な設備) 解剖台			
研究室	93.84m ²		(主な設備) クリーンベンチ・CO2インキュベーター			
講義室	342.56m ²		室数	3室	収容定員	198人
図書室	72.21m ²		室数	1室	蔵書数	1,142冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	89.3 %	逆紹介率	67.1 %
算出根拠	A: 紹介患者の数		21,229 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		18,276 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		3,094 人
	D: 初診の患者の数		27,227 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
梅田 勝	東京工科大学 医療保健学部 学部長 (医師)	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・○無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者 その他の学識経験を有する者
小林 七郎	弁護士 (東京弁護士会)		法律に関する識見を有する者	有・○無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者 その他の学識経験を有する者
岩本 裕	NHK チーフ・プロデューサー		医療メディアに関する識見を有する者	有・○無	医療を受ける者その他の医療従事者以外の者
高松 研	東邦大学 学長 (医師)		医療に関する識見を有する者	○有・無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者 その他の学識経験を有する者
盛田 俊介	東邦大学 医学部 学部長 (医師)		医療に関する識見を有する者	○有・無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者 その他の学識経験を有する者
				有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	○有・無
委員の選定理由の公表の有無	○有・無
公表の方法 病院ウェブサイトにて公開 https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/byoin/evaluation/audit.html	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

(2020年度実績)

3 その他の高度の医療

医療技術名： 実態模型を使った顎再建 当該医療技術の概要： CTのDICOMデータを用いた実態模型を石膏により作成して、そのうえで歯肉がんなどの顎骨離断を行った予想を表現し、チタンメッシュトレーやプレートなどを屈曲して硬性再建(骨移植を含む)を行った。	取扱い患者数 2 人
医療技術名： 顎欠損に対する顎骨支持型補綴装置を用いた咬合再建 当該医療技術の概要： 顎骨支持型補綴装置(インプラント埋入を含む)を用いた咬合再建を行った。	取扱い患者数 1 人
医療技術名： 重症自己免疫水疱症の集学的治療 当該医療技術の概要： 重症天疱瘡、類天疱瘡に対し、ステロイド大量療法が効果不十分である場合に、免疫抑制療法、血漿交換療法、大量免疫グロブリン静注療法を行い効果を上げている。	取扱い患者数 5 人
医療技術名： パッチテスト 当該医療技術の概要： 皮膚科では、スタンダードシリーズによる抗原検索のみならず、成分分析に基づく成分パッチテストを施行し、より詳細な原因特定を行い、患者さんのみならず社会にアレルゲンの同行を追求することにより貢献している。	取扱い患者数 5 人
医療技術名： 先天性表皮水疱症の超微細形態学的病型診断 当該医療技術の概要： 先天性表皮水疱症は、本邦で1,000人程度の患者数の稀な疾患である。生検皮膚を用いたモノクローナル抗体による蛋白発現の検索および電子顕微鏡による超微細形態観察による病型診断を行っている。	取扱い患者数 5 人
医療技術名： 腹腔鏡下手術 当該医療技術の概要： 腹腔鏡下子宮付属器癒着剥離術・腹腔鏡下子宮付属器腫瘍摘出術 腹腔鏡下卵管全摘除術・腹腔鏡下子宮卵管留血腫手術・腹腔鏡下子宮外妊手術 腹腔鏡下子宮筋腫摘出術・腹腔鏡下子宮全摘出術・子宮鏡下子宮筋腫摘出術	取扱い患者数 300 人

<p>医療技術名： 胎児治療</p> <p>当該医療技術の概要： 内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼 胎児胸腔羊水シャント術</p>	<p>！取扱い患者数 44 人</p>
<p>医療技術名： 高度生殖補助医療</p> <p>当該医療技術の概要： 採卵・胚移植</p>	<p>！取扱い患者数 757 人</p>
<p>医療技術名： 婦人科悪性腫瘍手術</p> <p>当該医療技術の概要： 子宮悪性腫瘍手術 子宮付属器悪性腫瘍手術 円錐切除術</p>	<p>！取扱い患者数 151 人</p>
<p>医療技術名： 遊離・有茎動脈皮弁術</p> <p>当該医療技術 外傷、悪性腫瘍切除後欠損、難治性潰瘍、離開創などで、保存的療法や植皮などでは閉創困難な組織欠損に対して、遊離皮弁あるいは有茎皮弁移植を用いて、整容的・機能的に満足度の高い形成手術を行っている。</p>	<p>！取扱い患者数 40 人</p>
<p>医療技術名： 顔面神経麻痺に対する側頭筋弁移行術・顔面神経移植術による再建</p> <p>当該医療技術 顔面神経麻痺による顔面表情の非対称に対して、側頭筋弁移行術・顔面神経移植術により自然な笑いの再現と、対称的顔貌の再現が可能となる。</p>	<p>！取扱い患者数 2 人</p>
<p>医療技術名： ナビゲーションシステムによる顔面骨手術・陳旧性顔面骨骨折</p> <p>当該医療技術 顔面骨骨折の術中整復位評価と陳旧性顔面骨骨折による変形治療に対する骨切り矯正手術に、ナビゲーションシステムを応用し、よりの確で精度の高い手術が可能となる。</p>	<p>！取扱い患者数 5 人</p>
<p>医療技術名： 難治性創傷に対する洗浄療法を併用した陰圧閉鎖療法</p> <p>当該医療技術 軟膏塗布や創傷被覆材による保存的治療で創治癒が得られない難治性創傷に対して、陰圧閉鎖療法(洗浄療法を併用したものを含む)を適用し、wound bed preparationを行い、感染の鎮静化と肉芽増生を図り、適切な時期に植皮や皮弁、縫合処置を行う事で創治癒が得られる。</p>	<p>！取扱い患者数 50 人</p>

医療技術名： 皮弁栄養血管の血流視覚化・数値化による皮弁再建術	！取扱い患者数 30人
<p>当該医療技術 皮弁再建手術において、皮弁栄養血管の位置、血管走行、血流量や血流速度・末梢血管抵抗指数など詳細な血行動態を評価することは安全な皮弁移植のために重要である。超音波断層検査やICG血管造影、経皮的皮膚血流測定（レーザー血流計、炭酸ガスモニタ）を用いて周術期の血流評価を行っている。</p>	
医療技術名： 色素性疾患に対する治療	！取扱い患者数 150人
<p>当該医療技術 赤あざ（血管腫、毛細血管拡張症）に対するダイレーザー（Vbeam）治療や、乳児血管腫に対するβブロッカー（ヘマンジオールシロップ）内服治療、青あざ（太田母斑・異所性蒙古斑）・茶あざ（扁平母斑・ベッカー母斑）に対するアレクサンドライトレーザー治療を行っている。</p>	
医療技術名： 三次元合成画像を用いた手術シミュレーション	！取扱い患者数 35人
<p>当該医療技術 頭部MRI、CT、DSAの画像データを用いて、三次元合成画像を作成し、各症例の手術方法に応じて、骨切りや脳のリトラクトを行い、術前手術シミュレーションを行った。これにより、手術操作の円滑化、他医師およびメディカルスタッフとの情報共有を図った。</p>	
医療技術名： 3Dプリンターによる実体モデルを用いた手術シミュレーション	！取扱い患者数 20人
<p>当該医療技術 前述の三次元合成画像の作成方法と同様に、頭部MRI、CT、DSAの画像データを用いて、三次元合成画像を作成したのち、頭蓋底腫瘍など、特に解剖学的所見の立体的特徴の把握が重要な症例には、3Dプリンターで実体模型を作製し、術前シミュレーションを行った。また、必要に応じて研究室内の手術用顕微鏡およびドリルを用いて、実際の手術手技を行った。</p>	
医療技術名： 術中脳機能モニタリング	！取扱い患者数 60人
<p>当該医療技術 脳腫瘍や未破裂脳動脈瘤の手術のほとんどで、術中モニタリングとして、MEP、SEPを行った。また年間15例ほど手術を行っている脊髄腫瘍では、MEP、SEPとともに、積極的にBCRを行い、膀胱直腸障害のモニタリングを行った。</p>	
医療技術名： 神経内視鏡手術	！取扱い患者数 10人
<p>当該医療技術 神経内視鏡として硬性鏡、軟性鏡を用いて、下垂体腺腫の手術を行った。また、脳内血腫に対しても用いる。</p>	
医療技術名： 新生児先天性心疾患の内科的管理および外科的治療	！取扱い患者数 10人
<p>当該医療技術 新生児期に発症する重症先天性心疾患においては、適切な時期に手術を行うことが可能となるように、より専門的な内科管理が必要である。新生児に対する外科治療では、手術の難易度が高いだけでなく、術中の麻酔も含め、幼児以降の小児患者よりも綿密な管理が必要となってくる。術後においても、新生児の未熟性のために回復が遅く、急激な悪化を示すことが多く、リスクを回避するために、専門医による管理が必須である。</p>	

医療技術名： 肺高血圧症における一酸化窒素療法	! 取扱い患者数 10 人
<p>当該医療技術 高度の肺高血圧を伴う先天性疾患において、術後に肺高血圧クリーゼを来すことがある。この発作は致死的な状態であり、一旦発症すると回復することが困難となる。術後、このクリーゼ予防のため、血行動態をより安定化させる必要があり、一酸化窒素療法が重要な治療戦略の一つになっている。適切な投与量をモニタリングしながら、副作用に留意すべき治療であり、専門医による管理が必要である。</p>	
医療技術名： 小児先天性心疾患に対する心臓カテーテル検査	! 取扱い患者数 50 人
<p>当該医療技術 小児の先天性心疾患では、体格が小さいことだけではなく、その解剖学的な複雑性から、カテーテル手技の難易度は極めて高い。アクセスする血管が細く、脆弱であるため、高度の技術を要する。また、検査中に呼吸状態や血行動態が不安定になるリスクが高いため、カテーテル術者だけでなく、看護師、技師を含めたチームでの管理が必要になってくる。</p>	
医療技術名： 小児先天性心疾患に対する心臓カテーテル治療	! 取扱い患者数 8 人
<p>当該医療技術 動脈管開存症、肺動脈弁狭窄、肺動脈狭窄などに対する、経皮的コイル塞栓術や経皮的バルーン拡張術を行っている。これらのカテーテル治療では、乳幼児の開心術を回避することができ、先天性心疾患の術後に残存した病変に対しても、再手術を回避することができる。しかし、技術的に難易度が高く、適切な手技と治療デバイスの選択が必要であり、専門医によってのみ行うことが出来る。</p>	
医療技術名： 肺高血圧症に対するEpoprostenol持続静注療法	! 取扱い患者数 10 人
<p>当該医療技術 小児期に発症した肺高血圧症に対して、Epoprostenol持続静注療法の使用経験は他の施設に比して、当院では多い。100万人に1-2人程度の発症率であるが、専門施設としてより多くの症例の経験を積んでいる。本治療にあたり、埋没型カテーテルの挿入が必要であるが、血行動態が不安定な場合、術中に急変するリスクが高い。このため、麻酔科、外科とも綿密な治療計画を立てて、手術にあたっている。持続静注の投与量についても副作用に留意しながら、症例毎に適切な投与量を設定する必要があり、専門医による管理が必要である。</p>	
医療技術名： 小児難治性白血病に対する集学的治療	! 取扱い患者数 15 人
<p>当該医療技術 小児白血病を含む小児がん患者に対して多剤併用化学療法を行う。治療は極めて強力であり、骨髄抑制をはじめとして多岐にわたる有害事象が確実に発生するため、これらへの対応が重要である。治療には小児外科、放射線科、脳神経外科、病理部などの協力が不可欠であり、これらの診療科とのカンファレンスを密に行い、最適な治療を行う。一部の患者では自家造血細胞移植も併用する。</p>	
医療技術名： 先天性甲状腺機能低下症の診断と治療	! 取扱い患者数 50 人
<p>当該医療技術 新生児マススクリーニングなどで発見された先天性甲状腺機能低下症の患者さんを対象としている。尿中ヨード測定で母体からのヨード過剰の有無、甲状腺超音波検査で形態異常、位置異常の有無を確認し、病態の把握を行っている。その後、成長発達に留意しながら、甲状腺ホルモンの補充療法を行っている。</p>	
医療技術名： 成長ホルモン治療	! 取扱い患者数 35 人
<p>当該医療技術 成長ホルモン治療の保険適応がある、成長ホルモン分泌不全、ターナー症候群、SGA性低身長症、軟骨異栄養症などの患者さんを対象にしている。必要に応じて、他のホルモン分泌不全の評価、成長ホルモン分泌刺激試験や、頭部MRI、合併する疾患の有無を確認した後、副作用などに留意して、成長ホルモン治療を行っている。</p>	

医療技術名： 新生児の体腔穿刺	！取扱い患者数 12 人
当該医療技術 新生児気胸に対する脱気、胸水腹水に対するドレナージ治療を行った。	
医療技術名： 新生児重症辛疾患の内科的管理及び外科的治療	！取扱い患者数 28 人
当該医療技術 チアノーゼまたは重症心不全を呈する新生児早期の先天性心疾患に対するPGEI製剤などによる内科的治療及び新生児早期の開心術、短絡術を随時施行している。	
医療技術名： 新生児遷延性肺高血圧症における一酸化窒素吸入療法	！取扱い患者数 8 人
当該医療技術 新生児遷延性肺高血圧症に対し、微量のNOガスを投与した。	
医療技術名： 肺サーファクタント補充療法	！取扱い患者数 35 人
当該医療技術 新生児呼吸窮迫症候群に対し、期間内人工肺サーファクタント補充療法を行った。	
医療技術名： 気管支肺異形成症・気胸予防に対する高頻度振動換気療法	！取扱い患者数 20 人
当該医療技術 気管支肺異形成症・気胸予防に対し高頻度振動換気療法を行った。	
医療技術名： 未熟児動脈管開存症に対する薬物的閉鎖療法	！取扱い患者数 22 人
当該医療技術 未熟児動脈管開存症に対し、心エコー検査で評価した後イブプロフェン、インドメタシン静注療法で閉鎖させた。	
医療技術名： 臍動静脈カテーテルによる循環の管理	！取扱い患者数 10 人
当該医療技術 臍動脈にカテーテルを挿入し、動脈圧を常時モニター、臍静脈からの循環作動薬を用いて7重症新生児の循環管理を行い予後を改善した。	

<p>医療技術名： 新生児重症外科的疾患の治療並びに管理 当該医療技術 先天的奇形に基づく、新生児の消化器、呼吸器、体壁などの重症疾患を手術的に救命し、術後の管理を行う。</p>	<p>！取扱い患者数 50 人</p>
<p>医療技術名： 水頭症に対するリザーバ留置術 当該医療技術 出血後水頭症に対し、リザーバ留置による治療を行った。</p>	<p>！取扱い患者数 1 人</p>
<p>医療技術名： 中心静脈カテーテル(臍静脈カテーテルを含む)による高カロリー輸液 当該医療技術 中心静脈カテーテル(臍静脈カテーテルを含む)を挿入し、高カロリー輸液を実施することにより、低栄養状態を改善させた。</p>	<p>！取扱い患者数 54 人</p>
<p>医療技術名： 未熟児網膜症に対するレーザーによる光凝固療法・眼内抗VGF抗体注射 当該医療技術 v重症の未熟児網膜症に対し、眼科と協力してレーザーによる光凝固療法を実施して、失明を予防した。</p>	<p>！取扱い患者数 5 人</p>
<p>医療技術名： 重症新生児仮死例に対する脳低温療法 当該医療技術 重症仮死例に早期より脳低温療法を行い予後の改善をはかる。</p>	<p>！取扱い患者数 3 人</p>
<p>医療技術名： 胎児(心臓)超音波検査 当該医療技術 胎児心臓超音波検査などにより正確な胎内診断に基づく出生後の管理につなげた。</p>	<p>！取扱い患者数 208 人</p>
<p>医療技術名： 低酸素吸入療法(窒素ガス) 当該医療技術 肺高血流疾患の術前管理として当該療法により、肺うっ血の進行をコントロールし、術前状態を最適化した。</p>	<p>！取扱い患者数 3 人</p>

医療技術名：重症感染症や早発黄疸に対する交換輸血	！取扱い患者数	1人
当該医療技術 重症の感染症や早発黄疸に対する交換輸血で生命予後の改善につなげた。		
医療技術名：経胎盤的胎児不整脈治療	！取扱い患者数	2人
当該医療技術 厚労省認定の当該技術により重症胎児不整脈(頻脈性及び徐脈性)を胎内で治療し、その予後改善につなげた。		
医療技術名：aEEG(長時間脳波)による新生児けいれんの記録解析	！取扱い患者数	5人
当該医療技術 重症新生児仮死や新生児けいれんに対して発作型や治療効果判定に応用した。		
医療技術名：関節リウマチ及び膠原病に対する免疫抑制薬の適正使用	！取扱い患者数	700人
当該医療技術 種々の免疫抑制薬が、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎/皮膚筋炎、血管炎症候群などの膠原病に対して使用されているが、安全性を十分に考慮した適正使用を行った。		
医療技術名：関節リウマチ及び膠原病諸疾患に対する生物学的製剤の適正使用	！取扱い患者数	450人
当該医療技術 TNF阻害薬などの生物学的製剤が、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、血管炎症候群、ベーチェット病、成人発症Still病、強直性脊椎炎などの膠原病諸疾患に使用されているが、安全性を十分に考慮した適正使用を行った。		
医療技術名：人工臓腑(グルコースクランプ検査)	！取扱い患者数	24人
当該医療技術 インスリンを持続的に注入し、同時にグルコースを注入し続けて、肝臓や筋肉のインスリン抵抗性(感受性)を調べる検査。		
医療技術名：フラッシュ血糖モニターFGM (Flash Glucose Monitoring)	！取扱い患者数	40人
当該医療技術 皮下組織に専用のセンサを装着して、連続的に皮下のグルコース(ブドウ糖)濃度を記録し、非接触型リーダーによって血糖を確認できる技術。		

<p>医療技術名： SAP (Sensor Augmented Pump) 療法</p> <p>当該医療技術</p> <p>パーソナル持続血糖モニター機能を搭載したインスリンポンプ療法で、低血糖が予想された際にインスリン基礎注入を自動的に中断したり再開できるシステム。</p>	<p>！取扱い患者数 17 人</p>
<p>医療技術名： 選択的副腎静脈サンプリング法</p> <p>当該医療技術</p> <p>副腎静脈サンプリングの際に副腎内支脈別採血により、原発性アルドステロン症をより精確に診断できる技術。</p>	<p>！取扱い患者数 13 人</p>
<p>医療技術名： 径気管支凍結生検(クライオ生検)</p> <p>当該医療技術</p> <p>凍結生検(クライオ生検)とは、凍結剤(二酸化炭素)で冷却したプローブを肺組織に接触させることにより、気管支・肺抹消組織及び気管支内の異物を凍結させ、組織の採取及び異物除去を行うことができます。</p>	<p>！取扱い患者数 20 人</p>
<p>医療技術名： オープン型ステントグラフト内挿術</p> <p>当該医療技術</p> <p>弓部大動脈瘤や急性大動脈解離において広範囲弓部大動脈置換術が必要な場合に、反回神経麻痺などの合併症を回避し、また二期的に治療を可能にする新しい術式である。</p>	<p>！取扱い患者数 20 人</p>
<p>医療技術名： 胸部大動脈ステントグラフト内挿術</p> <p>当該医療技術</p> <p>超高齢者、重度基礎疾患、開胸術の既往のため、従来の開胸、人工心肺使用による人工血管置換術ではリスクが高い症例に対し、本術式を行う。</p>	<p>！取扱い患者数 15 人</p>
<p>医療技術名： 腹部大動脈ステントグラフト内挿術</p> <p>当該医療技術</p> <p>超高齢者、重度基礎疾患、開腹術の既往のため、従来の開腹による人工血管置換術ではリスクが高い症例に対し、本術式を行う。</p>	<p>！取扱い患者数 25 人</p>
<p>医療技術名： オフポンプ冠動脈バイパス術</p> <p>当該医療技術</p> <p>超高齢者、低心機能、重度基礎疾患を有する虚血性心疾患症例に対し、人工心肺を用いず、心拍動下で冠動脈バイパス術を行う。</p>	<p>！取扱い患者数 2 人</p>

医療技術名： 弁形成術	！取扱い患者数 10 人
<p>当該医療技術 弁膜症に対し、自己弁を温存し弁機能を正常化する術式である。術後の抗凝固療法や抗血小板療法を必要とせず、また、人工弁関連合併症を回避することができ、患者の術後QOLを高く維持することが可能である。</p>	
医療技術名： 経カテーテル的大動脈弁置換術	！取扱い患者数 5 人
<p>当該医療技術 超高齢者、重度基礎疾患、胸部大動脈高度石灰化を有するなど、人工心肺を用いた通常の開胸手術に耐えられない症例にたいし、人工心肺を用いず鼠径部の動脈を経由し経カテーテル的に行う大動脈弁置換術。</p>	
医療技術名： 複雑心奇形に対する低侵襲外科手術	！取扱い患者数 40 人
<p>当該医療技術 重度心不全状態の複雑心奇形症例に対し、小切開および充填量が極めて少ない人工心肺装置を用いて生体侵襲を低減し、手術成績の向上を図っている。</p>	
医療技術名： 新生児重症心疾患の内科的管理及び外科治療	！取扱い患者数 20 人
<p>当該医療技術 チアノーゼまたは重症心不全を呈する新生児早期の先天性心疾患に対するPGE1製剤などによる内科的治療及び新生児早期の開心術、短絡術を随時施行している。</p>	
医療技術名： 冠動脈ステント留置術	！取扱い患者数 403 人
<p>当該医療技術 現在冠動脈インターベンション(PCI)の中心的治療法であり、特に急性心筋梗塞では本治療法による迅速な血流再開が必要である。冠動脈内に筒状の金属を留置する方法であり数種類のステントが臨床使用されている。</p>	
医療技術名： 血栓吸引療法	！取扱い患者数 55 人
<p>当該医療技術 冠動脈の閉塞病変において血栓を機械的に吸引し、末梢塞栓を防ぐ方法である。単純に血栓を吸引する方法とバルーンを拡張させてその末梢の血栓を吸引するdistal protection deviceに分けられる。後者は末梢塞栓が問題となる変性静脈グラフト病変の待機的治療においても極めて有効である。</p>	
医療技術名： ロータブレード	！取扱い患者数 24 人
<p>当該医療技術 冠動脈病変を機械的に取り除くアテレクトミーに属する治療である。先端にダイヤモンドチップを 散りばめたバーの高速回転(毎分15-20万回転)により病変を破碎し、末梢に洗い出す。透析患者などで高度石灰化病変では有効であり、学会が認定する施設基準に基づいて本治療法が実施されている。</p>	

<p>医療技術名： 末梢血管血行再建術</p> <p>当該医療技術 冠動脈ステント留置術と同様に、末梢血管にステントを留置して血行再建を行う方法であるが、ステント留置に適さない病変に対してはバルーンによる血管拡張を行っている。下肢動脈が主な対象となるが、その他に鎖骨下動脈や腎動脈などの末梢動脈に対しても同治療を行っている。末梢動脈内に留置する筒状の金属は、数種類のステントが臨床使用されている。</p>	<p>！取扱い患者数 117 人</p>
<p>医療技術名： 経皮的動脈弁置換術(TAVI)</p> <p>当該医療技術 大動脈弁狭窄症に対する治療は開胸による弁置換術が広く行われてきた。しかし、高齢者や合併症を有する症例では危険度が高く施行できない症例も多く存在する。こうした症例に対し、カテーテルを用い大動脈弁を留置する方法である。</p>	<p>！取扱い患者数 24 人</p>
<p>医療技術名： カテーテルアブレーション</p> <p>当該医療技術 経皮的に電極カテーテルを心腔内に挿入し、体表に装着した対極板とのあいだで高周波通電を行い、頻拍の原因となる異常興奮発生部位、異常興奮回路・伝導路を選択的に焼灼する治療法である。発作性上室頻拍、心房粗動、心房細動、心室頻拍など頻脈性不整脈に対する根治目的で実施されている。</p>	<p>！取扱い患者数 278 人</p>
<p>医療技術名： 植込み型除細動器(ICD)</p> <p>当該医療技術 心室細動や心室頻拍などの心室性不整脈による心臓突然死の予防目的で実施される。経静脈的に電極カテーテルを心腔内に挿入し、デバイス本体は前胸部の皮下に埋め込む(現在は皮下植込み型除細動器(S-ICD)という、リードを血管内に入れず、前胸部の皮下に除細動リードを植込むシステムも行われている)。心肺蘇生経験例のみならず、心臓突然死の危険性があると判断された患者においても使用される。</p>	<p>！取扱い患者数 13 人</p>
<p>医療技術名： 心臓再同期療法(CRT)・除細動機能付き心臓再同期療法(CRT-D)</p> <p>当該医療技術 薬剤抵抗性の重症心不全患者に対して適応があり、心機能の改善目的で使用される。経静脈的に電極カテーテルを心腔内に挿入し、デバイス本体は前胸部の皮下に埋め込む。同時に不整脈性の心臓突然死をきたす可能性がある患者では、除細動機能付きのデバイスが使用される。</p>	<p>！取扱い患者数 10 人</p>
<p>医療技術名： 直腸癌に対するロボット支援手術</p> <p>当該医療技術 直腸癌に対するロボット(ダビンチ)支援手術は保険適応となっているが、まだまだ実施施設は多くない。保険内実施の許可は研修プログラムを終了した医師による10例の経験が必要である。当院では2021年度中に保険内実施認定が許可されるように慎重に進めている。</p>	<p>！取扱い患者数 5 人</p>
<p>医療技術名： 腹腔鏡下肝切除(亜区域切除以上の系統的切除、外側区域切除を除く)</p> <p>当該医療技術 肝疾患に対する腹腔鏡下肝切除(亜区域切除以上の系統的切除、外側区域切除を除く)は厳格な施設基準の下、術前の前向き症例登録を行うことでの施行が許されている高難度肝胆膵手術(保険診療)である。</p>	<p>！取扱い患者数 7 人</p>

医療技術名： 腹腔鏡下膵切除(リンパ節郭清を伴う遠位膵切除)	! 取扱い患者数 3 人
<p>当該医療技術 当該医療技術の概要:膵臓癌に対する腹腔鏡下膵切除(リンパ節郭清を伴う遠位膵切除)は厳格な施設基準の下、施行が許されている高難度肝胆膵手術(保険診療)である。</p>	
医療技術名： 低位直腸癌に対する腹腔鏡下taTME	! 取扱い患者数 6 人
<p>当該医療技術 直腸癌に対する手術手技には骨盤腔における解剖学的なアプローチの困難さがあり、腹腔鏡の導入で視野展開の向上がみられるものの、腹側からの操作だけでは直腸の全腸間膜切除に難渋することもある。taTME手技は経肛門操作により肛門側から直腸・直腸間膜を剥離することができる手術手技である。taTME手技の認知度は高くなったが、まだ全国的に一般化した手技には至っていない。病勢の比較的軽い方が対象となるが、当院では肛門操作先行による直腸の離断に続いて直腸側の剥離をすすめることが多く、このことがさらに自然肛門温存に寄与できると考えている。</p>	
医療技術名： 胸腔鏡下食道切除	! 取扱い患者数 30 人
<p>当該医療技術 より低侵襲な食道がん手術を目指して、胸腔鏡・腹腔鏡による食道がん手術に取り組んでいる。体腔鏡下手術の割合は年々増加し、頸部食道癌症例などを除きほぼ全例に胸腔鏡または腹腔鏡を用いた手術を行っている。ガイドラインでは体腔鏡下食道癌手術に関して明らかな方針が示されていないが、体腔鏡下の食道がん手術では手術の傷を小さくすることで手術の負担を軽減し、術後の回復を早める効果が期待される。また、内視鏡を用いた拡大視効果により、より精密な手術が可能となる。</p>	
医療技術名： 縦隔鏡を用いた食道手術	! 取扱い患者数 0 人
<p>当該医療技術 開胸困難な食道癌あるいは開胸を必要としない食道良性疾患に対し頸部アプローチから気縦隔、経裂孔アプローチから腹腔鏡を用いた食道切除や食道閉鎖を行っている。2015年から2021年まで8例の取扱い患者あり。</p>	
医療技術名： 歩行運動処置(ロボットスーツによるもの)	! 取扱い患者数 13 人
<p>当該医療技術 緩徐進行性の神経・筋疾患を対象に、生体信号反応式運動機能改善装置(Hybrid Assisting Limb)を使用し、歩行機能の改善を目的に、ロボットスーツによる歩行運動処置を行う。</p>	
医療技術名： ABO血液型不適合腎移植	! 取扱い患者数 5 人
<p>当該医療技術 A→B、B→Aなどの血液型不適合腎移植は1989年佐賀医大、阪大、女子医大、東邦大で始まり、以降この分野を常にリードしている。</p>	
医療技術名： 小児腎移植	! 取扱い患者数 3 人
<p>当該医療技術 小児腎移植は全国から紹介され、日本で一番多い小児腎移植施設となっている。</p>	

<p>医療技術名： 不規則抗体陽性妊娠の血漿交換</p> <p>当該医療技術 習慣性の血液抗体(不規則抗体)により、胎児貧血に陥り、習慣性流産を呈している妊婦に対して、32回にわたる血漿交換により児を得た。</p>	<p>！取扱い患者数 1 人</p>
<p>医療技術名： Early Psychosis Unit (イルボスコ)</p> <p>当該医療技術 既存の統合失調症の診断基準において、陽性症状が出現した時期が発症の時期とされている。しかし、その数年前からすでに社会機能の低下や陰性症状、さらには、脳の形態学的変化も生じることが知られている。そのため、近年、精神病前駆状態や病前期についてのサブクルニカル水準での介入が必要であると考えられている。当院イルボスコでは日本国内で、他に先駆け早期介入を行い対象者の精神病発症の予防や援助を行っている。</p>	<p>！取扱い患者数 30 人</p>
<p>医療技術名： クロザピン処方</p> <p>当該医療技術 クロザピンは、治療抵抗性統合失調症に対し極めて有用な治療法であるが、血球障害や心筋炎をはじめとする重篤な副作用が起きる可能性も極めて高い。したがって、高度なスキルを有する精神科医のみならず、血液内科医、糖尿病専門医が居り、互いに密な連携が可能な医療機関でのみ処方が許可されている。当科ではこれらの診療科と連携し治療抵抗性統合失調症患者にクロザピンの処方を行っている。</p>	<p>！取扱い患者数 30 人</p>
<p>医療技術名： 修正型電気痙攣療法</p> <p>当該医療技術 電気痙攣療法は、前頭部に通電することで人為的にけいれん発作を誘発する治療法である。電気療法は薬剤抵抗性のうつ病などに対して極めて有効であるが、けいれん発作による、循環状態への影響や骨折の影響が生じる恐れがある。そのため当科では、麻酔科と協力し麻酔下で人工呼吸等を含めた呼吸管理、循環動態の観察を行いながら安全に通電する修正型電気痙攣療法を行っている。</p>	<p>！取扱い患者数 100 人</p>
<p>医療技術名： 三次救急対応となった身体合併症を有する精神疾患患者への対応</p> <p>当該医療技術 精神疾患患者に重篤な身体合併症が生じ、三次救急対応が必要となる場合がある。その際には、急性期の精神症状への治療介入が可能な精神科と迅速にあらゆる身体合併症に対し高度な治療を行うことができる診療科が、緊密に連携して治療を行う必要がある。都内でも三次救急対応となった精神疾患を有する患者へ即応できる医療機関は極めて限られている。当科においては、都内の広範な地域の三次救急対応を必要とする身体合併症を有する精神疾患患者への対応を行っている。</p>	<p>！取扱い患者数 40 人</p>
<p>医療技術名： バイオフィードバック療法</p> <p>当該医療技術 筋電図・皮膚温を測定し、リアルタイムにフィードバックをすることで、リラクゼーション状態を修得する治療法であり、心身症患者の自立神経系の安定を図る。</p>	<p>！取扱い患者数 10 人</p>
<p>医療技術名： 加算的平均心電図(LP)</p> <p>当該医療技術 心室細動、心室頻拍、ほっさせち心房細動などの重症不整脈が出現する可能性を診断するために、心房、心室の遅延電位を計測する。</p>	<p>！取扱い患者数 67 人</p>

医療技術名： 超音波造影剤(ソナゾイド/レボビスト)を用いた超音波検査	取扱患者数 921 人
<p>当該医療技術 超音波造影剤(ソナゾイド/レボビスト)を用いた消化器系腫瘍の質的診断と腫瘍凝固療法等の治療後効果判定やびまん性肝疾患(肝炎・肝硬変)の進行度評価法の検討。</p>	
医療技術名： 超音波機器を用いてのマイクロ波(PMCT)、ラジオ波(RFA、RITA)での肝腫瘍治療	取扱患者数 23 人
<p>当該医療技術 超音波機器を用いてのマイクロ波(PMCT)、ラジオ波(RFA、RITA)での経皮的肝腫瘍の治療。</p>	
医療技術名： 睡眠障害に対する終夜睡眠ポリグラフ検査	取扱患者数 100 人
<p>当該医療技術 終夜約8時間の脳波を含むポリグラフ記録を行い、不眠、過眠などの睡眠障害および睡眠随伴性の診断を行う。</p>	
医療技術名： 術中脳脊髄機能モニタリングとしてABR、SSEP、MEPの誘発電位記録	取扱患者数 74 人
<p>当該医療技術 ABR、SSEP、MEPの誘発電位記録を脳脊髄手術中に行い術後の神経欠落症状の出現を防ぐ。</p>	
医療技術名： 経食道心臓超音波検査(テポテ中含む)	取扱患者数 368 人
<p>当該医療技術 先天性疾患、弁膜症、人工弁置換術後、左心耳内血栓など通常の経胸壁エコー検査では、詳細な情報が得られない場合、経食道的アプローチは有用となる。</p>	
医療技術名： 睡眠潜時反復測定法(MSLT)	取扱患者数 9 人
<p>当該医療技術 客観的な日中の過度の眠気測定、特にナルコレプシーの補助診断のため、脳波記録を2時間ごとに繰り返し行い、眠りにつくまでの時間とそれに伴う臨床症状を記録する。</p>	
医療技術名： 光トポグラフィー	取扱患者数 83 人
<p>当該医療技術 うつ症状における原因疾患の鑑別、脳神経外科術前における言語優位半球の同定、てんかん焦点の推定に有用。</p>	

医療技術名： 気管狭窄に対するステント療法	！取扱い患者数 2人
当該医療技術 気管・気管支の腫瘍性あるいは炎症性狭窄に対する内視鏡下ステント療法である。	
医療技術名： 筋萎縮性側索硬化症患者に対するロボットリハビリ(HAL)	！取扱い患者数 24人
当該医療技術 2018年8月より、筋萎縮性側索硬化症ならびに球脊髄性筋萎縮症患者に対してhybrid assisted limb (HAL)というサイボーグ治療をリハビリテーション科と共同で行っている。	
医療技術名： レボドパ・カルビドパ配合経腸用液の経胃瘻空腸投与	！取扱い患者数 5人
当該医療技術 パーキンソン病患者に対して、レボドパ・カルビドパ水和物製剤を経胃瘻空腸投与することを目的とした、経鼻栄養・薬剤投与チューブ挿入術、薬剤投与用胃瘻造設術、およびチューブ交換時の経管栄養・薬剤投与用カテーテル交換法	
医療技術名： ロボット補助下腹腔鏡膀胱全摘除術	！取扱い患者数 11人
当該医療技術 保険適応にはなっているが、まだまだ実施施設が全国に普及している術式ではない	
医療技術名： ロボット補助下腹腔鏡腎部分切除術	！取扱い患者数 23人
当該医療技術 保険適応になりタビンチ保有施設では普及しつつあるが、通常の腹腔鏡下腎部分切除術より、より難易度の高い症例が選択される傾向がある。	
医療技術名： 自己筋膜を用いた膀胱脱手術	！取扱い患者数 0人
当該医療技術 手術そのものはsling手術と同じだが、異物(メッシュ)を用いず、自己筋膜を用いるという東邦(永尾教授)オリジナルな術式である。	
医療技術名： 心肺停止症例に対する対応及び蘇生後管理、治療	！取扱い患者数 100人
当該医療技術 東京消防庁のホットライン要請による病院前心肺停止例を24時間体制で受入れ、二次救命処置による蘇生術を行い、心肺再開例については引き続き集中治療を行い完全社会復帰を目標に行っている。低体温療法も適応によって導入している。	
医療技術名： 急性肺障害に対するVV-ECMOを用いた管理、治療	！取扱い患者数 10人
当該医療技術 人工呼吸器、呼吸理学療法を用いても改善不能な急性呼吸不全に対して、VV-ECMOによる支持療法で薬物療法を併行して行いながら重症ARDSに対して治療を行っている。COVID19流行に伴い昨年度より増加している。	

<p>医療技術名： 敗血症性ショック、心原性ショックにおける体外循環</p> <p>当該医療技術</p> <p>敗血症に対してはEGDTによるvolume resusiationを行い加療している。カテコラミンに反応しない症例に対して機械的補助としてVA-ECMO(PCPS)を導入し治療をしている。また、急性冠症候群、難治性心室細動に対してPCPS、IABPを挿入しCAG、PCI、その後の集中治療管理につなげ社会復帰できるよう治療している。</p>	<p>！取扱い患者数 40 人</p>
<p>医療技術名： 急性肺障害に対するCHDF療法</p> <p>当該医療技術</p> <p>敗血症、アレルギー性肺臓炎、重症肺炎などに伴う呼吸不全に対しては根本的な原因に対する治療が必要であるが、呼吸不全の病態を増悪するhumoral mediatorやendotoxineなどの吸着、除去を行いながら水分管理、腎不全管理を行えるCHDFを導入している。</p>	<p>！取扱い患者数 50 人</p>
<p>医療技術名： 出血性ショックに対する血管内治療</p> <p>当該医療技術</p> <p>不安定型骨盤骨折、外傷性脾損傷、腎損傷など外傷を主に血管内治療が可能な損傷に対して気管挿管し呼吸管理をしながら血管内治療を施行し、出血のコントロールをおこなっている。</p>	<p>！取扱い患者数 10 人</p>
<p>医療技術名： 腹腔内出血及び骨盤骨折に対する大動脈遮断カテーテル</p> <p>当該医療技術</p> <p>ショックを呈した横隔膜以下の外傷による出血性臓器損傷や腹部大動脈瘤破裂に対して血管内治療、手術に移行するまでのバイタル維持のために救急外来で挿入している。</p>	<p>！取扱い患者数 10 人</p>
<p>医療技術名： 重症敗血症に対する病態対応、治療</p> <p>当該医療技術</p> <p>重症敗血症治療は呼吸・循環管理、抗菌薬投与、血液浄化療法などの集学的治療を行う必要がこの重症敗血症の患者血清から急性酸化ストレスマーカーを測定</p>	<p>！取扱い患者数 20 人</p>
<p>医療技術名： 急性薬物中毒における管理、治療</p> <p>当該医療技術</p> <p>一般中毒はもとより、自家製の青酸中毒キット、アセトアミノフェン中毒キットを常備し、中毒物値をモニターしながら治療法を選択し、特殊な急性中毒に対処している。</p>	<p>！取扱い患者数 80 人</p>
<p>医療技術名： 重症熱傷に対する管理、治療</p> <p>当該医療技術</p> <p>BSA20%異常あるいは気道熱傷合併症例など重症熱傷に対して集学的な治療を行っている。初期よりデブリドマンを施行し自家皮膚培養も積極的に行い治療をおこなっている。</p>	<p>！取扱い患者数 5 人</p>
<p>医療技術名：</p> <p>当該医療技術</p>	<p>！取扱い患者数 人</p>

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	6	56	特発性大腿骨頭壊死症	30
2	筋萎縮性側索硬化症	44	57	下垂体性ADH分泌異常症	9
3	脊髄性筋萎縮症	2	58	下垂体性PRL分泌亢進症	2
4	原発性側索硬化症	2	59	クッシング病	2
5	進行性核上性麻痺	12	60	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	2
6	パーキンソン病	139	61	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	7
7	大脳皮質基底核変性症	3	62	下垂体前葉機能低下症	38
8	ハンチントン病	1	63	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
9	シャルコー・マリー・トゥース病	4	64	先天性副腎皮質酵素欠損症	2
10	重症筋無力症	77	65	アジソン病	2
11	多発性硬化症/視神経脊髄炎	52	66	サルコイドーシス	34
12	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	8	67	特発性間質性肺炎	126
13	封入体筋炎	3	68	肺動脈性肺高血圧症	39
14	多系統萎縮症	14	69	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	1
15	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	16	70	慢性血栓性肺高血圧症	19
16	ミトコンドリア病	1	71	リンパ管筋腫症	1
17	もやもや病	15	72	網膜色素変性症	28
18	全身性アミロイドーシス	4	73	特発性門脈圧亢進症	4
19	遠位型ミオパチー	1	74	原発性胆汁性胆管炎	48
20	神経線維腫症	2	75	原発性硬化性胆管炎	4
21	天疱瘡	12	76	自己免疫性肝炎	32
22	表皮水疱症	21	77	クローン病	70
23	膿疱性乾癬(汎発型)	5	78	潰瘍性大腸炎	194
24	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	79	好酸球性消化管疾患	2
25	高安動脈炎	18	80	若年性特発性関節炎	1
26	巨細胞性動脈炎	5	81	非典型溶血性尿毒症症候群	1
27	結節性多発動脈炎	10	82	先天性ミオパチー	1
28	顕微鏡的多発血管炎	34	83	筋ジストロフィー	11
29	多発血管炎性肉芽腫症	9	84	前頭側頭葉変性症	1
30	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	21	85	PCDH19関連症候群	1
31	悪性関節リウマチ	16	86	結節性硬化症	2
32	パージャー病	4	87	先天性魚鱗癬	1
33	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	88	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	15
34	全身性エリテマトーデス	283	89	眼皮膚白皮症	1
35	皮膚筋炎/多発性筋炎	95	90	マルファン症候群	2
36	全身性強皮症	87	91	ウィルソン病	7
37	混合性結合組織病	37	92	VATER症候群	1
38	シェーグレン症候群	51	93	ウィリアムズ症候群	1
39	成人スチル病	26	94	修正大血管転位症	1
40	再発性多発軟骨炎	4	95	完全大血管転位症	1
41	ベーチェット病	63	96	単心室症	2
42	特発性拡張型心筋症	29	97	三尖弁閉鎖症	1
43	肥大型心筋症	7	98	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1
44	拘束型心筋症	1	99	両大血管右室起始症	2
45	再生不良性貧血	30	100	アルポート症候群	1
46	自己免疫性溶血性貧血	2	101	急速進行性糸球体腎炎	1
47	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1	102	一次性ネフローゼ症候群	54
48	特発性血小板減少性紫斑病	41	103	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	4
49	血栓性血小板減少性紫斑病	1	104	紫斑病性腎炎	5
50	原発性免疫不全症候群	5	105	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1
51	IgA腎症	21	106	α 1-アンチトリプシン欠乏症	1
52	多発性嚢胞腎	31	107	偽性副甲状腺機能低下症	1
53	黄色靱帯骨化症	12	108	脳腫黄色腫症	1
54	後縦靱帯骨化症	50	109	脂肪萎縮症	1
55	広範脊柱管狭窄症	5	110	強直性脊椎炎	21

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

111	エプスタイン症候群	2	166	
112	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1	167	
113	胆道閉鎖症	1	168	
114	遺伝性腭炎	1	169	
115	IgG4関連疾患	8	170	
116	好酸球性副鼻腔炎	28	171	
117	前眼部形成異常	1	172	
118	無虹彩症	1	173	
119	特発性多中心性キャッスルマン病	3	174	
120			175	
121			176	
122			177	
123			178	
124			179	
125			180	
126			181	
127			182	
128			183	
129			184	
130			185	
131			186	
132			187	
133			188	
134			189	
135			190	
136			191	
137			192	
138			193	
139			194	
140			195	
141			196	
142			197	
143			198	
144			199	
145			200	
146			201	
147			202	
148			203	
149			204	
150			205	
151			206	
152			207	
153			208	
154			209	
155			210	
156			211	
157			212	
158			213	
159			214	
160			215	
161			216	
162			217	
163			218	
164			219	
165			220	

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・歯科外来診療環境体制加算2
・特定機能病院入院基本料(一般7対1、精神13対1)	・救急医療管理加算
・超急性期脳卒中加算	・診療録管理体制加算1
・医師事務作業補助体制加算1(30対1)	・急性期看護時補助体制加算(25対1 5割以上)
・看護職員夜間配置加算(12対1 配置加算1)	・看護補助加算2(精神13対1)
・療養環境加算	・重症者等療養環境特別加算
・無菌治療室管理加算1・2	・緩和ケア診療加算
・精神科身体合併症管理加算	・精神科リエゾンチーム加算
・摂食障害入院医療管理加算	・栄養サポートチーム加算
・医療安全対策加算1	・感染防止対策加算1
・抗菌薬適正使用支援加算	・患者サポート体制充実加算
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・ハイリスク妊娠管理加算
・ハイリスク分娩管理加算	・呼吸ケアチーム加算
・後発医薬品使用体制加算1	・病棟薬剤業務実施加算1・2
・データ提出加算2	・入退院支援加算
・認知症ケア加算1	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・精神疾患診療体制加算	・精神科急性期医師配置加算2のイ
・地域医療体制確保加算	・救命救急入院料3・4
・特定集中治療室管理料2	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・総合周産期特定集中治療室管理料1・2	・新生児治療回復室入院医療管理料
・小児入院医療管理料1	・
・	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	・ウイルス疾患指導料
・外来栄養食事指導料の注2に規定する施設基準	・喘息治療管理料
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・糖尿病合併症管理料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・がん患者指導管理料イロハニ
・外来緩和ケア管理料	・移植後患者指導管理料(臓器移植後)
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・糖尿病透析予防指導管理料
・小児運動器疾患指導管理料	・乳腺炎重症化予防ケア・指導料
・婦人科特定疾患治療管理料	・腎代替療法指導管理料
・地域連携小児夜間・休日診療料2	・地域連携夜間・休日診療料
・院内トリアージ実施料	・外来放射線照射診療料
・ニコチン依存症管理料	・療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算
・がん治療連携計画策定料	・肝炎インターフェロン治療計画料
・ハイリスク妊産婦連携指導料1・2	・薬剤管理指導料
・医療機器安全管理料1・2	・医療機器安全管理料(歯科)
・精神科退院時共同指導料1及び2	・在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2
・在宅血液透析指導管理料	・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・遺伝学的検査	・骨髄微小残存病変量測定
・BRCA1/2遺伝子検査	・がんゲノムプロファイリング検査
・先天性代謝異常症検査	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・検体検査管理加算(1)(4)
・国際標準検査管理加算	・遺伝カウンセリング加算
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・胎児心エコー法	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・ヘッドアップティルト試験	・人工臓器検査、人工臓器療法

・長期継続頭蓋内脳波検査	・脳波検査判断料1
・光トポグラフィー	・終夜睡眠ポリグラフィー(安全精度管理下で行うもの)
・神経学的検査	・ロービジョン検査判断料
・小児食物アレルギー負荷検査	・内服・点滴誘発試験
・経気管支凍結生検法	・画像診断管理加算1・2
・ポジトロン断層撮影	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・CT撮影及びMRI撮影	・冠動脈CT撮影加算
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・外傷全身CT加算
・心臓MRI撮影加算	・乳房MRI撮影加算
・小児鎮静下MRI撮影加算	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・外来化学療法加算1	・連携充実加算
・無菌製剤処理料	・心大血管疾患リハビリテーション料(1)
・脳血管疾患等リハビリテーション料(1)	・運動器リハビリテーション料(1)
・呼吸器リハビリテーション料(1)	・摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下支援加算
・がん患者リハビリテーション料	・歯科口腔リハビリテーション料2
・児童思春期精神科専門管理加算	・認知療法・認知行動療法1
・精神科ショート・ケア「大規模なもの」	・精神科デイ・ケア「大規模なもの」
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・医療保護入院等診療料
・硬膜外自家血注入	・エタノールの局所注入(甲状腺)
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・人工腎臓
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・歩行運動処置(ロボットスーツによるもの)	・CAD/CAM冠
・センチネルリンパ節加算	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
・椎間板内酵素注入療法	・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便失禁)
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱)	・角膜移植術(内皮移植加算)
・羊膜移植術	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術5型(拡大副鼻腔手術)
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)	・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)

・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)(乳がんセンチネルリンパ節加算1)	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)(センチネルリンパ節生検(併用))
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)(乳がんセンチネルリンパ節加算2)	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)(センチネルリンパ節生検(単独))
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膣腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・胸腔鏡下弁形成術	・経カテーテル大動脈弁置換術
・胸腔鏡下弁置換術	・不整脈手術 左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
・経皮的中隔心筋焼灼術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・補助人工心臓	・経皮的下肢動脈形成術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・体外衝撃波胆石破砕術	・腹腔鏡下肝切除術
・体外衝撃波膵石破砕術	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・同種死体腎移植術	・生体腎移植術
・膀胱水圧拡張術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・人工尿道括約筋植込・置換術
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下仙骨腫固定術	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・胎児輸血術
・胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)(医科点数表第2章第10部手術の通則の16に規定する手術)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)

・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)	・輸血管理料1
・輸血適正使用加算	・自己生体組織接着剤作成術
・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)	・同種クリオプレシピテート作製術
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・歯周組織再生誘導手術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・麻酔管理料(1)(2)	・放射線治療専任加算
・外来放射線治療加算	・高エネルギー放射線治療
・1回線量増加加算	・強度変調放射線治療(IMRT)
・画像誘導放射線治療(IGRT)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・定位放射線治療	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・病理診断管理加算2	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・口腔病理診断管理加算2	・クラウン・ブリッジ維持管理料

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

研究費補助に関する調査について(2020年度実績)

1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (単位:千円)	補助元又委託元
1	薬剤耐性真菌対策を含めた侵襲性真菌症の革新的検査と治療法に関する研究開発	澁谷和俊	病理診断科	600	補助元: 委託元:AMED
2	侵襲性酵母様真菌感染症に対する疫学研究及び診断・治療の開発	澁谷和俊	病理診断科	1,985	補助元: 委託元:AMED
3	検証された評価基準を用いた口腔トリージ法による手術周術期口腔管理の肺炎予防効果	関谷秀樹	口腔外科	4,290	補助元:独立行政法人 日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤研究 委託元:
4	稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	石河晃	皮膚科	500	補助元:厚生労働省科研費 委託元:
5	一絨毛膜双胎における胎児循環不全の病態解明についての研究	中田雅彦	産婦人科	1,040	補助元:文部科学省 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C) 委託元:
6	血管新生能を有する骨髄間葉系前駆細胞を用いた血管新生療法の開発	荻野晶弘	形成外科	1,430	補助元:文部科学省科研費 委託元:
7	3Dプリンターによる立体模型を用いた脳神経外科手術教育システムの確立	周郷延雄	脳神経外科	0	補助元:文科省科研費 基盤研究(C)一般80287515 委託元:
8	川崎病冠動脈瘤を予防するための急性期難治例予測診断法の開発研究	高月晋一	小児科	200	補助元:AMED 委託元:
9	新生児低酸素性虚血性脳症の生物学的マーカーの実用化に向けた臨床研究	與田仁志	新生児科	500	補助元:乳児における母乳型脂質摂取の評価 委託元:
10	乳児における母乳型脂質摂取の評価	與田仁志	新生児科	2,000	補助元: 委託元:糧食研究会
11	関節リウマチに伴う間質性肺炎の病態解明と新規治療開発	村岡成	膠原病科	1,600	補助元:科学研究費補助金(若手研究) 委託元:
12	難治性血管炎の医療水準・患者QOL向上に資する研究	南木敏宏	膠原病科	330	補助元:厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)) 委託元:
13	糖尿病患者の生活の質を高める睡眠介入法の検討	弘世貴久	糖尿病・代謝・内分泌センター	1,690	補助元:日本学術振興会(科研費) 委託元:
14	皮下3次元情報を用いたインスリン・認知症ワクチン機序の解明	内野泰	糖尿病・代謝・内分泌センター	1,950	補助元:日本学術振興会(科研費) 委託元:
15	脂肪との共存を介した糖尿病抑制策実現のための肝実質調節機構の探求	熊代尚記	糖尿病・代謝・内分泌センター	4,290	補助元:日本学術振興会(科研費) 委託元:

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

研究費補助に関する調査について(2020年度実績)

1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (単位:千円)	補助元又委託元
16	睡眠障害による肝脂肪蓄積を標的としたインスリン抵抗性の病態解明	嶋山文華	糖尿病・代謝・内分泌センター	1,170	補助元: 日本学術振興会(科研費) 委託元:
17	循環腫瘍細胞を用いたBIM遺伝子多型陽性肺癌の個別化治療の確立	磯部和順	呼吸器内科	1,100	補助元: 文部科学省 委託元:
18	気管支末梢部に自動で到達可能な自走式カテーテルの創製	高井雄二郎	呼吸器内科	491	補助元: 科学研究費助成事業 委託元:
19	18F FDG PET炎症イメージングを用いた新たな動脈硬化症の予後予測指標の開発	中西理子	循環器内科	1,300	補助元: 平成31年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 委託元:
20	血管弾性からみた心不全の病態解明と再入院軽減に向けた新たな予防法の開発	木内俊介	循環器内科	1,300	補助元: 平成31年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 委託元:
21	タンパク質・ペプチド修飾解析による早期がん・リスク疾患診断のための血液バイオマーカーの開発	島田英昭	消化器外科	650	補助元: 委託元: 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 次世代がん医療創生研究事業
22	Stage II 大腸癌に対する術後補助化学療法の有用性に関する研究	船橋公彦	消化器外科	380	補助元: 委託元: 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
23	分子標的薬による誘導性NK依存性細胞傷害を利用した肝細胞がんリモデリング薬の開発	永井英成	消化器内科	4,420	補助元: 文部科学省 委託元: 東邦大学薬学部・病態生化学研究室 檜貝孝慈
24	呼吸感覚モジュレーションを応用した間質性肺炎予後改善呼吸リハビリテーションの開発	海老原覚	リハビリテーション科	4,550	補助元: 日本学術振興会 委託元:
25	島皮質可塑性に着目した感覚記憶リハールによる味覚障害リハビリテーション法の開発	海老原覚	リハビリテーション科	2,210	補助元: 日本学術振興会 委託元:
26	頸椎固定時頸部アライメントと摂食嚥下機能の連関を基盤とした新規嚥下リハの開発	宮城翠	リハビリテーション科	3,300	補助元: 日本学術振興会 委託元:
27	下肢サイバニック動作(HAL)訓練がALSの呼吸機能・咳嗽力に及ぼす効果の解明	杉澤樹	リハビリテーション科	408	補助元: 日本学術振興会 委託元:
28	高齢腎不全患者に対する腎代替療法の開始/見合わせの意思決定プロセスと最適な緩和医療・ケアの構築	酒井謙	腎臓学	1,689	補助元: AMED 川崎医科大学 委託元:
29	マージナルドナー腎移植の安全性に関する新規エビデンス創出	酒井謙	腎臓学	260	補助元: AMED 神戸大学 委託元:
30	臓器移植の免疫寛容における制御性T細胞に制御される臓器特異的抗原の探求	篠田和伸	腎臓学	2,730	補助元: 文科省科研費 委託元:

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

研究費補助に関する調査について(2020年度実績)

1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (単位:千円)	補助元又委託元
31	AYA世代の精神疾患高リスク群における予防的睡眠マネジメントに関する研究	水野雅文	精神神経科	4,519	補助元:AMED 長寿障害総合研究事業 委託元:
32	地域特性に対応した精神保健医療サービスにおける早期相談・介入の方法と実施システム開発についての研究	根本隆洋	精神神経科	13,200	補助元:厚生労働科学研究費補助金 障害者政策総合研究事業(19GB10105) 委託元:
33	社会認知機能に関する新たな検査バッテリーの開発	根本隆洋	精神神経科	1,600	補助元:AMED 障害者対策総合研究開発事業 委託元:
34	統合失調症の病前診断のマーカー開発:世界初AMPA受容体PET研究	根本隆洋	精神神経科	800	補助元:日本学術振興会 化学研究費助成事業 挑戦的研究(開拓)(20K20603) 委託元:
35	精神病発症危険状態(ARMS)の回復と皮質-線条体-視床回路の変化に関する研究	片桐直之	精神神経科	1,700	補助元:科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 委託元:
36	酸化ストレス性細胞死抑制因子を指標とした神経変性疾患のバイオマーカーの同定	狩野修	脳神経内科	500	補助元:文科省科研費 委託元:

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

高度の医療技術の評価の実績として、発表した英語論文について(2020年度実績)

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	講座名	表題	著者・共著者	掲載誌名	発行年月日	巻	号	開始頁	終了頁	論文種別
1	医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室(大森)	Effect of Olfactory Stimulation by L-Menthol on Laboratory-Induced Dyspnea in COPD	Masashi Kanezaki, Kunihiro Terada, Satoru Ebihara†	CHEST	20200600	157	6	1455	1465	Original Article
2	医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室(大森)	Aooendicular Skeletal Muscle Mass Correlates with Patient-Reported Outcomes and Physical Performance in Patients with Idiopathic Pulmonary Fibrosis	Kento Ebihara†, Yuji Iwanami†, Keiko Yamasaki†, Ayame Takemura†, Naofumi Sato†, Yusuke Usui†, Yasuhiko Nakamura†, Kazuma Kishi†, Sakae Homma†, Satoru Ebihara†	Tohoku Journal of Experimental Medicine	20210116		253	61	68	Original Article
3	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Validation and performance of three-level procedure-based classification for laparoscopic liver resection.	Kawaguchi Y, Tanaka S, Fuks D, Kanazawa A, Takeda Y, Hirokawa F, Nitta H, Nakajima T, Kaizu T, Kaibori M, Kojima T, Otsuka Y†, Kubo S, Hasegawa K, Kokudo N, Kaneko H†, Wakabayashi G, Gayet B.	Surgical endoscopy	20200500	34	5	2056	2066	Original Article
4	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	A Standard Set of Value-Based Patient-Centered Outcomes for Pancreatic Carcinoma: An International Delphi Survey	Cherkaoui Z, Gonzalez C, Wakabayashi T, Delattre B, Léost E, Serra S, Huppertz J, Klein F, Stéphan M, Meyer JM, Schaff A, Martinis E, Bangoura E, Kieffer S, Blanès S, Haddad E, De Guio G, Felli E, Pernot S, Marescaux J, Mutter D, Lugiez C, Pessaux P; IHU-VBHC Working Group.	Annals of surgical oncology	20200600			Online ahead of print		Original Article
5	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Clinical practice of acute pancreatitis in Japan: An analysis of nationwide epidemiological survey in 2016.	Masamune A, Kikuta K, Hamada S, Tsuji I, Takeyama Y, Shimosegawa T, Okazaki K; Japan Pancreas Society.	Pancreatology	20200600	20	4	629	636	Original Article
6	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Clinical practice guidelines for biliary atresia in Japan: A secondary publication of the abbreviated version translated into English	Ando H, Inomata Y, Iwanaka T, Kuroda T, Nio M, Matsui A, Yoshida M; Japanese Biliary Atresia Society	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences	20200800			Online ahead of print		Others
7	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	A Multicenter Phase 2 Trial to Evaluate the Efficacy of mFOLFOX6 + Cetuximab as Induction Chemotherapy to Achieve R0 Surgical Resection for Advanced Colorectal Liver Metastases (NEXTO Trial)	Mise Y, Hasegawa K, Saiura A, Oba M, Yamamoto J, Nomura Y, Takayama T, Hashiguchi Y, Shibasaki M, Sakamoto H, Yamagata S, Aoyanagi N, Kaneko H†, Koyama H, Miyagawa S, Shinozaki E, Yoshida S, Nozawa H, Kokudo N	Annals of surgical oncology	20201000	27	11	4188	4195	Original Article
8	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Key components of a hepatobiliary surgery curriculum for general surgery residents: results of the FULCRUM International Delphi consensus.	Rashidian N, Willaert W, Van Herzele I, Morise Z, Alseidi A, Troisi RI; FULCRUM Research Group* .	HPB : the official journal of the International Hepato Pancreato Biliary Association	20201000	22	10	1429	1441	Original Article
9	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Impact of R0 resection for synchronous peritoneal metastasis from colorectal cancer: A propensity score -matched analysis of a multi-institutional database.	Kobayashi H, Kotake K, Sugihara K.	Annals of Gastroenterological Surgery	20201016			Online		Original Article
10	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	A nationwide, multi-institutional collaborative retrospective study of colorectal neuroendocrine tumors in Japan.	Yamaguchi T, Takahashi K, Yamada K, Bando H, Baba H, Ito M, Funahashi K†, Ueno H, Fujita S, Hasegawa S, Sakai Y, Sugihara K	Annals of Gastroenterological Surgery	20201117			Online		Original Article
11	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	What is the recommended procedure for recurrent rectal prolapse? A retrospective cohort study in a single Japanese institution.	Funahashi K†*, Kurihara A†, Miura Y†, Ushigome M†, Kaneko T†, Kagami S†, Yoshino Y†, Koda T†, Nagashima Y†, Yoshida K†, Sakai Y†	Surgery today	20210109			Online ahead of print		Original Article
12	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	What is the recommended procedure for recurrent rectal prolapse? A retrospective cohort study in a single Japanese institution.	Funahashi K†*, Kurihara A†, Miura Y†, Ushigome M†, Kaneko T†, Kagami S†, Yoshino Y†, Koda T†, Nagashima Y†, Yoshida K†, Sakai Y†	Surgery today	20210109			Online ahead of print		Original Article

13	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Incisional negative pressure wound therapy to reduce perineal wound infection after abdominoperineal resection	Kaneko T†, Funahashi K†, Ushigome M†, Kagami S†, Goto M†, Koda T†, Kurihara A†	International wound journal	20210200	18	1	103	111	Original Article
14	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Safety Assessment of Laparoscopic Liver Resection: A Project Study of the Endoscopic Liver Surgery Study Group of Japan.	Aoki T, Kubota K, Matsumoto T, Nitta H, Otsuka Y†, Wakabayashi G, Kaneko H†; Endoscopic Liver Surgery Study Group of Japan.	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences	20210220			Online ahead of print		Original Article
15	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 外科学講座(佐倉), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Clinical TNM staging for esophageal, gastric, and colorectal cancers in the era of neoadjuvant therapy: A systematic review of the literature	Shimada H†, Fukagawa T, Haga Y, Okazumi S†, Oba K	Annals of Gastroenterological Surgery	20210218			Online First		Review
16	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 社会医学講座 ／医療統計学, 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Predicting short-term life expectancy of patients with end-stage gastric cancer using Onodera's prognostic nutritional index.	Oyama K†, Oba M†, Oshima Y†, Shimada H*†	International Journal of Clinical Oncology	20210200	26	2	364	369	Review
17	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 病理学講座, 医学部 医学科 病院病理学講座 (大森)	Clinicopathological characteristics and prognostic marker of triple-negative breast cancer in older women.	Honma N†, Ogata H†, Yamada A, Matsuda Y, Kontani K, Miyashita M, Arai T, Sasaki E, Shibuya K†, Mikami T†, Sawaki M	Human pathology	20210203	111		10	20	Original Article
18	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Changing pattern of tumor markers in recurrent colorectal cancer patients before surgery to recurrence: serum p53 antibodies, CA19-9 and CEA.	Ushigome M†, Shimada H*†, Miura Y†, Yoshida K†, Kaneko T†, Koda T†, Nagashima Y†, Suzuki T†, Kagami S†, Funahashi K†	International Journal of Clinical Oncology	20200400	25	4	622	632	Original Article
19	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Prognostic impact of p53 and/or NY-ESO-1 autoantibody induction in patients with gastroenterological cancers.	Hoshino I, Nabeya Y, Takiguchi N, Gunji H, Ishige F, Iwatate Y, Shiratori F†, Yajima S†, Okada R†, Shimada H†*	Annals of Gastroenterological Surgery	20200500	4	3	275	282	Original Article
20	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Combination of a p53-activating CP-31398 and an MDM2 or a FAK inhibitor produces growth suppressive effects in mesothelioma with wild-type p53 genotype.	Zhong B, Shingyoji M, Hanazono M, Nguyễn TT, Morinaga T, Tada Y, Shimada H†, Hiroshima K, Tagawa M	Apoptosis : an international journal on programmed cell death	20200800	25	7-8	535	547	Original Article
21	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	A case of Barrett's esophageal cancer with gastric mucosa-associated lymphoma.	Shiratori F†, Hoshino I, Gunji H, Takiguchi N, Nabeya Y, Shimada H†	Surgical case reports	20200806	6	1	201		Case report
22	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Diffuse pleural thickening and thoracic contraction: An indistinguishable case from malignant pleural mesothelioma.	Tada Y, Tagawa M, Yusa T, Yatomi M, Shimomura I, Suzuki T, Takeshita Y, Sato T, Shimada H†, Hiroshima K.	SAGE Open Medical Case Reports	20200814	8		2050313X2 0948716		Case report
23	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Surgeon fatigue does not affect surgical outcomes: a systematic review and meta-analysis.	Koda N†, Oshima Y†, Koda K, Shimada H†*	Surgery today	20200913			Online ahead of print		Review
24	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Association between serum anti-ASXL2 antibody levels and acute ischemic stroke, acute myocardial infarction, diabetes mellitus, chronic kidney disease and digestive organ cancer, and their possible association with atherosclerosis and hypertension.	Li SY, Yoshida Y, Kobayashi E, Adachi A, Hirono S, Matsutani T, Mine S, Machida T, Ohno M, Nishi E, Maezawa Y, Takemoto M, Yokote K, Kitamura K, Sumazaki M†, Ito M†, Shimada H†, Takizawa H, Kashiwado K, Tomiyoshi G, Shinmen N, Nakamura R, Kuroda H, Zhang XM, Wang H, Goto K, Iwadate Y, Hiwasa T*†	International journal of molecular medicine	20201000	46	4	1274	1288	Original Article
25	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Prevalence of autoantibodies against Ras-like GTPases, RalA, in patients with gastric cancer.	Nanami T†, Hoshino I, Ito M†, Yajima S†, Oshima Y†, Suzuki T†, Shiratori F†, Nabeya Y, Funahashi K†, Shimada H*†	Molecular and Clinical Oncology	20201000	13	4	28		Original Article
26	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Inducing multiple antibodies to treat squamous cell esophageal carcinoma.	Hoshino I, Nabeya Y, Takiguchi N, Gunji H, Ishige F, Iwatate Y, Kuwajima A, Shiratori F†, Okada R†, Shimada H†	BMC cancer	20201017	20	1	1007		Original Article
27	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Serum p53 antibody: useful for detecting gastric cancer but not for predicting prognosis after surgery.	Oshima Y†, Suzuki T†, Yajima S†, Nanami T†, Shiratori F†, Funahashi K†, Shimada H*†	Surgery today	20201100	50	11	1402	1408	Original Article

28	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Six autoantibodies as potential serum biomarkers of hepatocellular carcinoma: a prospective multicenter study.	Okada R†, Otsuka Y†, Wakabayashi T, Shinoda M, Aoki T, Murakami M, Arizumi S, Yamamoto M, Aramaki O, Takayama T, Wakiyama S, Yanaga K, Amikura K, Kaneko H†, Shimada H*†	International journal of cancer	20201101	147	9	2578	2586	Original Article
29	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Serum Anti-LRPAP1 is a Common Biomarker for Digestive Organ Cancers and Atherosclerotic Diseases.	Sumazaki M†, Shimada H*†, Ito M†, Shiratori F†, Kobayashi E, Yoshida Y, Adachi A, Matsutani T, Iwade Y, Mine S, Machida T, Kamitsukasa I, Mori M, Sugimoto K, Uzawa A, Kuwabara S, Kobayashi Y, Ohno M, Nishi E, Maezawa Y, Takemoto M, Yokote K, Takizawa H, Kashiwado K, Shin H, Kishimoto T, Matsushita K, Kobayashi S, Nakamura R, Shinmen N, Kuroda H, Zhang XM, Wang H, Goto KI, Hiwasa T†	Cancer science	20201200	111	12	4453	4464	Original Article
30	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Clinical impact of preoperative serum p53 antibody titers in 1487 patients with surgically treated esophageal squamous cell carcinoma: a multi-institutional study.	Suzuki T†, Yajima S†, Okamura A, Yoshida N, Taniyama Y, Murakami K, Ohkura Y, Nakajima Y, Yagi K, Fukuda T, Ogawa R, Hoshino I, Kunisaki C, Narumiya K, Tsubosa Y, Yamada K, Shimada H*†	Esophagus	20210100	18	1	65	71	Original Article
31	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Survival analysis of a prospective multicenter observational study on surgical palliation among patients receiving treatment for malignant gastric outlet obstruction caused by incurable advanced gastric cancer.	Terashima M, Fujitani K, Ando M, Sakamaki K, Kawabata R, Ito Y, Yoshikawa T, Kondo M, Koderu Y, Kaji M, Oka Y, Imamura H, Kawada J, Takagane A, Shimada H†, Tanizawa Y, Yamanaka T, Morita S, Ninomiya M, Yoshida K	Gastric Cancer	20210100	24	1	224	231	Original Article
32	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Possible predictive significance of serum RalA autoantibodies on relapse-free survival in patients with colorectal cancer.	Ushigome M†, Shimada H†*, Nabeya Y, Shiratori F†, Soda H, Takiguchi N, Hoshino I, Kuwajima A, Kaneko T†, Funahashi K†	Molecular and Clinical Oncology	20210100	14	1	18		Original Article
33	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Anti-FIR Δ exon2 autoantibody as a novel indicator for better overall survival in gastric cancer.	Kobayashi S, Hiwasa T, Ishige T, Kano M, Hoshino T, Rahmutulla B, Seimiya M, Shimada H†, Nomura F, Matsubara H, Matsushita K	Cancer science	20210200	112	2	847	858	Original Article
34	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Colorectal Cancer-Derived CAT1-Positive Extracellular Vesicles Alter Nitric Oxide Metabolism in Endothelial Cells and Promote Angiogenesis.	Ikeda A, Nagayama S, Sumazaki M†, Konishi M, Fujii R, Saichi N, Muraoka S, Saigusa D, Shimada H†, Sakai Y, Ueda K.	Molecular cancer research : MCR	20210212			Online ahead of print		Original Article
35	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Multi-panel assay of 17 tumor-associated antibodies for serological detection of stage 0/I breast cancer.	Sumazaki M†, Ogata H†, Nabeya Y, Kuwajima A, Hiwasa T†, Shimada H†	Cancer science	20210219			Online ahead of print		Original Article
36	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Prognosis of hemodialysis patients undergoing surgery for gastric cancer: Results of a multicenter retrospective study.	Sugawara K, Yamashita H, Yajima S†, Oshima Y†, Mitsumori N, Fujisaki M, Yamazaki K, Otsuka K, Futawatari N, Watanabe R, Satodate H, Yoshimoto Y, Nagaoka S, Tokuyama J, Sasaki S, Seto Y, Shimada H†	Surgery	20210222			Epub ahead of print		Original Article
37	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Prognostic impact of CEA/CA19-9 at the time of recurrence in patients with gastric cancer.	Moriyama J†, Oshima Y†, Nanami T†, Suzuki T†, Yajima S†, Shiratori F†, Funahashi K†, Shimada H*†	Surgery today	20210307			Online ahead of print		Original Article
38	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座, 医学部 医学科 外科学講座 心臓血管外科学分野(大森)	Radical Esophagectomy Combined with Resection of the Invaded Descending Aorta for T4 Barrett's Esophageal Carcinoma: A Case Report	Yajima S†, Suzuki T†, Okuma S†, Fujii T†, Nanami T†, Oshima Y†, Shiratori F†, Funahashi K†, Watanabe Y†, Shimada H*†	Toho Journal of Medicine	20210301	7	1	78	83	Case report
39	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座, 医学部 医学科 総合診療・ 救急医学講座(大森)	Does preoperative low HbA1c predict esophageal cancer outcomes?	Kochi R†, Suzuki T†, Yajima S†, Oshima Y†, Ito M†, Funahashi K†, Shimada H*†	Annals of thoracic and cardiovascular surgery	20200820	26	4	184	189	Original Article

40	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座, 医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森), 医学部 医学科 内科学講座 血液・ 腫瘍学分野(大森)	Early electrocardiographic indices for predicting chronic doxorubicin-induced cardiotoxicity.	Kinoshita T†, Yuzawa H†, Natori K†, Wada R†, Yao S†, Yano K†, Akitsu K†, Koike H†, Shinohara M†, Fujino T†, Shimada H†, Ikeda T†	Journal of cardiology	20201005	77	4	388	394	Original Article
41	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座, 医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森)	Randomized Phase II Study to Comparing Docetaxel/Nedaplatin versus Docetaxel for 5-Fluorouracil/Cisplatin Resistant Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Yajima S†, Suzuki T†, Nanami T†, Oshima Y†, Kikuchi Y†, Funahashi K†, Shimada H*†	Annals of thoracic and cardiovascular surgery	20210106			Advanced online publication		Original Article
42	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座, 医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森), 医学部 医学科 病院病理学講座(大森)	Immunohistochemical analysis of tumor budding as predictor of lymph node metastasis from superficial esophageal squamous cell carcinoma.	Fuchinoue K†, Nemoto T, Shimada H*†, Tochigi N†, Igarashi Y†, Yajima S†, Suzuki T†, Oshima Y†, Shibuya K†	Esophagus	20200400	17	2	168	174	Original Article
43	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座, 医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森), 医学部 医学科 病院病理学講座(大森)	Successful treatment of advanced pancreatic leiomyosarcoma treated with gemcitabine plus nab-paclitaxel: a case report and literature review.	Kikuchi Y†, Nishikawa Y†, Amanuma M†, Kishimoto Y†, Takuma K†, Wakayama M†, Shibuya K†, Okano N†, Shimada H†, Igarashi Y†	International Cancer Conference Journal	20201010	10	1	63	67	Case report
44	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座, 医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森), 医学部 医学科 総合診療・救急医学講座 (大森), 医学部 医学科 外科学 講座 一般・消化器外科学分野 (大橋), 医学部 医学科 外科学 講座(佐倉)	New Assay System Elecsys Anti-p53 to Detect Serum Anti-p53 Antibodies in Esophageal Cancer Patients and Colorectal Cancer Patients: Multi-institutional Study.	Yajima S†, Suzuki T†, Oshima Y†, Shiratori F†, Funahashi K†, Kawai S†, Nanki T†, Muraoka S†, Urita Y†, Saida Y†, Okazumi S†, Kitagawa Y, Hirata Y, Hasegawa H, Okabayashi K, Murakami M, Yamashita T, Kato R, Matsubara H, Murakami K, Nakajima Y, Sugita H, Klammer M, Shimada H*†	Annals of surgical oncology	20201118			Online		Original Article
45	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森)	Continuation of aspirin perioperatively for lung resection: a propensity matched analysis	Takashi Sakai†, Keiji Aokage, Shinya Katsumata, Kenta Tane, Tomohiro Miyoshi, Masahiro Tsuboi	Surgery today	20210103	10.1007/s00595-020-		02202	-4	Original Article
46	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森)	Relationship between podoplanin-expressing cancer-associated fibroblasts and the immune microenvironment of early lung squamous cell carcinoma.	Suzuki J, Aokage K, Neri S, Sakai T†, Hashimoto H, Su Y, Yamazaki S, Nakamura H, Tane K, Miyoshi T, Sugano M, Kojima M, Fujii S, Kuwata T, Ochiai A, Tsuboi M, Ishii G.	Lung cancer (Amsterdam, Netherlands)	20210300	10.1016/j.lungcan.2020.12.020.	1		10	Original Article
47	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森), 医学部 医学科 外科学講座(佐倉)	Cancer exosomal microRNAs from gefitinib-resistant lung cancer cells cause therapeutic resistance in the gefitinib-sensitive cells	Azuma Y†, Yokobori T, Mogi A, Yajima T, Kosaka T, Iijima M, Shimizu K, Shirabe K, Kuwano H.	Surgery Today	20200901	50	9	1099	1106	Original Article
48	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森), 医学部 医学科 外科学講座(佐倉)	A novel finding related to bulla and bleb formation in patients with primary spontaneous pneumothorax.	Iyoda A†, Azuma Y†, Sakai T†, Koezuka S†, Otsuka H†, Sano A†.	BMC pulmonary medicine	20210109			10.1186/s12890-021-	01402-z.	Original Article
49	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森), 医学部 医学科 外科学講座(佐倉), 医学部 医学科 病院病理学講座(大森), 医学部 医学科 内科学講座 血液・腫瘍学分野(大森)	Perioperative Bypassing Agent Therapy for Pulmonary Pleomorphic Carcinoma with Acquired Hemophilia	Takashi Sakai†, Yoko Azuma†, Atsushi Sano†, Sota Sadamoto†, Naobumi Tochigi†, Daisuke Nagase†, Akira Iyoda†	Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery	20210120	10.5761/atcs.cr		.20-	00257	Case report
50	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森), 医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森), 医学部 医学科 外科学 講座(佐倉)	Long-term outcomes in patients with benign central airway stenosis or obstruction after stenting	Akira Iyoda†*, Yoko Azuma†, Atsushi Sano†, Takashi Sakai†, Satoshi Koezuka†, Hajime Otsuka†, Kazutoshi Isobe†, Susumu Sakamoto†, Yoshinobu Hata, Keigo Takagi	World Academy of Sciences Journal	20200717			10.3892/wasj.2020.61		Original Article

51	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森), 医学部 医 学科 内科学講座 呼吸器内科 学分野(大森), 医学部 医学科 外科学講座(佐倉)	Preoperative undernutrition predicts postoperative complications of acute empyema.	Sakai T†, Sano A†, Azuma Y†, Koezuka S†, Otsuka H†, Shimizu H†, Kishi K†, Iyoda A†.	Health Science Reports	20210106	10.1002/		hsr	2.232.	Original Article
52	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森), 医学部 医 学科 内科学講座 呼吸器内科 学分野(大森), 医学部 医学科 外科学講座(佐倉), 医学部 医 学科 病院病理学講座(大森), 医学部 医学科 総合診療・救急 医学講座(大森)	Good syndrome with cytomegalovirus hepatitis: successful resection of Thymoma: a case report	Sho Isebe†, Atsushi Sano†, Hajime Otsuka†, Yoko Azuma†, Satoshi Koezuka†, Takashi Makino†, Takashi Sakai†, Takafumi Ito†, Tadashi Maeda†, Kozue Ejima†, Sakae Homma† and Akira Iyoda†*	Journal of Cardiothoracic Surgery	20200615	15		141		Case report
53	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森), 医学部 医 学科 病院病理学講座(大森), 医学部 医学科 外科学講座(佐 倉)	Catamenial Pneumothorax with Pulmonary Fistula Identified during Surgery	Takashi Sakai †, Yoko Azuma †, Atsushi Sano †, Naobumi Tochigi †, Akira Iyoda †*	The Annals of thoracic surgery	20200900	110	3	209	211	Case report
54	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森), 医学部 医 学科 麻酔科学講座(大森), 医 学部 医学科 病院病理学講座 (大森), 医学部 医学科 外科学 講座(佐倉)	Mediastinal Tumor Resection in a Patient with Spinocerebellar Degeneration	Tsuboi E, Azuma Y†, Makino T†, Terada T†, Otsuka H†, Sano A†, Koezuka S†, Sakai T†, Tochigi N†, Iyoda A†*	Journal of Cardiothoracic Surgery	20200729	10.21203/r s.3.rs- 16375/v1		1	5	Case report
55	医学部 医学科 外科学講座 心臓血管外科学分野(大森)	Novel treatment for atrial septal defect without an inferior septal rim and partial anomalous right lower pulmonary venous connection.	©Kota Kawadada†, Yuzo Katayama(co)†, Tsukasa Ozawa, Takeshiro Fujii†, Noritsugu Shiono†, Yoshinori Watanabe†,	Toho J Med	20200600			128	131	Others
56	医学部 医学科 外科学講座 心臓血管外科学分野(大森)	The prognostic impact of the controlling nutritional status (CONUT) score in patients undergoing cardiovascular surgery.	Masanori Hara, Takeshiro Fujii, Hiroshi Masuhara, Muneyasu Kawasaki, Keiichi Tokuhira, Yoshinori Watanabe	General thoracic and cardiovascular surgery	20200800	68	10	1142	1147	Original Article
57	医学部 医学科 外科学講座 心臓血管外科学分野(大森)	Antibacterial Effects of Vascular Grafts Treated with Rifampicin, Colistin, Vancomycin, or Daptmycin	©Okuma S†, Hamada M, Hanai Y, Fujii T†, Tateda K, Watanabe Y†,	Toho J Med	20200900	6	3	104	110	Others
58	医学部 医学科 外科学講座(佐 倉), 医学部 医学科 外科学講 座 呼吸器外科(大森)	Virtual bronchoscopy using Horos	Atsushi Sano†	Lung India	20200831	37	5	457	458	Others
59	医学部 医学科 外科学講座(佐 倉), 医学部 医学科 外科学講 座 呼吸器外科(大森)	Diaphragm reconstruction by GORE DUALMESH in patients undergoing resection for thoracic malignancies	Atsushi Sano†, Yoko Azuma†, Takashi Sakai†, Satoshi Koezuka†, Hajime Otsuka† and Akira Iyoda†	Journal of Cardiothoracic Surgery	20210331	16		65		Original Article
60	医学部 医学科 眼科学講座(大 森)	Bacterial keratoconjunctivitis caused by Staphylococcus argenteus belonging to sequence type 1223 isolated in Japan	Yamada K, Sasaki M, Imai W, Kato M, Maehara C, Yasui K, Fukuzawa S, Murakami H, Kakisu K, Hori Y, Nagasawa T, Aoki K, Yamaguchi T, Ishii Y, Tateda K	Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy	20200526	26		1002	1004	Case report
61	医学部 医学科 眼科学講座(大 森)	Correlation between Blood Flow and Temperature of the Ocular Anterior Segment in Normal Subjects	Itokawa T, Suzuki T, Okajima Y, Kobayashi T, Iwashita H, Gotoda S, Kakisu K, Tei Y, Hori Y	Diagnostics	20200915	10	9	E695		Original Article
62	医学部 医学科 眼科学講座(大 森)	Comparison and Evaluation of Prelens Tear Film Stability by Different Noninvasive in vivo Methods	Itokawa T, Suzuki T, Iwashita H, Hori Y	Clinical Ophthalmology	20201200	2020	14	4459	4468	Original Article
63	医学部 医学科 眼科学講座(大 森)	Comparison of Two Preparation Methods for Platelet-Rich Plasma Eye Drops for Release of Growth Factors and De-Epithelization Rabbit Model	Kobayashi T, Suzuki T, Saito T, Itokawa T, Hori Y	Journal of Ophthalmology	20201200	2020	5	1	9	Original Article
64	医学部 医学科 眼科学講座(大 森), 医学部 医学科 臨床支援 室	Polarization-sensitive optical coherence tomography for estimating relative melanin content of autologous induced stem-cell derived retinal pigment epithelium.	Matsuzaki M, Mandai M, Yamanari M, Totani K, Nishida M, Sugita S, Maeda T, Koide N, Takagi S, Hirami Y, Miyamoto N, Sugiyama S, Takahashi M, Kurimoto Y.	Scientifics Report	20200500	6	10(1)	7656		Original Article

65	医学部 医学科 眼科学講座(大森), 医学部 医学科 臨床支援室	HLA-matched Allogeneic iPS cells-derived RPE Transplantation for Macular Degeneration	Sunao Sugita, Michiko Mandai, Yasuhiko Hirami, Seiji Takagi, Tadao Maeda, Masashi Fujihara, Mitsuhiro Matsuzaki, Midori Yamamoto, Kyoko Iseki, Naoko Hayashi, Ayumi Hono, Shoko Fujino, Naoshi Koide, Noriko Sakai, Yumiko Shibata, Motoki Terada, Mitsuhiro Nishida, Hiromi Dohi, Masaki Nomura, Naoki Amano, Hirokazu Sakaguchi, Chikako Hara, Kazuichi Maruyama, Takashi Daimon, Masataka Igeta, Toshihiko Oda, Utako Shirono, Misato Tozaki, Kota Totani, Satoshi Sugiyama, Kohji Nishida, Yasuo Kurimoto, Masayo Takahashi	Journal of clinical medicine	20200700	13	9(7)	2217		Original Article
66	医学部 医学科 眼科学講座(大森), 医学部 医学科 臨床支援室	Melanin concentration and depolarization metrics measurement by polarization-sensitive optical coherence tomography	Masahiro Yamanari, Mutsuki Mase, Ryo Obata, Mitsuhiro Matsuzaki, Takahiro Minami, Seiji Takagi, Motoshi Yamamoto, Noriko Miyamoto, Koji Ueda, Naoshi Koide, Tadao Maeda, Kota Totani, Nobuyori Aoki, Yasuhiko Hirami, Satoshi Sugiyama, Michiko Mandai, Makoto Aihara, Masayo Takahashi, Satoshi Kato, and Yasuo Kurimoto	Scientific Reports	20201100	11	10(1)	19513		Original Article
67	医学部 医学科 眼科学講座(大森), 医学部 医学科 臨床支援室	Correlation between tangential distortion of the outer retinal layer and metamorphopsia in patients with epiretinal membrane	Daiki Sakai, Seiji Takagi, Yasuhiko Hirami, Makoto Nakamura, Yasuo Kurimoto	Graefes Archives Clinical Experimental of Ophthalmology	20210100	16. doi: 10.1007/s00417-021-05077	2021 Jan 16. doi: 10.1007/s00417-021-05077	2021 Jan 16. doi: 10.1007/s00417-021-05077		Original Article
68	医学部 医学科 形成外科学講座(大森・大橋・佐倉)	Cranial Reconstruction Using Antibiotic-impregnated Calcium Phosphate Bone Cement With a Titanium Mesh Sheet	Akihiro Ogino, Miho Nakamichi, Kei Takeda, Kiyoshi Onishi	The Journal of Craniofacial Surgery	20200700	31	5	1452	1455	Original Article
69	医学部 医学科 研究推進室, 医学部 医学科 微生物・感染症学講座, 医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	Early anti-SARS-CoV-2 immunoglobulin G response may be associated with disease severity in patients with COVID-19	Maeda T, Kashiwagi K, Yoshizawa S, Sato T, Aoki K, Ishii Y, Tateda K.	Jpn J Infect Dis	20210226	2021 Feb 26.		doi: 10.7883/yoken.JJID.2020.799.	Online ahead of print.	Original Article
70	医学部 医学科 口腔外科学研究室(大森)	Pneumonia prevention effects of perioperative oral management in approximately 25,000 patients following cancer surgery.	Kurasawa Y, Maruoka Y, Sekiya H†, Negishi A, Mukohyama H, Shigematsu S, Sugizaki J, Karakida K, Ohashi M, Ueno M, Michiwaki Y.	Clinical and Experimental Dental Research	20200400	6	2	165	173	Original Article
71	医学部 医学科 口腔外科学研究室(大森)	Migration of Dental Implants into the Nasal Cavity:A Case Report	Ryosuke H, Haruka H, Ryoko H, Keisuke T, Yuma F, Ayaka A, Mei I, Tadashi K, Kenshin O, Kosuke K, Yoshimi I	TEIKYO MEDICAL JOURNAL	20201125	43	6	249	253	Case report
72	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Metastasis to para-aortic lymph nodes cephalad to the renal veins in patients with ovarian cancer.	Komiyama S†, Nagashima M†, Taniguchi T†, Rikitake T†, Morita M†.	World journal of surgical oncology	20200400	18	1	1	10	Original Article
73	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Effects of MTHFR C677T polymorphism on vitamin D, homocysteine and natural killer cell cytotoxicity in women with recurrent pregnancy losses	Ota K, Toshifumi T, Dambaeva S, Han AR, Mizunuma H, Kwak-Kim J.	Human reproduction (Oxford, England)	20200600	35	6	1276	1287	Original Article
74	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Effects of MTHFR C677T polymorphism on vitamin D, homocysteine and natural killer cell cytotoxicity in women with recurrent pregnancy losses	Ota K†, Toshifumi T, Dambaeva S, Han AR, Mizunuma H, Kwak-Kim J.	Hum. Reprod.	20200601	35	6	1276	1287	Case report
75	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Noninvasive prenatal testing aids identification of tetrasomy 18p: A case report	Yuko Tamaki, Yukiko Katagiri, Nahomi Umemura, Naoki Takeshita, Mineto Morita	Case Rep Womens Health	20200700	e00236		doi: 10.1016/j.crwh.2020.e00236		Case report
76	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Perinatal outcome in case of maternal death for cerebrovascular acute disorders: a nationwide study in Japan.	Shinji Katsuragi, Hiroaki Tanaka, Junichi Hasegawa, Akiko Kurasaki, Masamitsu Nakamura, Naohiro Kanayama, Masahiko Nakata†, Eijiro Hayata†, Takeshi Murakoshi, Jun Yoshimatsu, Kazuhiro Osato, Kayo Tanaka, Tomoaki Oda, Akihiko Sekizawa, Takako Shimaoka, Isamu Ishiwata, Jun Takahashi, Tomoaki Ikeda	The journal of maternal-fetal & neonatal medicine : the official journal of the European Association of Perinatal Medicine, the Federation of Asia and Oceania Perinatal Societies, the International Society of Perinatal Obstetricians	20200700	16		1	6	Original Article

77	医学部 医学科 産科婦人科学 講座(大森)	New surgical technique of laparoscopic resection of adenomyosis under real-time intraoperative ultrasound elastography guidance: A case report	Ota Y, Ota K*, Takahashi T, Suzuki S, Sano R, Shiota M.	Heliyon	20200804	6	8	e04628		Case report
78	医学部 医学科 産科婦人科学 講座(大森)	DuoStim: a new option for fertility preservation for a woman with Turner syndrome.	Ito A, Katagiri Y, Tamaki Y, Fukuda Y, Oji A, Morita M.	Gynecol Endocrinol	20200900	36	12	1144	1148	Original Article
79	医学部 医学科 産科婦人科学 講座(大森)	Spontaneous unscarred uterine rupture and surgical repair at 11 weeks of gestation in a twin pregnancy.	Takahashi T, Ota K, Jimbo M, Mizunuma H.	The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	20200900	46	9	1911	1915	Case report
80	医学部 医学科 産科婦人科学 講座(大森)	COVID-19 and immunomodulation treatment for women with reproductive failures.	Kwak-Kim J, Ota K†, Sung N, Huang C, Alsubki L, Lee S, Han JW, Han AR, Yang X, Saab W, Derbala Y, Wang WJ, He Q, Liao A, Toshifumi T, Cavalcante MB, Barini R, Bao S, Fukui A, Ledee N, Coulam C.	Journal of reproductive immunology	20200900	141		103168		Original Article
81	医学部 医学科 産科婦人科学 講座(大森)	Prediction of Twin-to-Twin Transfusion Syndrome Using Characteristic Waveforms of Ductus Venosus in Recipient Twins	Mayumi Takano, Masahiko Nakata, Sumito Nagasaki, Junya Sakuma, Mineto Morita	Twin Research and Human Genetics	20201002			doi: 10.1017/thg.2020.73		Original Article
82	医学部 医学科 産科婦人科学 講座(大森)	Successful management of a submucosal fibroid using a hysteroscopic morcellator system in a patient with a history of total proctocolectomy: A case report	Ota K, Toshifumi T, Kamo N, Endo Y, Furukawa S, Soeda S	The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	20201100	46	11	2450	2453	Case report
83	医学部 医学科 産科婦人科学 講座(大森)	Successful planned pregnancy through vitrified-warmed embryo transfer in a women with chronic myeloid leukemia: case report and literature review	Furukawa Y, Takahashi T, Suganuma R, Ohara M, Ota K, Kyojuka H, Yamaguchi A, Soeda S, Watanabe T, Komiya H, Mizunuma H, Fujimori K.	he Mediterranean Journal of Hematology and Infectious Diseases	20201200	12	1	e2020005		Case report
84	医学部 医学科 産科婦人科学 講座(大森)	Primary endometrioid carcinoma of the uterosacral ligament arising from deep infiltrating endometriosis 6 years after bilateral salpingo-oophorectomy due to atypical proliferative endometrioid tumor of the ovary: a rare case report.	Ota Y, Ota K*, Takahashi T, Suzuki S, Sano R, Ota I, Moriya T, Shiota M.	World journal of surgery	20201211	18	1	329		Case report
85	医学部 医学科 産科婦人科学 講座(大森)	Assisted reproductive technology in Japan: A summary report for 2018 by the Ethics Committee of the Japan Society of Obstetrics and Gynecology	Osamu Ishihara, Seung Chik Jwa, Akira Kuwahara, Yukiko Katagiri, Yoshimitsu Kuwabara, Toshio Hamatani, Miyuki Harada, Yutaka Osuga	Reprod Med Biol.	20210100	20	1	3	12	Review
86	医学部 医学科 産科婦人科学 講座(大森)	Current status of cervical cytology during pregnancy in Japan	Shunji Suzuki, Eijiro Hayata†, Shin-ichi Hoshi, Akihiko Sekizawa, Yoko Sagara, Masanobu Tanaka†, Katsuyuki Kinoshita, Tadaichi Kitamura	PLoS One	20210107	16	1	https://doi.org/10.1371/journal.pone.0245282		Original Article
87	医学部 医学科 産科婦人科学 講座(大森)	Measurement of fetal automated fractional shortening using two-dimensional tracking in multiple centers	Sumito Nagasaki, Masahiko Nakata, Mayumi Takano, Junya Sakuma, Ryuhei Nagai, Susumu Miyashita, Yuichiro Takahashi, Shigenori Iwagaki, Yuka Yamamoto, Mineto Morita	Journal of medical ultrasonics	20210111	48		83	90	Original Article
88	医学部 医学科 産科婦人科学 講座(大森)	relationship between temporal changes of endometrial blood flow impedance during natural and hormone replacement cycles and prediction of pregnancy during vitrified-warmed embryo transfer.	61.Ota K, Shiraishi S, Takahashi T.	The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	20210300	47	3	1057	1063	Original Article
89	医学部 医学科 産科婦人科学 講座(大森)	Nationwide study of mortality and survival in pregnancy-related streptococcal toxic shock syndrome	Eijiro Hayata†, Masahiko Nakata†, Junichi Hasegawa, Hiroaki Tanaka, Takeshi Murakoshi, Nobuaki Mitsuda, Akihiko Sekizawa, Tomoaki Ikeda, Isamu Ishiwata	The journal of obstetrics and gynaecology research	20210302	47	3	928	934	Original Article
90	医学部 医学科 産科婦人科学 講座(大森), 医学部 医学科 社会医学講座/医療政策・経営科学	The geographical maldistribution of obstetricians and gynecologists in Japan	Matsumoto K†, Seto K†, Hayata E†, Fujita S†, Hatakeyama Y†, Onishi R†, Hasegawa T†	PLoS One	20210112	16	1	e0245385		Original Article
91	医学部 医学科 産科婦人科学 講座(大森), 医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Apixaban Therapy in a Pregnant Woman With Heparin-Induced Thrombocytopenia and Venous Thromboembolic Events Caused by Congenital Antithrombin Deficiency: A Case Report	Mayuko Komori†, Eijiro Hayata†, Masahiko Nakata†, Hitomi Yuzawa†, Ayako Oji†, Mineto Morita†	Case Reports in Women's Health	20200403	27		e00200		Case report
92	医学部 医学科 耳鼻咽喉科学 講座(大森)	Mouthwash-Based Highly Sensitive Pyro-Genotyping for Nine Sexually Transmitted Human Papilloma Virus Genotypes	Yoshiyuki Watanabe *, Seto Yukiko, Ritsuko Oikawa, Takara Nakazawa, Hanae Furuya, Hidehito Matsui, Sachiko Hosono, Mika Noike, Akiko Inoue, Hiroyuki Yamamoto, Fumio Itoh, Kota Wada	International Journal of Molecular Sciences	20200524	21	10	3697		Original Article
93	医学部 医学科 耳鼻咽喉科学 講座(大森)	Anatomical Factors that Can Predict the Structure of Lamina Papyracea for Endoscopic Sinus Surgery	Shinya Ohira, Kentaro Matsuura, Hidehito Matsui, Mitsuto Nakamura, Kazuhisa Kamiyama, Riko Kajiwara, Akiko Inoue, Kota Wada	The Laryngoscope	20210100	131	1	E19	E25	Original Article

94	医学部 医学科 耳鼻咽喉科学講座(大森), 医学部 医学科 免疫学講座	High CD4+ T-Cell/B-Cell Ratio in the Paranasal Sinus Mucosa of Patients with Eosinophilic Chronic Rhinosinusitis	Akiko Inoue, Yuriko Tanaka, Shinya Ohira, Kentaro Matsuura, Motonari Kondo, Kota Wada	International Archives of Otorhinolaryngology	20200705	0	0	1	5	Original Article
95	医学部 医学科 社会医学講座/医療統計学, 医学部 医学科 病院病理学講座(大森)	Histopathological study on the prevalence of trichosporonosis in formalin-fixed and paraffin-embedded tissue autopsy sections by in situ hybridization with peptide nucleic acid probe.	Sadamoto S†, Shinozaki M†, Nagi M, Nihonyanagi Y†, Ejima K†, Mitsuda A†, Wakayama M†, Tochigi N†, Murakami Y†, Hishima T, Nemoto T †, Nakamura S, Miyazaki Y, Shibuya K†.	Medical mycology : official publication of the International Society for Human and Animal Mycology	20200601	58	4	460	468	Original Article
96	医学部 医学科 小児科学講座(大森)	Predisposition to prolonged neutropenia after chemotherapy for paediatric acute myeloid leukaemia is associated with better prognosis in the Japanese Paediatric Leukaemia/Lymphoma Study Group AML-05 study	Aoki T, Takahashi H, Tanaka S, Shiba N, Hasegawa D, Iwamoto S, Terui K, Moritake H, Nakayama H, Shimada A, Koh K, Goto H, Kosaka Y, Saito AM, Horibe K, Kinoshita A, Tawa A, Taga T, Adachi S, Tomizawa D	British Journal of Haematology	20200400	doi.org/10.1111/bjh.16656		1	5	Original Article
97	医学部 医学科 小児科学講座(大森)	DNA methylation-based classification reveals difference between pediatric T-cell acute lymphoblastic leukemia and normal thymocytes.	Kimura S, Seki M, Kawai T, Goto H, Yoshida K, Isobe T, Sekiguchi M, Watanabe K, Kubota Y, Nannya Y, Ueno H, Shiozawa Y, Suzuki H, Shiraishi Y, Ohki K, Kato M, Koh K, Kobayashi R, Deguchi T, Hashii Y, Imamura T, Sato A, Kiyokawa N, Manabe A, Sanada M, Mansour MR, Ohara A, Horibe K, Kobayashi M, Oka A, Hayashi Y, Miyano S, Hata K, Ogawa S, Takita J	Leukemia	20200400	34	4	1163	1168	Original Article
98	医学部 医学科 小児科学講座(大森)	Induction of blood-circulating bile acids supports recovery from myelosuppressive chemotherapy.	Valgardur Sigurdsson, Youichi Haga†, Hajime Takei, Els Mansell, Chizuko Okamatsu-Haga, Mitsuyoshi Suzuki, Visnja Radulovic, Mark van der Garde, Shuhei Koide, Svetlana Soboleva, Mats Gäfvels, Hiroshi Nittono, Akira Ohara, Kenichi Miharada	Blood Advance	20200512	4	9	1834	1843	Original Article
99	医学部 医学科 小児科学講座(大森)	JCS/JCS 2020 Guideline on Diagnosis and Management of Cardiovascular Sequelae in Kawasaki Disease	Fukazawa R, Kobayashi J, Ayusawa M, Hamada H, Miura M, Mitani Y, Tsuda E, Nakajima H, Matsuura H†, Ikeda K, Nishigaki K, Suzuki H, Takahashi K†, Suda K, Kamiyama H, Onouchi Y, TKobayashi T, Yokoi H, Sakamoto K, Ochi M, Kitamura S, Hamaoka K, Senzaki H, Kimura T, Japanese Circulation Society Joint Working Group	Circulation Journal	20200722	84	8	1348	1407	Review
100	医学部 医学科 小児科学講座(大森)	Landscape of driver mutations and their clinical impacts in pediatric B-cell precursor acute lymphoblastic leukemia	Ueno H, Yoshida K, Shiozawa Y, Nannya Y, Iijima-Yamashita Y, Kiyokawa N, Shiraishi Y, Chiba K, Tanaka H, Isobe T, Seki M, Kimura S, Makishima H, Nakagawa M, Kakiuchi N, Kataoka K, Yoshizato T, Nishijima D, Deguchi T, Ohki K, Sato A, Takahashi H, Hashii Y, Tokimasa S, Hara J, Kosaka Y, Kato K, Inukai T, Takita J, Imamura T, Miyano S, Manabe A, Horibe K, Ogawa S, Sanada M	Blood Advances	20201000	4	20	5165	5173	Original Article
101	医学部 医学科 小児科学講座(大森)	Impact of immunophenotypic characteristics on genetic subgrouping in childhood acute lymphoblastic leukemia: Tokyo Children's Cancer Study Group (TCCSG) study L04-16.	Ohki K, Takahashi H†, Fukushima T, Nanmoku T, Kusano S, Mori M, Nakazawa Y, Yuza Y, Migita M, Okuno H, Morimoto A, Yoshino H, Kato M, Hayashi Y, Manabe A, Ohara A, Hasegawa D, Inukai T, Tomizawa D, Koh K, Kiyokawa N; Tokyo Children's Cancer Study Group (TCCSG)	Genes Chromosomes Cancer	20201000	59	10	551	561	Original Article
102	医学部 医学科 小児科学講座(大森)	Retrospective study of the renal function using estimated glomerular filtration rate and congenital anomalies of the kidney-urinary tract in pediatric Turner syndrome	Izumita Y, Nishigaki S, Satoh M†, Takubo N, Numakura C, Takahashi I, Soneda S, Abe Y, Kamasaki H, Ohtsu Y, Igaki J, Hasegawa Y, Nagasaki K	Congenital Anomalies	20201100	60	6	175	179	Original Article

103	医学部 医学科 小児科学講座 (大森)	Pregnancy and delivery in patients with repaired congenital heart disease: A retrospective Japanese multi-center study	Shinichi Takatsuki MD1*, Yoshiyuki Furutani PhD2, Kei Inai MD, PhD2, Tohru Kobayashi MD, PhD3, Ryo Inuzuka MD, PhD4, Tomomi Ueda MD5, Mitsuhiro Kamisago MD, PhD6, Jun Muneuchi MD7, Masahide Kaneko MD8, Yasushi Misaki MD8, Hiroshi Ono MD8, Hitoshi Kato MD8, Eriko Shimada MD2, Tokuko Shinohara MD2, Kenji Waki MD9, Kenji Suda MD10, Yasunobu Hayabuchi MD11, Hiroataka Ohki MD12, Reina Ishizaki, MD13, Jun Maeda MD, PhD12, 13*, Hiroyuki Yamagishi MD, PhD13*	Circulation Journal	20201125	84	12	2270	2274	Original Article
104	医学部 医学科 小児科学講座 (大森)	Attempts to optimize postinduction treatment in childhood acute myeloid leukemia without core-binding factors: A report from the Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group (JPLSG)	Hasegawa D, Tawa A, Tomizawa D, Watanabe T, Saito AM, Kudo K, Taga T, Iwamoto S, Shimada A, Terui K, Moritake H, Kinoshita A, Takahashi H, Nakayama H, Koh K, Goto H, Kosaka Y, Miyachi H, Horibe K, Nakahata T, Adachi S	Pediatric Blood & Cancer	20201200	e28692		1	10	Original Article
105	医学部 医学科 小児科学講座 (大森)	Vaginal Transmission of Cancer from Mothers with Cervical Cancer to Infants	©Ayumu Arakawa, Hitoshi Ichikawa, Takashi Kubo, Noriko Motoi, Tadashi Kumamoto, Miho Nakajima, Kan Yonemori, Emi Noguchi, Kuniko Sunami, Kouya Shiraishi, Hiroki Kakishima, Hiroshi Yoshida, Tomoro Hisiki, Naonori Kawakubo, Takafumi Kuroda, Takako Kiyokawa, Kyosuke Yamada, Nozomu Yanahira, Kazuaki Takahashi, Aikou Okamoto, Shinsuke Hirabayashi, Daisuke Hasegawa, Atushi Manabe, Kentaro Ono, † Masaki Matsuoka, Yasuhiro Arai, Yosuke Togashi, Tatsuhiro Shibata, Hiroyoshu Nishikawa, Kazunori Aoki, Noboru Yamamoto, Takahashi Kohno, Chitose Ogawa	The New England journal of medicine	20210107	384	1	42	50	Case report
106	医学部 医学科 心身医学講座 (大森)	The risk of eating disorder relapse during pregnancy and after delivery and postpartum depression among women recovered from eating disorders	Makino M*†, Yasushi M, Tsutsui S	BMC- Pregnancy and Childbirth	20200527	20	323	323		Original Article
107	医学部 医学科 心身医学講座 (大森)	Effect of relaxation therapy on benzodiazepine use in patients with medically unexplained symptoms	Hashimoto K*†, Takeuchi T†, Koyama A†, Hiiragi M†, Suka S†, Hashizume M†:	BioPsychoSocial Medicine	20200700	14	13	13		Original Article
108	医学部 医学科 心身医学講座 (大森)	Effects of depression and anxiety on empathic communication skills in medical	Yuzo Nakamura, Akiko Koyama, Takeaki Takeuchi, Masahiro Hashizume	MedEdPublish	20201009	3347		1	11	Original Article
109	医学部 医学科 新生児学講座 (大森)	Survey of infants hospitalized for RS virus disease in Tokyo, 2018	Seimiya, A, Morioka, I, Okahashi, A, Nagano, N, Yoda, H†	Pediatrics International	20210200	https://doi.org/10.1111/ped.14381		1	5	Original Article
110	医学部 医学科 新生児学講座 (大森)	Daytime nap and nighttime breastfeeding influence toddlers' nighttime sleep	Nakagawa M†, Ohta H, Shimabukuro R, Asaka Y, Nakazawa T, Oishi Y†, Hirata M, Ando A, Ikeda T, Yoshimura Y, Mitani Y, Kaneshi Y, Morioka K, Fukutomi R, Kobayashi K, Ozawa M, Takeshima M, Mishima K, Kikuchi M, Cho K, Yoda H†, Kusakawa I	Scientific Reports	20210200	11	https://doi.org/10.1038/s41598-021-81970-6	1	5	Original Article
111	医学部 医学科 腎臓学講座 (大森)	Increasing bladder capacity and vesicoureteral reflux in pediatric kidney transplant patients	Yosuke Morizawa, Hiroyuki Satoh, Shun Iwasa, Atsuko Sato, Yujiro Aoki†, Ryoko Harada, Riku Hamada, Hiroshi Hataya	International journal of urology : official journal of the Japanese Urological Association	20200800	27	11	1008	1012	Original Article
112	医学部 医学科 腎臓学講座 (大森)	Penile cyst	Kazuhiro Uda, Satoko Suzuki, Yujiro Aoki†, Hiroshi Sakiyama	Journal of paediatrics and child health	20200800	58	8	1317		Case report
113	医学部 医学科 腎臓学講座 (大森)	Successful Treatment of End-stage Renal Disease in a Patient With Chronic Myeloid Leukemia by Kidney Transplantation and Tyrosine Kinase Inhibitors: A Case Report	篠田和伸	Transplantation proceedings	20200800	52		604		Case report
114	医学部 医学科 腎臓学講座 (大森)	A cross-sectional nationwide survey of congenital and infantile nephrotic syndrome in Japan.	©Hamasaki Y, Hamada R, Muramatsu M, MatsumotoS, Aya K, Ishikura K, Kaneko T, Iijima K.	BMC Nephrology.	20200900	21		363		Original Article

115	医学部 医学科 腎臓学講座(大森)	Dehydroxymethylepoxyquinomicin, a novel nuclear factor-κB inhibitor, prevents the development of cyclosporine A nephrotoxicity in a rat model	篠田和伸	BMC Pharmacology and Toxicology	20200900	21	60	1		Original Article
116	医学部 医学科 腎臓学講座(大森)	The role of miRNA-155 in the immunopathogenesis of obliterative airway disease in mice induced by circulating exosomes from human lung transplant recipients with chronic lung allograft dysfunction	Sandhya Bansal, Yoshihiro Itabashi, Sudhir Perincheri, Christin Poulson, Ankit Bharat, Michael A.Smith, Ross M.Bremner, T.Mohanakumar	Cellular immunology	20200900	355		104172		Original Article
117	医学部 医学科 腎臓学講座(大森)	Pathological Analysis of Early Transplant Glomerulopathy in Renal Allografts Using Low-Vacuum Scanning Electron Microscopy	Onishi H, Oguchi H, Shinoda K, Mikami T, Arai T, Yamaguchi Y, Sakai K	Nephron	20201201			1	8	Original Article
118	医学部 医学科 腎臓学講座(大森)	Clinicopathological Analysis of Acute/Active Antibody-Mediated Rejection in Renal Allografts According to the Banff 2013 Classification.	Arai T, Oguchi H, Shinoda K, Sakurabayashi K, Mikami T, Itabashi Y, Sakai K	Nephron	20201202	144	Suppl 1	18	27	Original Article
119	医学部 医学科 腎臓学講座(大森)	Clinical Accuracy of Average Creatinine and Cystatin-C-Based Estimated GFR in Japanese Living Renal Transplantation Donors	Yosuke Morizawa, Hiroyuki Satoh, Shun Iwasa, Atsuko Sato, Yujiro Aoki†, Riku Hamada	Transplantation proceedings	20201210	52	10	3017	3022	Original Article
120	医学部 医学科 腎臓学講座(大森), 医学部 医学科 病理学講座	Clinicopathological Analysis of Medullary Ray Injury in 1-Year Protocol Paediatric Renal Allograft Biopsies	Hashimoto J†, Oguchi H*, Mikami T†, Hamasaki H,† Muramatsu M†, Yamaguchi Y, Sakai K†	Nephron	20201120			1	7	Original Article
121	医学部 医学科 整形外科講座(大森)	Adult Morquio syndrome requiring occipito-thoracic fusion	Okumura R†, Hasegawa K†, Tsuge S†, Fukutake K†, Nakamura K†, Takahashi H†, Wada A†	Journal of Orthopaedic Surgery	20200424	28	2	1	5	Case report
122	医学部 医学科 整形外科講座(大森)	A Patient with Spinal Arteriovenous Malformation Treated with Lumbar Vertebral Surgery Due to Misdiagnosis	Matsuoka S†, Tsuge S†, Nakamura K†, Hasegawa K†, Wada A†, Takahashi H†	Open Journal of Orthopedics	20200902	10	9	193	202	Original Article
123	医学部 医学科 整形外科講座(大森)	Evaluation of Percutaneous Pedicle Screw Fixation in Patients with Pyogenic Spondylitis of the Thoracolumbar Spine	Fukutake K†, Wada A†, Kamakura D†, Nakamura K†, Tsuge S†, Hasegawa K†, Takahashi H†	Open Journal of Orthopedics	20201123	10	11	303	312	Original Article
124	医学部 医学科 精神神経医学講座(大森・大橋)	Characteristics of exploratory eye movements in individuals with attenuated psychotic syndrome	Shido Y†, Nemoto T*†, Saito J†, Matsushima E, Kojima T, Mizuno M†	Toho Journal of Medicine	20200600	6	2	82	89	Original Article
125	医学部 医学科 精神神経医学講座(大森・大橋)	Subcortical brain volume abnormalities in individuals with an at-risk mental state	Sasabayashi D, Takayanagi Y, Takahashi T, Katagiri N, Sakuma A, Obara C, Katsura M, Okada N, Koike S, Yamasue H, Nakamura M, Furuichi A, Kido M, Nishikawa Y, Noguchi K, Matsumoto K, Mizuno M, Kasai K, Suzuki M	Schizophrenia bulletin	20200708	46		834	845	Original Article
126	医学部 医学科 精神神経医学講座(大森・大橋)	Can reduced leftward asymmetry of white matter integrity be a marker of transition to psychosis in at-risk mental state?	Saito J†, Nemoto T*†, Katagiri N†, Hori M†, Tagata H†, Funatogawa T†, Yamaguchi T†, Tsujino N†, Mizuno M†	Asian Journal of Psychiatry	20201000	54		102450		Original Article
127	医学部 医学科 精神神経医学講座(大森・大橋)	Psychiatric day treatment specific for young individuals with early psychosis: A possible contribution to improve their functional outcomes	Funatogawa T†, Nemoto T*†, Yamaguchi T†, Katagiri N†, Tsujino N†, Mizuno M†	Toho Journal of Medicine	20201000			1		Original Article
128	医学部 医学科 精神神経医学講座(大森・大橋)	Impact of changes in social anxiety on social functioning and quality of life in outpatients with schizophrenia: A naturalistic longitudinal study	Nemoto T*†, Uchino T†, Aikawa S†, Matsuo S, Mamiya N, Shibasaki Y, Wada Y†, Yamaguchi T†, Katagiri N†, Tsujino N†, Usami T, Mizuno M†	Journal of Psychiatric Research	20201200	131		15	21	Original Article
129	医学部 医学科 精神神経医学講座(大森・大橋)	Demographic and clinical characteristics of foreign nationals accessing psychiatric services in Japan: a multicentre study in a metropolitan area	Takubo Y‡†, Nemoto T*‡†, Iwai M†, Kashima M, Yamaguchi E†, Maruyama A, Miura S, Saito H, Tsujino N†, Mizuno M† (‡: co-first author)	BMC psychiatry	20201203	20	1	569		Original Article
130	医学部 医学科 精神神経医学講座(大森・大橋)	Effects of motivation domains on social functioning in schizophrenia with consideration of the factor structure and confounding influences	Uchino T†, Nemoto T*†, Kojima A†, Takubo Y†, Kotsuji Y†, Yamaguchi E†, Yamaguchi T†, Katagiri N†, Tsujino N†, Tanaka K, Mizuno M†	Journal of Psychiatric Research	20210100	133		106	112	Original Article
131	医学部 医学科 精神神経医学講座(大森・大橋)	Innovative approach to adolescent mental health in Japan: School-based education about mental health literacy	Ojio Y, Mori R, Matsumoto K, Nemoto T†, Sumiyoshi T, Fujita H, Morimoto T, Nishizono-Maier A, Fujii C, Mizuno M†	Early Intervention in Psychiatry	20210200	15	1	174	182	Original Article
132	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	To which journal should generalists submit a clinical case report?	Tago M, Watari T, Shikino K, Sasaki Y†, Takahashi H, Shimizu T	Journal of Hospital General Medicine	20200530	2	3	99	103	Original Article
133	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	Non-perforated hemorrhagic gastric ulcer presenting with left shoulder pain and orthostatic dizziness, but without abdominal pain.	Kashima N†, Sasaki Y†, Maeda T†, Zai H†, Urita Y†	Journal of Hospital General Medicine	20200530	2	3	93	98	Case report
134	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	Effect of high-protein nutrition in critically ill patients: A retrospective cohort study	Ginga Suzuki†, Ryo Ichibayashi†, Saki Yamamoto†, Hibiki Serizawa†, Yoshimi Nakamichi†, Masayuki Watanabe†, Mitsuru Honda†	Clinical Nutrition ESPEN	20200801	38		111	117	Original Article

135	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	Reactive leukocytosis in older patients with acute colonic diverticulitis: A retrospective study utilizing logistic regression analysis.	Sasaki Y†, Komatsu F†, Kashima N†, Maeda T†, Urita Y†,	Geriatrics and Gerontology International	20200902		20	951	955	Original Article
136	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	Five tips on writing case reports for Japanese generalists	Shikino K, Watari T, Tago M, Sasaki Y†, Takahashi H, Shimizu T	Journal of General and Family Medicine 2020	20201026		22	111	112	Original Article
137	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	Possibility of an Intra-Aortic Balloon Pump as a Bridge Therapy to Recovery for Septic Cardiomyopathy.	Toyoda Y†, Ichibayashi R†, Suzuki G†, Sasaki Y†, Honda M†, Urita Y†	Toho Journal of medicine	20201200	6		148	155	Original Article
138	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	Immunochromatographic test for the detection of SARS-CoV-2 in saliva.	Kashiwagi K†, Ishii Y†, Aoki K†, Yagi S†, Maeda T†, Miyazaki T†, Yoshizawa S†, Aoyagi K†, Tateda K†,	Journal of Intensive Care Medicine	20210200	27		384	386	Review
139	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	Change of plasma ketone bodies and skin gas acetone in hemodialysis patients.	Suzuki T†, Sasaki Y(CO)†, Komatsu F†, Maeda T†, Suzuki K, Urita Y†,	Toho Journal of Medicine	20210316	7	1	1	20	Original Article
140	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	Plasma filtration with dialysis for the treatment of capillary leak syndrome occurring secondary to surgery for colon cancer-related perforating peritonitis	Ginga Suzuki†, Ryo Ichibayashi†, Saki Yamamoto†, Hibiki Serizawa†, Yoshimi Nakamichi†, Masayuki Watanabe†, Mitsuru Honda†	Clinical Case Reports	20210321	9	3	1490	1493	Case report
141	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	A case of cardiopulmonary arrest due to left ventricular free wall rupture successfully treated with sutureless repair supported by venoarterial extracorporeal membrane oxygenation	Ginga Suzuki†, Ryo Ichibayashi†, Saki Yamamoto†, Hibiki Serizawa†, Kota Kawada†, Toru Kameda†, Yoshimi Nakamichi†, Masayuki Watanabe†, Shinnosuke Okuma†, Mitsuru Honda†	Clinical Case Reports	20210321	9	3	1207	1211	Case report
142	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森), 医学部 医学科 微生物・感染症学講座	Increased Incidence and Plasma-Biofilm Formation Ability of SCCmec Type IV Methicillin-Resistant Staphylococcus aureus (MRSA) Isolated From Patients With Bacteremia	Hamada M†, Yamaguchi T†, Sato A†, Ono D, Aoki K†, Kajiwara C†, Kimura S†, Maeda T†, Sasaki M†, Murakami H†, Ishii Y†, Tateda†,	frontiers in Cellular and Infection Microbiology	20210326			doi: 10.3389/fcimb.2021.602833		Original Article
143	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森), 医学部 医学科 微生物・感染症学講座, 医学部 医学科 研究推進室	Comparison of IgG antibodies, SARS-CoV-2 load, and prognostic indicators in patients with severe and mild COVID-19 in Japan	Kashiwagi K†, Maeda T†, Yoshizawa S†, Sato T†, Aoki K†, Ishii Y†, Tateda K†	Journal of Nippon Medical School	20201130			doi: 10.1272/jnms.JNMS.2021.88-417.		Original Article
144	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森), 医学部 医学科 微生物・感染症学講座, 医学部 医学科 研究推進室	Immunochromatographic test for the detection of SARS-CoV-2 in saliva	Kashiwagi K†, Ishii Y†, Aoki K†, Yagi S†, Maeda M†, Miyazaki T†, Yoshizawa, S†, Aoyagi, K†, Tateda K†,	Journal of Infection and Chemotherapy	20201223			S1341-321X(20)0423-2		Original Article
145	医学部 医学科 東洋医学研究室(大森)	The acrid raphides in tuberous root of Pinellia ternata have lipophilic character and are specifically denatured by ginger extract	Tsukasa Fueki, Koichiro Tanaka, Kunihiko Obara, Ryudo Kawahara, Takao Namiki, Toshiaki Makino3	Journal of Natural Medicines	20200600			1	10	Original Article
146	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Squamous cell transformation as a mechanism of acquired resistance to tyrosine kinase inhibitor in EGFR-mutated lung adenocarcinoma: a report of two cases.	Uruga H, Fujii T, Nakamura N, Moriguchi S, Kishi K†, Takaya H1	Respirol Case Rep	20200401	14	8(2)	e00521	-	Original Article
147	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	A phase I and extension study of S-1 and carboplatin for previously untreated patients aged 75 years or more with advanced non-small cell lung cancer -TCOG 1101.	Kasai T, Mori K, Kishi K†, Kaburagi T, Hosomi Y, Imai H, Yamada Y, Yomota M, Moriguchi S, Seike M, Minato K, Gemma A; Tokyo Cooperative Oncology Group.	International Journal of Clinical Oncology volume	20200500	25	5	867	875	Original Article
148	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Acute exacerbation of idiopathic interstitial pneumonias related to chemotherapy for lung cancer: nationwide surveillance in Japan.	Minegishi Y, Gemma A, Homma S, Kishi K†, Azuma A, Ogura T, Hamada N, Taniguchi H, Hattori N, Nishioka Y, Tanizawa K, Johkoh T, Yokoyama T, Mori K, Taguchi Y, Ebina M, Inase N, Hagiwara K, Ohnishi H, Mukae H, Inoue Y, Kuwano K, Chiba H, Ohta K, Tanino Y, Sakai F, Sugiyama Y.	ERJ Open Res	20200526	6	2	00184	2019	Original Article
149	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Plasma matrix metalloproteinase 7, CC-chemokine ligand 18, and periostin as markers for pulmonary sarcoidosis	○Takuma Isshiki†, Hisayo Matsuyama, Tetsuo Yamaguchi, Toshisuke Morita, Junya Ono, Satoshi Nunomura, Kenji Izuhara, Susumu Sakamoto†, Sakae Homma†, Kazuma Kishi†	Respiratory Investigation	20200701	58	6	479	487	Original Article
150	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Plasma matrix metalloproteinase 7, CC-chemokine ligand 18, and periostin as markers for pulmonary sarcoidosis	○Takuma Isshiki†, Hisayo Matsuyama, Tetsuo Yamaguchi, Toshisuke Morita, Junya Ono, Satoshi Nunomura, Kenji Izuhara, Susumu Sakamoto†, Sakae Homma†, Kazuma Kishi†	Respiratory Investigation	20200701	58	6	479	487	Original Article
151	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	An elderly woman with severe enteritis mimicking infectious enteritis	Kazunori Nagashima, Takashi Kato, Taichi Kimura, Kazuma Kishi†, Urara Baba	Intestinal research	20200703	-	-	-	-	Original Article
152	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Rare case of pulmonary sarcoidosis with cystic bronchiectasis.	Sugino K, Kurosaki A, Homma S, Kishi K†.	BMJ Case Rep.	20200801	13	8	237863	-	Original Article

153	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Plasma matrix metalloproteinase 7, CC-chemokine ligand 18, and periostin as markers for pulmonary sarcoidosis	Takuma Isshiki †, Hisayo Matsuyama†, Tetsuo Yamaguchi, Toshisuke Morita, Junya Ono, Satoshi Nunomura, Kenji Izuhara, Susumu Sakamoto†, Sakae Homma, Kazuma Kishi†	Respiratory Investigation	20200801	58	6	479	487	Original Article
154	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Safety of bronchoscopy in patients with malignant hematologic disorders	Hironori Uruga, Toshitaka Sato, Aya Nishida, Naoyuki Uchida, Masanori Tsuji, Shuhei Moriguchi, Yui Takahashi, Kazumasa Ogawa, Kyoko Murase, Shigeo Hanada, Hisashi Takaya, Atsushi Miyamoto, Nasa Morokawa, Muneyoshi Kimura, Hideki Araoka, Rumiko Tsuchihashi, Yuki Asano-Mori, Atsushi Wake, Shuichi Taniguchi and Kazuma Kishi†	BMC Pulmonary Medicine	20200900	20		243	248	Original Article
155	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	First-line pembrolizumab vs chemotherapy in metastatic non-small-cell lung cancer: KEYNOTE-024 Japan subset	Miyako Satouchi, Kaname Nosaki, Toshiaki Takahashi, Kazuhiko Nakagawa, Keisuke Aoe, Takayasu Kurata, Akimasa Sekine, Atsushi Horiike, Tatsuro Fukuhara, Shunichi Sugawara, Shigeaki Umemura, Hideo Saka, Isamu Okamoto, Nobuyuki Yamamoto, Hiroshi Sakai, Kazuma Kishi†, Nobuyuki Katakami, Hidehito Horinouchi, Toyoaki Hida, Hiroaki Okamoto, Shinji Atagi, Tatsuo Ohira, Shi Rong Han, Kazuo Noguchi, Victoria Ebiana, Katsuyuki Hotta	Cancer Science	20200914	111		4480	4489	Original Article
156	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Clinical and radiological characteristics of ultrasonic humidifier lung and summer-type hypersensitivity pneumonitis	Susumu Sakamoto†, Marie Furukawa, Hiroshige Shimizu†, Muneyuki Sekiya†, Shion Miyoshi†, Yasuhiko Nakamura†, Naohisa Urabe†, Takuma Isshiki†, Yusuke Usui†, Kazutoshi Isobe †, Yujiro Takai†, Atsuko Kurosaki, Kazuma Kishi†, Sakae Homma	Respiratory Medicine	20201016	174		106196		Original Article
157	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Hypothesis generative head-to-head study comparing efficacy of afatinib and osimertinib based on immunological biomarkers in Japanese NSCLC patients with EGFR mutations (Heat on Beat study)	Kei Morikawa, Hisashi Tanaka, Hidetoshi Itani, Saori Takata, Satoshi Watanabe, Kazuma Kishi†, Kenzo Soejima, Kyoichi Kaira, Hiroshi Kagamu, Kenichi Yoshimura, Noriyuki Matsutani and Nobuhiko Seki	SAGE journals	20201031	12		1	8	Original Article
158	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Extracellular Vesicles from Fibroblasts Induce Epithelial-Cell Senescence in Pulmonary Fibrosis.	Kadota T, Yoshioka Y, Fujita Y, Araya J, Minagawa S, Hara H, Miyamoto A, Suzuki S, Fujimori S, Kohno T, Fujii T, Kishi K†, Kuwano K, Ochiya T.	Am J Respir Cell Mol Biol	20201101	63	5	623	636	Original Article
159	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Evaluation of a novel urinary antigen test kit for diagnosing Legionella pneumonia.	Ito A, Yamamoto Y, Ishii Y, Okazaki A, Ishiura Y, Kawagishi Y, Takiguchi Y, Kishi K†, Taguchi Y, Shinzato T, Okochi Y, Hayashi R, Nakamori Y, Kichikawa Y, Murata K, Takeda H, Higa F, Miyara T, Saito K, Ishikawa T, Ishida T, Tateda K	International Journal of Infectious Diseases	20201108	103		42	47	Original Article
160	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Characteristics of non-small-cell lung cancer with interstitial pneumonia: variation in cancer location, histopathology, and frequency of postoperative acute exacerbations in interstitial pneumonia	Kazumasa Ogawa, Hironori Uruga, Takeshi Fujii, Sakashi Fujimori, Tadasu Kohno, Atsuko Kurosaki, Kazuma Kishi†, Shinji Abe	BMC pulmonary medicine	20201120	20	1	307	-	Original Article
161	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Immune checkpoint inhibitors for Advanced Non-Small-Cell Lung Cancer	Kazuma Kishi†	Toho Journal of Medicine	20201201	6	4	137	142	Original Article
162	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Randomized phase II trial of S-1 plus cisplatin or docetaxel plus cisplatin with concurrent thoracic radiotherapy for inoperable stage III non-small cell lung cancer	Tsuneo Shimokawa, Kazuhiko Yamada, Hiroshi Tanaka, Kaoru Kubota, Yuichi Takiguchi, Kazuma Kishi†, Haruhiro Saito, Yukio Hosomi, Terufumi Kato, Daijiro Harada, Sakiko Otani, Takashi Kasai, Yoichi Nakamura, Toshihiro Misumi, Takeharu Yamanaka, Hiroaki Okamoto	Cancer Medicine	20201214		00	1	8	Original Article
163	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Treatment with antifibrotic agents in idiopathic pleuroparenchymal fibroelastosis with usual interstitial pneumonia	Keishi Sugino†, Hirotaka Ono, Hiroshige Shimizu †, Takeyuki Kurosawa, Keiko Matsumoto, Masahiro Ando, Kiyoshi Mori, Eiyasu Tsuboi, Sakae Homma, Kazuma Kishi†	ERJ Open Research	20210101	1		1	9	Original Article

164	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Appendicular Skeletal Muscle Mass Correlates with Patient-Reported Outcomes and Physical Performance in Patients with Idiopathic Pulmonary Fibrosis	Kento Ebihara, Yuji Iwanami, Keiko Yamasaki, Ayame Takemura, Naofumi Sato, Yusuke Usui†, Yasuhiko Nakamura†, Kazuma Kishi†, Sakae Homma, and Satoru Ebihara	The Tohoku Journal of Experimental Medicine	20210121	253		61	68	Original Article
165	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Quantification of BIM mRNA in Circulating Tumor Cells of Osimertinib-treated Patients with EGFR Mutation-positive Lung Cancer	Kazutoshi Isobe†, Takahiro Yoshizawa†, Muneyuki Sekiya†, Shion Miyoshi†, Yasuhiko Nakamura†, Naohisa Urabe†, Takuma Isshiki†, Susumu Sakamoto†, Yujiro Takai†, Taichiro Tomida, Satomi Adachi-Akahane, Akira Iyoda†, Sakae Homma†, Kazuma Kishi†,	Respiratory Investigation	20210300	59		535	544	Original Article
166	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森), 医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野(大森)	Pre-existing diabetes limits survival rate after immune checkpoint inhibitor-treatment for advanced lung cancer: a retrospective study in Japan.	Hisanaga K†, Uchino H†*, Kakisu N, Miyagi M†, Yoshikawa F†, Sato G†, Isobe K†, Kishi K†, Homma S†, Hirose T†	Diabetes, Metabolic Syndrome and Obesity: Targets and Therapy	20210222		14	773	871	Original Article
167	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(佐倉), 医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension Due to Popliteal Vein Aneurysm	○Masakazu Tsubono, Kazuhiro Shimizu(CO), Shuji Sato, Takuro Ito, Takanori Ikeda	International Medical Case Reports Journal	20210217	14		101	106	Case report
168	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(佐倉), 医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野(佐倉), 医学部 医学科 脳神経外科学講座(大森), 薬学部 医療薬学教育センター/薬物治療学研究室	Rapid Rise of Cardio-Ankle Vascular Index May Be a Trigger of Cerebro-Cardiovascular Events: Proposal of Smooth Muscle Cell Contraction Theory for Plaque Rupture	○Shimizu K†, Takahashi M†, Sato S†, Saiki A†, Nagayama D†, Harada M†, Miyazaki C†, Takahara A†, Shirai K*†	Vascular Health and Risk Management	20210212	17		37	47	Others
169	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大橋), 医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室(大森)	Geriatric nutritional risk index and 100-m walk achievement predict discharge to home in elderly patients with heart failure	Shimoyama S†, Ono T†, Ebihara S†	Geriatrics & Gerontology International	20200914	20	11	1029	1035	Original Article
170	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	A Clinical Association between an Increasing Renal Resistive Index and the Atherosclerotic Burden in Patients with a Preserved Renal Function	Watanabe I†, Shintani Y, Terada S, Fujii T†, Kiuchi S†, Nakanishi R†, Katayanagi T, Kawasaki M, Tokuhiko K, Ohsawa H, Ikeda T†	Intern Med	20200401	59	7	909	916	Original Article
171	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Predicting Left Atrial Appendage Thrombus from Left Atrial Volume and Confirmation by Computed Tomography with Delayed Enhancement	Osawa K, Nakanishi R†, Ceponiene I, Nezarat N, French WJ, Budoff MJ	Texas Heart Institute journal / from the Texas Heart Institute of St. Luke's Episcopal Hospital, Texas Children's Hospital	20200401	47	2	78	85	Original Article
172	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Bisoprolol Transdermal Patch Improves Orthostatic Hypotension in Patients With Chronic Heart Failure and Hypertension	Kiuchi S†, Hitsatake S†, Kabuki T†, Oka T†, Dobashi S†, Fujii T†, Sano T†, Ikeda T†	Clinical and experimental hypertension	20200529	42	6	539	544	Original Article
173	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Comparison of the Transdermal Bisoprolol Patch with Oral Bisoprolol Fumarate Administration as a Therapeutic Agent for Idiopathic Frequent Premature Ventricular Contractions	Shinohara M†, Wada R†, Yao S†, Yano K†, Akitsu K†, Koike H†, Kinoshita T†, Yuzawa H†, Suzuki T†, Fujino T†, Ikeda†	International Heart Journal	20200530	61	3	510	516	Original Article
174	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Improving Quality of Clinical Diagnosis Report with Single-Photon Emission Computed Tomography Myocardial Perfusion Image and Coronary Computed Tomography Angiography.	Nakanishi R†, Hashimoto H†, Ikeda T†	Ann Nucl Cardiol	20200600			*		Review
175	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Frailty and coronary plaque characteristics on optical coherence tomography	Amano H†, Noike R†, Yabe T†, Watanabe I†, Okubo R†, Koizumi M†, Toda M†, Ikeda T†	Heart and Vessels	20200600	35	6	750	761	Original Article
176	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Prognostic values of 123I-MIBG myocardial scintigraphy and heart rate variability in patients with heart failure with preserved ejection fraction.	Hashimoto H†, Nakanishi R†, Mizumura S†, Hashimoto Y†, Okamura Y†, Yamanaka K†, Yamazaki J†, Ikeda T†	Journal of Nuclear Cardiology	20200600	27	3	833	842	Original Article
177	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	The serum angiotensin-converting enzyme 2 and angiotensin-(1-7) concentrations after optimal therapy for acute decompensated heart failure with reduced ejection fraction	Hisatake S†, Kiuchi S†, Kabuki T†, Oka T†, Dobashi S†, Fujii T†, Ikeda T†	Bioscience reports	20200626			doi: 10.1042/B SR2019270 1		Original Article

178	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Biomarkers and Non-Calcified Coronary Artery Plaque Progression in Older Men Treated with Testosterone	Shaikh K, Ellenberg SS, Nakanishi R†, Snyder PJ, Lee J, Wenger NK, Lewis CE, Swerdloff RS, Preston P, Hamal S, Stephens-Sheilds A, Bhasin S, Cherukuri L, Cauley JA, Crandall JP, Cunningham GR, Ensrud KE, Matsumoto AM, Molich ME, Alla VM, Birudaraju D, Nezarat N, Rai K, Almeida S, Roy SK, Sheikh M, Trad G, Budoff M	The Journal of clinical endocrinology and metabolism	20200700				doi: 10.1210/clinem/dgz242		Original Article
179	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	The relationship between coronary artery calcium density and optical coherence tomography-derived plaque characteristics	Okubo R†, Nakanishi R†, Dailing C, Yabe T†, Noike R†, Matsumoto S†, Aikawa H†, Okamura Y,†, Hashimoto H†, Amano H†, Toda M†, Maehara A, Budoff MJ, Ikeda T†	Atherosclerosis	20200800				doi: 10.1016/j.atherosclerosis		Original Article
180	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Improved outcomes for out-of-hospital cardiac arrest patients treated by emergency life-saving technicians compared with basic emergency medical technicians: A JCS-ReSS study report.	Naito H, Yumoto T, Yorifuji T, Tahara Y, Yonemoto N, Nonogi H, Nagao K, Ikeda T†, Sato N, Tsutsui H	Resuscitation	20200800	153		251		257	Original Article
181	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	European Heart Rhythm Association (EHRA)/Heart Rhythm Society (HRS)/Asia Pacific Heart Rhythm Society (APHRS)/Latin American Heart Rhythm Society (LAHRS) expert consensus on risk assessment in cardiac arrhythmias: use the right tool for the right outcome, in the right population.	Nielsen JS, Lin YJ, De oliveira Figueiredo MJ, Sepehri Shamloo A, Alfie A, Boveda S, Dagues N, Di Toro D, Eckhardt LL, Ellenbogen K, Hardy C, Ikeda T†, Jaswal A, Kaufman E, Krahn A, Kusano K, Kutyaifa V, Lim HS, Lip G, Nava-Townsend S, Pak HN, Rodriguez Diez G, Sauer W, Saxena A, Svendsen JH, Vanegas D, Vaseghi M, Wilde A, Bunch TJ, Buxton AE, Calvimontes G,Chao TF, Eckardt L, Estner H, Gillis AM, Isa R, Kautzner J, Maury P, Moss JD, Nam GB, Olshansky B, Pava Molano LF, Pimentel M, Prabhu M, Tzou WS, Sommer P, Swampillai J, Vidal A, Deneke T, Hindricks G, Leclercq C	Heart Rhythm	20200900	17		e269		e316	Original Article
182	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Role of Intracardiac Defibrillation During the Ablation Procedure as a Predictor of Atrial Fibrillation Recurrence After Catheter Ablation	©Yao S†, Koike H†, Fujino T†, Wada R†, Akitsu K†, Shinohara M†, Kinoshita T†, Ikeda T†	International Heart Journal	20200902	62	1	DOI: 10.22541/au			Original Article
183	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Cardio Ankle Vascular Index Predicts the One-Year Prognosis of Heart Failure Patients Categorized in Clinical Scenario 1	Sano T†, Kiuchi S†, Hisatake S†, Kabuki T†, Oka T†, Fujii T†, Dobashi S†, Ikeda T†	Heart and Vessels	20201000	35	11	1537		1544	Original Article
184	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Clinical characteristics of challenging catheter ablation procedures in patients with WPW syndrome: A 10 year single-center experience	©Fujino T†, De Ruvo E, Grieco D, Scarà A, Borrelli A, De Luca L, Panuccio M, Fagagnini A, Bruni G, Sciarra L, Calò L	Journal of Cardiology	20201000	76	4	420		426	Original Article
185	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	A multicenter prospective observational cohort study to investigate the effectiveness and safety of rivaroxaban in Japanese venous thromboembolism patients (The J'xactly Study).	Okumura Y, Fukuda I, Nakamura M, Yamada N, Takayama M, Maeda H, Yamashita T, Ikeda T†, Mo M, Kobayashi T, Niwa A, Matsuo H, Yokoi H, Koga M, Yamazaki T, Hirayama A, J'xactly Investigators	Circulation Journal	20201023	84		1912		1921	Original Article
186	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Machine learning adds to clinical and CAC assessments in predicting 10-year CHD and CVD deaths	Nakanishi R†, Slomka PJ, Rios R, Betancur J, Blaha MJ, Nasir K, Miedema MD, Rumberger JA, Gransar H, Shaw LJ, Rozanski A, Budoff MJ, Berman DS.	JACC Cardiovascular Imaging	20201028	Original Article
187	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Evaluation of left atrium indices among high heart rate and heart rate variability patients with advancement in computed tomography technology: The CONVERGE registry	Cherukuri L, Birudaraju D, Kinninger A, Chaganti BT, Pidikiti S, Pozon RG, Pozon ACG, Lakshmanan S, Dahal S, Hamal S, Flores F, Dialing C, Andreini D, Pontone G, Conte E, Nakanishi R†, O'Rourke R, Hamilton-Craig C, Nasir K, Roy SK, Mao SS, Budoff MJ.	J Nucl Med Technol.	20201120	Original Article
188	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Association of Coronary Calcium, Carotid Wall Thickness, and Carotid Plaque Progression with Low Density Lipoprotein and High Density Lipoprotein Particle Concentration Measured by Ion Mobility (From Multiethnic Study of Atherosclerosis [MESA])	Ceponiene I, Li D, Khoudary SRE, Nakanishi R†, Stein JH, Wong ND, Nezarat N, Kanisawa M, Rahmani S, Osawa K, Tattersall M, Budoff MJ.	Am J Cardiol.	20201202	Original Article
189	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Combined evaluation of ambulatory-based late potentials and nonsustained ventricular tachycardia to predict arrhythmic events in patients with previous myocardial infarction: A Japanese noninvasive electrocardiographic risk stratification of sudden cardiac death (JANIES) substudy.	Hashimoto K, Amino M, Yoshioka K, Kasamaki Y, Kinoshita T†, Ikeda T†	Annals of noninvasive electrocardiology	20210100	26		e12803			Review

190	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Efficacy and safety of ivabradine in elderly heart failure patient with reduced ejection fraction.	Kiuchi S†, Hisatake S†, Kabuki T†, Oka T†, Fujii T†, Dobashi S†, Sano T†, Ikeda T†	Clinical drug investigation	20210100	41	2	193	196	Case report
191	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Right bundle branch block: current considerations.	Ikeda T†	Current Cardiology Reviews	20210100	17		24	30	Original Article
192	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Current use and future needs of noninvasive ambulatory electrocardiogram monitoring.	Ikeda T†	Internal Medicine	20210100	60		9	14	Review
193	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	New carotid plaque, but not the progression of intima-media thickness, predicts the progression of high-risk coronary plaque	Chao CJ, Lakshmanan S, Ceponiene I, Luo Y, Nakanishi R†, Nezarat N, Kanisawa M, Budoff MJ.	Coron Artery Dis .	20210106	Original Article
194	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Clinical report of 8 families with atrioventricular nodal reentrant tachycardia from China.	Chen XP, Yan C, Luo R, Zhu Y, Qian M, Liu X, Liu M, Ikeda T†, Li X	Kardiologia polska	20210200	79		185	187	
195	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森)	The Prognosis of Hepatocellular Carcinoma Treated with Sorafenib in Combination with TACE	Yusuke Kimura, Rena Kaneko, Yuichiro Yano, Kentaro Kamada, Takashi Ikehara, Hidenari Nagai, Yuzuru Sato, Yoshinori Igarashi	Asian Pac J Cancer Prev	20200600	21	6	1797	1804	Original Article
196	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森)	Differential diagnosis and laparoscopic resection of an adrenalpseudocyst: A case report	Yuichiro Yokoyama, Yusuke Tajima, Izuru Matsuda, Kentaro Kamada, Takashi Ikehara, Toshimasa Uekusa, Hirokazu Momose, Satomi Yoneyama, Hiroki Sakata, Akio Hidemura, Hiroyuki Suzuki, Masahiro Ishimaru	International Journal of Surgery Case Reports	20200600	72		178	182	Case report
197	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森)	A case of primary hepatic mixed neuroendocrine-non-neuroendocrine tumor (MiNEN) associated with gallbladder carcinosarcoma	Rena Kaneko, Yusuke Kimura, Hiroki Sakata, Takashi Ikehara, Hiroyuki Mitomi, Toshimasa Uekusa, Makoto Ohbu, Shoji Kubo	Clinical Journal of Gastroenterology	20201200	13	6	1280	1288	Case report
198	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森)	Contribution of chemotherapy to improved prognosis in stage 4 gastric cancer: trend analysis of a regional population-based cancer registry in Japan	Tomomi Nakao, Rena Kaneko, Hirokazu Tanaka, Shunsuke Kobayashi, Risa Omori, Yuichiro Yano, Kentaro Kamada, Takashi Ikehara, Yuzuru Sato, Yoshinori Igarashi	International Journal of Clinical Oncology	20210200	26	2	378	386	Original Article
199	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森), 医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座, 医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大橋)	Comparison of the Effect of Proton Pump Inhibitors on Capecitabine and S-1 in Gastric Cancer Treatment with Trastuzumab; A Multi-Institutional Analysis	Kikuchi Y†, Yamashita H, Fujisaki M, Yoshimoto Y, Otsuka K, Nagaoka S, Fujita S, Tokuyama J, Satodate H, Isobe Y, Urakami H, Mitsumori N, Seto Y, Futawatari N†, Yajima S†, Oshima Y†, Murakami M, Igarashi Y†, Shimada H*†	Toho Journal of Medicine	20210301	7	1	11	19	Original Article
200	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野(大森)	Primary Lateral Sclerosis: Consensus Diagnostic Criteria	Turner MR, Barohn RJ, Corcia P, Fink JK, Harms MG, Kiernan MC, Ravits J, Silani V, Simmons Z, Statland J, van den Berg LH, Ajroud-Driss S, Andrews JA, Babu S, Bede P, Benatar M, Chew S, Conwit R, Cudkowicz M, Carvalho MD, Drory VE, Elman L, Fernandes JAM, Ferrey D, Finegan E, Floeter MK, Fournier CN, Govindarajan R, Granit V, Hardiman O, Hayat G, Heiman-Patterson TD, Hübers A, Huey ED, Jawdat O, Kano O†, Kisanuki Y, Mackenzie I, Marren D, Morita M, Murphy J, Nations S, Oskarsson B, Paganoni S, Pioro EP, Pullman SL, Rezanian K, Rouleau G, Scelsa S, Siddique N, Solano J, van Blitterswijk M, Walk D, Wymer J, Zhao C, Lange D, Mitsumoto H	Journal of neurology, neurosurgery, and psychiatry	20200400	91	4	373	377	Original Article
201	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野(大森)	Genetic and functional analysis of KIF5A variants in Japanese patients with sporadic amyotrophic lateral sclerosis	Nakamura R, Tohrai G, Atsuta N, Nakatochi M, Hayashi N, Watanabe H, Yokoi D, Watanabe H, Katsuno M, Izumi Y, Taniguchi A, Kanai K, Morita M, Kano O†, Kuwabara S, Oda M, Abe K, Aoki M, Aiba I, Okamoto K, Mizoguchi K, Hattori N, Nakashima K, Kaj R, Sobue G; Japanese Consortium for Amyotrophic Lateral Sclerosis Research (JaCALS)	Neurobiology of aging	20200700	PMID: 32888732	DOI: 10.1016 / j.neurobiol aging.2020 .07.010	-	-	Original Article
202	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野(大森)	Coronary spastic angina after the administration of intravenous immunoglobulin in myasthenia gravis: a case report	Yanagihashi M†, Okamoto R†, Morioka H†, Sawada M, Matsumoto S, Ikeda T, Kano O†	BMC neurology	20200800	20	1	319	319	Case report

203	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野(大森)	An Autopsy Case of Lambli's Excrescences with Trousseau Syndrome that Caused Cardioembolic Stroke	Hirayama T†, Morioka H†, Fujiwara H, Iwamoto K, Kiyozuka T, Takeo H, Ikeda K†, Kano O†	Internal Medicine	20200800	PMID: 32759591	DOI: 10.2169/in ternalmedi cine.5162- 20	-	-	-	Case report
204	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野(大森)	A multi-ethnic meta-analysis identifies novel genes, including ACSL5, associated with amyotrophic lateral sclerosis	Nakamura R, Misawa K, Tohna G, Nakatochi M, Furuhashi S, Atsuta N, Hayashi N, Yokoi D, Watanabe H, Watanabe H, Katsuno M, Izumi Y, Kanai K, Hattori N, Morita M, Taniguchi A, Kano O†, Oda M, Shibuya K, Kuwabara S, Suzuki N, Aoki M, Ohta Y, Yamashita T, Abe K, Hashimoto R, Aiba I, Okamoto K, Mizoguchi K, Hasegawa K, Okada Y, Ishihara T, Onodera O, Nakashima K, Kaji R, Kamatani Y, Ikegawa S, Momozawa Y, Kubo M, Ishida N, Minegishi N, Nagasaki M, Sobue G	Communications Biology	20200900	3	1	526	526	Original Article	
205	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野(大森)	Guillain-Barré syndrome after COVID-19 in Japan.	Hirayama T†, Hongo Y, Kaida K, Kano O†	BMJ case reports.	20201000	13	10	e239218	e239218	Case report	
206	医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野(大森)	Effectiveness and safety of insulin glargine 300 unit/mL in Japanese type 2 diabetes mellitus patients: a 12-month post-marketing surveillance study. (X-STAR study)	Odawara M*, Matsuhisa M, Hirose T†, Koshida R, Senda M, Tanaka Y, Terauchi Y	Expert Opinion on Pharmacotherapy	20200700	21	14	1771	1780	Original Article	
207	医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野(大森)	Role of growth hormone signaling pathways in the development of atherosclerosis.	Ishikawa M*, Toyomura J, Yagi T, Kuboki K†, Morita T, Sugihara H, Hirose T†, Minami S, Yoshino G†	Growth Hormone & IGF Research	20200700	53-54		101334		Original Article	
208	医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野(大森)	Real-world data on the use of insulin glargine 300 U/mL in Japanese patients with type 1 diabetes: twelve-month results from a post-marketing surveillance study. (X-STAR study)	Matsuhisa M*, Odawara M, Hirose T†, Koshida R, Senda M, Tanaka Y, Terauchi Y	Expert Opinion on Pharmacotherapy	20200800			1	8	Original Article	
209	医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野(大森)	Chronotherapeutic efficacy of suvorexant on sleep quality and metabolic parameters in patients with type 2 diabetes and insomnia.	Yoshikawa F†, Shigiyama F†, Ando Y†, Miyagi M†, Uchino H†, Hirose T†, Kumashiro N†*	Diabetes Research and Clinical Practice	20201100	169		108412		Original Article	
210	医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野(大森)	Practical use of insulin degludec/insulin aspart (IDegAsp) in a multinational setting: beyond the guidelines.	Mehta R*, Chen R, Hirose T†, John M, Kok A, Lehmann R, Unnikrishnan AG, Yavuz DG, Fulcher G	Diabetes, Obesity and Metabolism	20201100	22	11	1961	1975	Original Article	
211	医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野(大森)	Risk of hypoglycemia in Japanese people with type 2 diabetes mellitus who initiated or switched to insulin glargine 300 U/mL: A subgroup analysis of 12-month post-marketing surveillance study (X-STAR study).	Hirose T†, Odawara M, Matsuhisa M, Koshida R, Senda M, Tanaka Y, Terauchi Y	Diabetes Research and Clinical Practice	20201200	172		108647		Original Article	
212	医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野(大森)	Simplification of complex insulin regimens using canagliflozin or liraglutide in patients with well-controlled type 2 diabetes: A 24-week randomized controlled trial.	Ando Y†, Shigiyama F†, Hirose T†, Kumashiro N†*	Journal of Diabetes Investigation	20210300			DOI: 10.1111/jd i.13533		Original Article	
213	医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野(大森), 医学部 医学科 腎臓学講座(大森), 看護学部 看護学科 疾病医療学研究室, 医学部 医学科 腎臓学講座(佐倉)	Prevalence of hypothyroidism in Japanese chronic kidney disease patients.	Yuasa R†*, Ohashi Y†, Saito A†, Tsuboi K†, Shishido S†, Sakai K†	Renal Failure	20200622	42	1	572	579	Original Article	
214	医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野(大森), 医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森), 医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	A prospective randomized study comparing effects of empagliflozin to sitagliptin on cardiac fat accumulation, cardiac function, and cardiac metabolism in patients with early-stage type 2 diabetes: the ASSET study.	Hiruma S†, Shigiyama F†, Hisatake S†, Mizumura S†, Shiraga N†, Hori M†, Ikeda T†, Hirose T†, Kumashiro N†	Cardiovascular Diabetology	20210200	20	1	32		Original Article	
215	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Methotrexate-associated lymphoproliferative disorders in the central nervous system and stomach: A case report	Kawazoe M†, Kaneko K†, Nanki T*†	Medicine (Baltimore)	20200400	99	15	e19850		Case report	
216	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Effects of CX3CL1 inhibition on murine bleomycin-induced interstitial pneumonia	Soichi Yamada, Shion Miyoshi, Junko Nishio, Satoshi Mizutani, Zento Yamada, Natsuko Kusunoki, Hiroshi Sato, Yoshikazu Kuboi, Kana Hoshino-Negishi, Naoto Ishii, Toshio Imai, Tetsuo Mikami, Hiroyasu Nakano, Shinichi Kawai, Toshihiro Nanki	Eur J Inflamm	20200401	18		1	10	Original Article	
217	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Rationale for and clinical development of anti-fractalkine antibody in rheumatic diseases	Sei Muraoka, Junko Nishio, Yoshikazu Kuboi, Toshio Imai, Toshihiro Nanki	Expert Opin. Biol. Ther	20200401	20	11	1309	1319	Original Article	

218	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	An open-label, randomized controlled trial of sulfamethoxazole-trimethoprim for Pneumocystis prophylaxis: results of 52-week follow-up.	Masako Utsunomiya, Hiroaki Dobashi, Toshio Odani, Kazuyoshi Saito, Naoto Yokogawa, Kenji Nagasaka, Kenchi Takenaka, Makoto Soejima, Takahiko Sugihara, Hiroyuki Hagiyama, Shinya Hirata, Kazuo Matsui, Yoshinori Nonomura, Masahiro Kondo, Fumihito Suzuki, Yasushi Nawata, Makoto Tomita, Mari Kihara, Waka Yokoyama-Kokuryo, Fumio Hirano, Hayato Yamazaki, Ryoko Sakai, Toshihiro Nanki, Ryuji Koike, Nobuyuki Miyasaka, Masayoshi Harigai	Rheumatol Adv Pract	20200401	4	2	rkaa029		Original Article
219	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	COVID-19 in a patient with rheumatoid arthritis during treatment of tocilizumab	Zento Yamada, Toshihiro Nanki	J Clin Rheumatol	20200900	26	6	240	241	Original Article
220	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Efficacy and safety of E6011, an anti-fractalkine monoclonal antibody, in active rheumatoid arthritis patients with inadequate response to methotrexate: Results of a randomized, double-blind, placebo-controlled phase 2 study	Yoshiya Tanaka, Tsutomu Takeuchi, Hisashi Yamanaka, Toshihiro Nanki, Hisanori Umehara, Nobuyuki Yasuda, Fumitoshi Tago, Yasumi Kitahara, Makoto Kawakubo, Kentaro Torii, Seiichiro Hojo, Tetsu Kawano, Toshio Imai	Arthritis Rheumatol	20201010			-	-	Original Article
221	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Identification of molecules associated with response to abatacept in patients with rheumatoid arthritis	Waka Yokoyama-Kokuryo, Hayato Yamazaki, Tsutomu Takeuchi, Koichi Amano, Jun Kikuchi, Tsuneo Kondo, Seiji Nakamura, Ryoko Sakai, Fumio Hirano, Toshihiro Nanki, Ryuji Koike, Masayoshi Harigai	Arthritis Res Ther	20201012	22	1	46		Original Article
222	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Clinical effectiveness of iguratimod based on real-world data of patients with rheumatoid arthritis	Satoshi Mizutani, Hitoshi Kodera, Yoshiko Sato, Toshihiro Nanki, Shunji Yoshida, Hidetaka Yasuoka	Clin Rheumatol	20210100	40	1	123	132	Original Article
223	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Glucocorticoid therapy suppresses Wnt signaling by reducing the ratio of serum Wnt3a to Wnt inhibitors, sFRP-1 and Wif-1	Mai Kawazoe, Kaichi Kaneko, Toshihiro Nanki	Clin Rheumatol	20210109			-	-	Original Article
224	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	A phase 2 Sstudy of E6011, an anti-fractalkine monoclonal antibody, in patients with rheumatoid arthritis inadequately responding to biological disease-modifying antirheumatic drugs	Yoshiya Tanaka, Tsutomu Takeuchi, Hisashi Yamanaka, Toshihiro Nanki, Hisanori Umehara, Nobuyuki Yasuda, Fumitoshi Tago, Yasumi Kitahara, Makoto Kawakubo, Kentaro Torii, Seiichiro Hojo, Tetsu Kawano, Toshio Imai	Mod Rheumatol	20210111			-	-	Original Article
225	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Association of methotrexate use and lymphoproliferative disorder in patients with rheumatoid arthritis: results from a Japanese multi-institutional retrospective study	Suguru Honda, Ryoko Sakai, Eisuke Inoue, Masako Majima, Naoko Konda, Hideto Takada, Mari Kihara, Nobuyuki Yajima, Toshihiro Nanki, Kazuhiko Yamamoto, Tsutomu Takeuchi, Masayoshi Harigai	Mod Rheumatol	20210111			-		Original Article
226	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Treatment of refractory RS3PE syndrome with tocilizumab: A case report	Hiroshi Sato, Soichi Yamada, Sei Muraoka, Shotaro Masuoka, Mai Kawazoe, Toshihiro Nanki	J Clin Rheumatol	20210121			-	-	Original Article
227	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Successful treatment of refractory mucocutaneous involvement in a Behçet's disease patient with apremilast	Sei Muraoka, Keiko Koshiba, Miwa Kanaji, Shotaro Masuoka, Hiroshi Sato, Toshihiro Nanki	Medicine: Case Reports and Study Protocols	20210121			-	-	Case report
228	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Advances in the treatment of rheumatoid arthritis.	Eisuke Tanaka, Sei Muraoka, Toshihiro Nanki	Toho J Med	20210121			-	-	Original Article
229	医学部 医学科 脳神経外科学 講座(大森)	Utility of Schwann/2E and Sox10 in distinguishing CD57-negative olfactory groove schwannoma from olfactory ensheathing cell tumor: A case report and review of the literature.	Masuda H, Nemoto M, Okonogi S, Node Y, Ando S, Kondo K, Harada N, Sugo N	Neuropathology	20200401	16		00	00	Case report
230	医学部 医学科 脳神経外科学 講座(大森), 医学部 医学科 脳 神経外科学講座(佐倉)	Effects of Enhanced Intracranial Pressure on Blood Pressure and the Cardio-Ankle Vascular Index in Rabbits.	Miyazaki C† Shimizu K, Nagasawa Y, Chiba T, Sakuma K, Aimoto M, Yamamoto T, Takahashi M, Sugo N†, Takahara A, Shirai	J Atheroscler Thromb.	20210100	10		5551	59451	Original Article
231	医学部 医学科 泌尿器科学講 座(大森)	Novel prediction scoring system for simple assessment of stone-free status after flexible ureteroscopy lithotripsy: T.O.HO. score	Shunsuke Hori, Hideo Otsuki, Kei Fujio, Hideyuki Kobayashi†, Koichi Nagao†, Koichi Nakajima†, Yoza Mitsu*†	International Journal of Urology	20200900	27	9	742	747	Original Article
232	医学部 医学科 泌尿器科学講 座(大森)	Temporary pacemaker insertion for severe bradycardia following pneumoperitoneum during robot-assisted radical prostatectomy: a case report	Fumito Yamabe†, Yoza Mitsui†, Orié Hoshino†, Tomo Shimizu†, Mizuki Kasahara†, Hideyuki Kobayashi†, Koichi Nakajima†	BMC Surgery	20201014	238		238		Case report
233	医学部 医学科 皮膚科学講座 (大森)	A rare case of allergic contact dermatitis caused by 3-o-ethyl-L-ascorbic acid in skin-whitening cosmetics identified under immunosuppressive therapy.	Miki Hamanaka†, Hiromi Kanto†, Hitomi Mikai†, Hiroko Tanaka†, Takashi Ito†, Kumiko Washizaki†, Akira Ishiko†	Contact Dermatitis.	20201000	83	6	520	521	Original Article

234	医学部 医学科 皮膚科学講座 (大森)	Pemphigus Vulgaris and Foliaceous IgG Autoantibodies Directly Block Heterophilic Transinteraction between Desmoglein and Desmocollin.	K Ishii† ,K Yoshida† ,John R.Stanley, J Yamagami, M Amagai, A Ishiko†	Journal of Investigative Dermatology.	20201000	140	10	1919	1926	Original Article
235	医学部 医学科 皮膚科学講座 (大森)	Development of hMC1R Selective Small Agonists for Sunless Tanning and Prevention of Genotoxicity of UV in Melanocytes.	Koikov L, Starner J R., Swope B V , Upadhyay P , Hashimoto Y† , Freeman T K. , Knittel J.J , Luevano H C - , Abdel-Malek A.Z	The Journal of Investigative Dermatology	20201100	doi: https://doi.org/10.1016/j.jid.16/j.jid.	doi: https://doi.org/10.1016/j.jid.16/j.jid.	doi: https://doi.org/10.1016/j.jid.16/j.jid.	doi: https://doi.org/10.1016/j.jid.16/j.jid.	Original Article
236	医学部 医学科 皮膚科学講座 (大森)	Utility of the Dermatology Life Quality Index at initiation or switching of biologics in real-life Japanese patients with plaque psoriasis: results from the ProLOGUE study.	Shinichi Imafuku, Yasumasa Kanai, Kenta Murotani, Takanobu Nomura, Kei Ito, Chika Ohata, Fumikazu Yamazaki, Takuya Miyagi, Hidetoshi Takahashi, Yukari Okubo, Hidehisa Saeki, Masaru Honma, Yayoi Tada, Tomotaka Mabuchi, Mari Higashiyama, Satomi Kobayashi, Yuki Hashimoto†,Mariko Seishima, Tatsuyuki Kakuma	Journal of Dermatological Science.	20210100	doi.org/10.1016/j.jdermsci	doi.org/10.1016/j.jdermsci	doi.org/10.1016/j.jdermsci	doi.org/10.1016/j.jdermsci	Original Article
237	医学部 医学科 皮膚科学講座 (大森)	New solution of beauty problem by Staphylococcus hominis: Relevance between skin microbiome and skin condition in healthy subject.	Ohshima H†, Kurosumi M, Kanto H†	Skin Res Technol	20210100	doi: 10.1111/srt.13001.	doi: 10.1111/srt.13001.	doi: 10.1111/srt.13001.	doi: 10.1111/srt.13001.	Original Article
238	医学部 医学科 皮膚科学講座 (大森)	Intravenous allogeneic multilineage-differentiating stress-enduring (Muse) cells in adults with dystrophic epidermolysis bullosa: A phase 1/2 open-label study.	Fujita Y, Nohara T, Takashima S, Natsuga K, Adachi M, Yoshida K, Shinkuma S, Takeichi T, Nakamura H, Wada O, Akiyama M, Ishiko A†, Shimizu H	J Eur Acad Dermatol Venereol,	20210300	accepted	accepted	accepted	accepted	Original Article
239	医学部 医学科 病院病理学講座 (大森)	Development of an Animal Model of Onychomycosis in Guinea Pigs.	Hasegawa N†, Shibuya K†	Medical Mycology Journal	20201031	61	4	55	60	Original Article
240	医学部 医学科 病理学講座,医学部 医学科 病院病理学講座 (大森),医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森)	Prognostic values of L-type amino acid transporter 1 and CD98hc expression in breast cancer	Ichinoe M, Mikami T†, Yanagisawa N, Yoshida T, Hana K, Endou H, Okayasu I, Sengoku N, Ogata H†, Saegusa M, Shibuya K†, Murakumo Y.	The Journal of pathology	20200900			E-pub ahead of print		Original Article
241	医学部 医学科 放射線医学講座 (大森)	Full report on a survey of adverse reactions to radiopharmaceuticals from 1975 to 2017 in Japan	Hiroshi Matsuda, Tomoya Uehara, Hidehiko Okazawa, Sunao Mizumura, Kunihiko Yokoyama, Mana Yoshimura	Annals of Nuclear Medicine	20200400	34	4	299	304	Original Article
242	医学部 医学科 放射線医学講座 (大森)	Deep Learning Approach for Generating MRA Images From 3D Quantitative Synthetic MRI Without Additional Scans.	Fujita S, Hagiwara A, Otsuka Y, Hori M†, Takei N, Hwang K, Irie R, Andica C, Kamagata K, Akashi T, Kunishima Kumamaru K, Suzuki M, Wada A, Abe O, Aoki S	Investigative radiology	20200400	55	4	249-256		Original Article
243	医学部 医学科 放射線医学講座 (大森)	Scan-rescan and inter-vendor reproducibility of neurite orientation dispersion and density imaging metrics.	Andica C, Kamagata K, Hayashi T, Hagiwara A, Uchida W, Saito Y, Kamiya K, Fujita S, Akashi T, Wada A, Abe M, Kusahara H, Hori M†, Aoki S	Neuroradiology	20200400	62	4	483-494		Original Article
244	医学部 医学科 放射線医学講座 (大森)	Neurocognitive and psychiatric disorders-related axonal degeneration in Parkinson's disease.	Andica C, Kamagata K, Hatano T, Saito Y, Uchida W, Ogawa T, Takeshige-Amano H, Hagiwara A, Murata S, Oyama G, Shimo Y, Umemura A, Akashi T, Wada A, Kumamaru K, Hori M†, Hattori N, Aoki S	Journal of neuroscience research	20200500	98	5	936-949		Original Article
245	医学部 医学科 放射線医学講座 (大森)	Editorial for: "Sodium in the Relapsing-Remitting Multiple Sclerosis Spinal Cord: Increased Concentrations and Associations With Microstructural Tissue Anisotropy".	Hori M.	Journal of Magnetic Resonance Imaging	20200614	52	5	1439	1440	Others
246	医学部 医学科 放射線医学講座 (大森)	Differentiation of high-grade and low-grade intra-axial brain tumors by time-dependent diffusion MRI.	Maekawa T, Hori M, Murata K, Feiweier T, Kamiya K, Andica C, Hagiwara A, Fujita S, Koshino S, Akashi T, Kamagata K, Wada A, Abe O, Aoki S.	Magnetic Resonance Imaging	20200626	72		34	41	Original Article
247	医学部 医学科 放射線医学講座 (大森)	Transient Global Amnesia: A Diffusion and Perfusion MRI study.	Shimizu K, Hara S, Hori M, Tanaka Y, Maehara T, Aoki S, Tazawa T, Nariai T.	The Journal of Neuroimaging	20200629	30	6	828	832	Original Article

248	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Multiple sclerosis lesions in motor tracts from brain to cervical cord: spatial distribution and correlation with disability.	Anne Kerbrat,Charley Gros,Atef Badji,Elise Banner,Francesca Galassi,Benoît Combès,Raphaël Chouteau,Pierre Labauge,Xavier Aygnac,Clarisse Carra-Dalliere,Josefina Maranzano,Tobias Granberg,Russell Ouellette,Leszek Stawiarz,Jan Hillert,Jason Talbott,Yasuhiko Tachibana,Masaaki Hori,Kouhei Kamiya,Lydia Chougar,Jennifer Lefevre,Daniel S Reich,Govind Nair,Paola Valsasina,Maria A Rocca,Massimo Filippi,Renxin Chu,Rohit Bakshi,Virginie Callot,Jean Pelletier,Bertrand Audoin,Adil Maarouf,Nicolas Collongues,Jérôme De Seze,Gilles Edan,Julien Cohen-Adad	Brain : a journal of neurology	20200700	143	7	2089	2105	Original Article
249	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Time-dependent Diffusion in Transient Splenic Lesion: Comparison between Oscillating-Gradient Spin-echo Measurements and Monte-Carlo Simulation.	Tomoko Maekawa,Kouhei Kamiya,Katsutoshi Murata,Thorsten Feiweier,Masaaki Hori,Shigeki Aoki	Magnetic resonance in medical sciences : MRMS : an official journal of Japan Society of Magnetic Resonance in Medicine	20200700			1		Original Article
250	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Diagnostic utility and characteristics of CT-based attenuation correction in brain perfusion SPECT/CT in predicting the exacerbation of Alzheimer changes from mild cognitive impairment utilizing voxel-based statistical analysis in comparison with Chang's method	Koji Sohara, Tomonari Kiriyama, Sunao Mizumura, Akiko Ishiwata, Mineo Yamazaki, Kazumi Kimura, Shin-ichiro Kumita	annals of nuclear medicine	20200700	34	7	502	511	Original Article
251	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	NODDI in clinical research.	Kouhei Kamiya,Masaaki Hori,Shigeki Aoki	Journal of neuroscience methods	20200800	346		108908	108908	Review
252	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Estimation of intracranial volume: A comparative study between synthetic MRI and FSL-brain extraction tool (BET)2.	Goto M, Hagiwara A, Kato A, Fujita S, Hori M, Kamagata K, Sugano H, Arai H, Aoki S, Abe O, Sakamoto H, Sakano Y, Kyogoku S, Daida H.	Journal of Clinical Neuroscience	20200806	79		178	182	Original Article
253	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Myelin and Axonal Damage in Normal-Appearing White Matter in Patients with Moyamoya Disease.	Hara S, Hori M, Hagiwara A, Tsurushima Y, Tanaka Y, Maehara T, Aoki S, Nariai T.	American journal of neuroradiology	20200827	41	9	1618	1624	Original Article
254	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Regional brain gray matter volume in world-class artistic gymnasts.	Fukuo M, Kamagata K, Kuramochi M, Andica C, Tomita H, Waki H, Sugano H, Tange Y, Mitsuhashi T, Uchida W, Takenaka Y, Hagiwara A, Harada M, Goto M, Hori M, Aoki S, Naito H.	Journal of Physiological Sciences	20200918	70	1	43	43	Original Article
255	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Differentiation of high-grade and low-grade intra-axial brain tumors by time-dependent diffusion MRI.	Tomoko Maekawa,Masaaki Hori,Katsutoshi Murata,Thorsten Feiweier,Kouhei Kamiya,Christina Andica,Akifumi Hagiwara,Shohei Fujita,Saori Koshino,Toshiaki Akashi,Koji Kamagata,Akihiko Wada,Osamu Abe,Shigeki Aoki	Magnetic resonance imaging	20201000	72		34	41	Original Article
256	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Accelerated acquisition of carotid MR angiography using 3D gradient-echo imaging with two-point Dixon.	Ryusuke Irie,Shiori Amemiya,Tsuyoshi Ueyama,Yuichi Suzuki,Kouhei Kamiya,Hidemasa Takao,Harushi Mori,Osamu Abe	Neuroradiology	20201000	62	10	1345	1349	Original Article
257	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Analyses of the local control of pulmonary Oligometastases after stereotactic body radiotherapy and the impact of local control on survival	Yamamoto T, Niibe Y, Aoki M, Shintani T, Yamada K, Kobayashi M, Yamashita H, Ozaki M, Manabe Y, Onishi H, Yahara K, Nishikawa A, Katsui K, Oh R-J, Terahara A†, Jingu K	BMC cancer	20201014	20	1	1	10	Original Article
258	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Repeatability and reproducibility of human brain morphometry using three-dimensional magnetic resonance fingerprinting.	Fujita S, Buonincontri G, Cencini M, Fukunaga I, Takei N, Schulte RF, Hagiwara A, Uchida W, Hori M, Kamagata K, Abe O, Aoki S.	Human Brain Mapping	20201022	42	2	275	285	Original Article
259	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	A Novel Deep Learning Approach with a 3D Convolutional Ladder Network for Differential Diagnosis of Idiopathic Normal Pressure Hydrocephalus and Alzheimer's Disease.	Ryusuke Irie,Yujiro Otsuka,Akifumi Hagiwara,Koji Kamagata,Kouhei Kamiya,Michimasa Suzuki,Akihiko Wada,Tomoko Maekawa,Shohei Fujita,Shimpei Kato,Madoka Nakajima,Masakazu Miyajima,Yumiko Motoi,Osamu Abe,Shigeki Aoki	Magnetic resonance in medical sciences : MRMS : an official journal of Japan Society of Magnetic Resonance in Medicine	20201200	19	4	351	358	Original Article

260	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Effect of hybrid of compressed sensing and parallel imaging on the quantitative values measured by 3D quantitative synthetic MRI: A phantom study.	Murata S, Hagiwara A, Fujita S, Haruyama T, Kato S, Andica C, Kamagata K, Goto M, Hori M, Yoneyama M, Hamasaki N, Hoshito H, Aoki S.	Magnetic Resonance Imaging	20210111	78		90	97	Original Article
261	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Quantitative Evaluation of 18F-Flutemetamol PET in Patients With Cognitive Impairment and Suspected Alzheimer's Disease: A Multicenter Study	Hirosaki Matsuda, Kengo Ito, Kazunari Ishii, Eku Shimosegawa, Hidehiko Okazawa, Masahiro Mishina, Sunao Mizumura, Kenji Ishii, Kyoji Okita, Yoko Shigemoto, Takashi Kato, Akinori Takenaka, Hayato Kaida, Kohei Hanaoka, Keiko Matsunaga, Jun Hatazawa, Masamichi Ikawa, Tetsuya Tsujikawa, Miyako Morooka, Kenji Ishibashi, Masashi Kameyama, Tensho Yamao, Kenta Miwa, Masayo Ogawa, Noriko Sato	Frontiers in Neurology	20210113	11		578753		Original Article
262	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Age-Related Changes in Relaxation Times, Proton Density, Myelin, and Tissue Volumes in Adult Brain Analyzed by 2-Dimensional Quantitative Synthetic Magnetic Resonance Imaging.	Hagiwara A, Fujimoto K, Kamagata K, Murata S, Irie R, Kaga H, Someya Y, Andica C, Fujita S, Kato S, Fukunaga I, Wada A, Hori M, Tamura Y, Kawamori R, Watada H, Aoki S.	Investigative Radiology	20210301	56	3	163	172	Original Article
263	医学部 医学科 麻酔科学講座(大森)	Aspiration of massive free air from a large bore intravenous catheter sheath: A case report	Tamura T, Takakura M, Adachi YU, Satomoto M†	Radiol Case Rep .	20200804	15	10	1777	1780	Case report
264	医学部 医学科 麻酔科学講座(大森)	Pregabalin-induced Hypoglycemia in Dialysis Patient	Tamura T, Adachi YU, Satomoto M†	Korean J Anesthesiol .	20201201	73	6	570	571	Case report
265	医学部 医学科 麻酔科学講座(大森)	JM-1232(-) and propofol, a new combination of hypnotics with short-acting and non-cumulative preferable properties	Taharabaru S, Tamura T, Higashi M, Matsuda N, Satomoto M†, Adachi YU, Sato AB, Okuda M.	Exp Anim.	20210206	70	1	101	107	Original Article
266	医学部 医学科 麻酔科学講座(大森)	Postoperative Acute Kidney Injury Associated with Anesthesia Induction in Extremely Hypertensive Patients Undergoing Elective Non-Cardiac Surgery	Morozumi K†, Satomoto M†, Hanai Y, Ochiai R†, Kotake Y†	Toho Journal of Medicine	20210301	7	1	20	28	Original Article
267	医学部 医学科 薬理学講座, 医学部 医学科 外科学講座 心臓血管外科学分野(大森)	Characterization of <I>microminipig</I> as a laboratory animal for pharmacological study by analyzing bepridil-induced cardiovascular responses.	Nunoi Y†, Hagiwara-Nagasawa M†, Kambayashi R†, Goto A†, Chiba K†, Wada T†, Izumi-Nakaseko H†, Matsumoto A†, Watanabe Y†, Sugiyama A*†	Journal of pharmacological sciences	20200400	143	1	56	59	Original Article
268	医学部 医学科 薬理学講座, 医学部 医学科 外科学講座 心臓血管外科学分野(大森)	Risperidone alone did not induce torsade de pointes: experimental evidence from the chronic atrioventricular block model dogs.	Nunoi Y†, Chiba K†, Hagiwara-Nagasawa M†, Goto A†, Kambayashi R†, Izumi-Nakaseko H†, Takei Y†, Matsumoto A†, Watanabe Y†, Sugiyama A*†	Journal of Pharmacological Sciences	20200513	143	4	330	332	Original Article
269	医学部 医学科 薬理学講座, 医学部 医学科 外科学講座 心臓血管外科学分野(大森)	In vivo characterization of anti-atrial fibrillatory potential and pharmacological safety profile of I_KNa</SUB>+ plus I_K+ inhibitor ranolazine using the halothane-anesthetized dogs.	Nunoi Y†, Kambayashi R†, Goto A†, Hagiwara-Nagasawa M†, Chiba K†, Izumi-Nakaseko H†, Kawai S†, Takei Y†, Matsumoto A†, Watanabe Y†, Sugiyama A*†	Heart and vessels	20210300	36	7	1088	1097	Original Article
270	医学部 医学科 臨床検査医学講座(大森)	Role of growth hormone signaling pathways in the development of atherosclerosis.	Ishikawa M, Toyomura J, Yagi T, Kuboki K, Morita T†, Sugihara H, Hirose T, Minami S, Yoshino G.	Growth hormone & IGF research : official journal of the Growth Hormone Research Society and the International IGF Research Society	20200800	53		101334		Original Article
271	医学部 医学科 臨床検査医学講座(大森)	Plasma indoxyl sulfate levels predict cardiovascular events in patients with mild chronic heart failure.	Imazu M, Fukuda H, Kanzaki H, Amaki M, Hasegawa T, Takahama H, Hitsumoto T, Tsukamoto O, Morita T†, Ito S, Kitakaze M.	Scientific Reports	20201000	10		16528		Original Article
272	医学部 医学科 臨床検査医学講座(大森), 医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Plasma matrix metalloproteinase 7, CC-chemokine ligand 18, and periostin as markers for pulmonary sarcoidosis.	Isshiki T†, Matsuyama H, Yamaguchi T, Morita T†, Ono J, Nunomura S, Izuhara K, Sakamoto S†, Homma S†, Kishi K†.	Respiratory investigation	20200800			doi: 10.1016/j.resinv.2020.07.003.		Original Article
273	医学部 医学科 臨床検査医学講座(大森), 医学部 医学科 微生物・感染症学講座	Carbapenem inactivation method using bacterial lysate and MOPS (LCIM): a very sensitive method for detecting carbapenemase-producing Acinetobacter species.	Yamada K†, Aoki K†, Nagasawa T†, Imai W†, Sasaki M†, Murakami H†, Morita T†, Ishii Y†, Tateda K†.	The Journal of antimicrobial chemotherapy	20201000	75		2812	2816	Original Article
274	医学部 医学科 臨床検査医学講座(大森), 医学部 医学科 微生物・感染症学講座	Immunochromatography and chemiluminescent enzyme immunoassay for COVID-19 diagnosis.	Ishii T†, Sasaki M†, Yamada K†, Kato D, Osuka H, Aoki K†, Morita T†, Ishii Y†, Tateda K†.	Journal of Infection and Chemotherapy	20210200	25	21	00065	00069	Original Article
275	医学部 医学科 臨床検査医学講座(大森), 医学部 医学科 微生物・感染症学講座	Complete whole-genome sequence of the novel Pseudomonas species strain TUM18999, isolated from a patient with a burn wound in Japan.	Yamada K†, Aoki K†, Nagasawa T†, Sasak†i M, Murakami H, Ishii T, Ujje S, Morita T†, Ishii Y†, Tateda K†.	Journal of Antimicrobial Chemotherapy	20210300	24		395	397	Original Article

276	薬学部 薬品分析学教室, 医学部 医学科 精神神経医学講座 (大森・大橋)	Analyses of metabolites related to NMDA receptor in serum of antipsychotic-naïve individuals with at-risk mental state	Tagata H†, Tsujino N†, Onozato M†, Nemoto T †, Fukushima T†, Mizuno M†*	Toho Journal of Medicine	20200600	6	2	90	97	Original Article
277	薬学部 薬品分析学教室, 医学部 医学科 精神神経医学講座 (大森・大橋)	Serum D- and L-lactate, pyruvate, and glucose levels in individuals with at-risk mental state and correlations with clinical symptoms	Onozato M†, Umino M†, Shoji A†, Ichiba H†, Tsujino N†, Funatogawa T†, Tagata H†, Nemoto T†, Mizuno M†, Fukushima T*†	Early Intervention in Psychiatry	20200800	14	4	410	417	Original Article
278	薬学部 薬品分析学教室, 医学部 医学科 精神神経医学講座 (大森・大橋), 薬学部 医療薬学教育センター/臨床薬学研究室	Increased inosine levels in drug-free individuals with at-risk mental state: a serum metabolomics study.	Uekusa S†, Onozato M†, Umino M†, Sakamoto T †, Ichiba H†, Tsujino N†, Funatogawa T†, Tagata H†, Nemoto T†, Mizuno M†, Fukushima T†*	Early Intervention in Psychiatry	20210100	1		1	1	Original Article
279	医学部 医学科 病院病理学講座 (大森)、外科学講座乳腺内分泌外科	Immunohistochemical Analysis of Toll-Like Receptors, MyD88, and TRIF in Human Papillary Thyroid Carcinoma and Anaplastic Thyroid Carcinoma.	Nihon-Yanagi Y, Wakayama M, Tochigi N, Saito F, Ogata H, Shibuya K.	Journal of Thyroid Research	20210702	Volume 2021 Article ID 4226491 https://doi.org/10.1155/2021/4226491			Original Article	
280	医学部 医学科 病院病理学講座 (大森)	Long-term trend in serum (1,3)-β-D-glucan level in a man with chronic disseminated candidiasis treated with corticosteroids	Shirahige T, Tashiro M, Taguchi M, Miyazaki Y, Shibuya K	Journal of Infection and Chemotherapy	20210525	27	8	1258	1260	Original Article
281	医学部 医学科 皮膚科学講座 (大森)	A rare case of allergic contact dermatitis caused by 3-o-ethyl-L-ascorbic acid in skin-whitening cosmetics identified under immunosuppressive therapy.	Miki Hamanaka†, Hiromi Kanto†, Hitomi Mikai†, Hiroko Tanaka†, Takashi Ito†, Kumiko Washizaki†, Akira Ishiko†	CONTACT DERMATITIS	2020.10.	83	6	520	521	Original Article
282	医学部 医学科 皮膚科学講座 (大森)	Case of intermediate recessive dystrophic epidermolysis bullosa with negative LH7.2 staining.	Kenji Yoshida†, Mayuko Kobayashi†, Yukiko Matsunaga†, Akiharu Kubo, Akira Ishiko†	Journal of Dermatology.	2020.10.	47	10	e370	e372	Original Article
283	医学部 医学科 皮膚科学講座 (大森)	Intravenous allogeneic multilineage-differentiating stress-enduring (Muse) cells in adults with dystrophic epidermolysis bullosa: A phase 1/2 open-label study.	Fujita Y, Nohara T, Takashima S, Natsuga K, Adachi M, Yoshida K, Shinkuma S, Takeichi T, Nakamura H, Wada O, Akiyama M, Ishiko A†, Shimizu H	J Eur Acad Dermatol Venereol,	2021.8. (2021.3.accepted)	35	8	e528	e531	Original Article
284	医学部 医学科 皮膚科学講座 (大森)	Genetic advances in treating epidermolysis bullosa.	Fujita Y, Nohara T, Takashima S, Natsuga K, Adachi M, Yoshida K, Shinkuma S, Takeichi T, Nakamura H, Wada O, Akiyama M, Ishiko A†, Shimizu H:	J Eur Acad Dermatol Venereol,	2021.8. (2021.3.accepted)	35	8	e1625	e1625	Original Article
285	東邦大学医療センター大森病院形成外科講座	Cranial Reconstruction Using Antibiotic-Impregnated Calcium Phosphate Bone Cement With a Titanium Mesh Sheet.	Akihiro Ogino, Miho Nakamichi, Kei Takeda, Kiyoshi Onishi	The Journal of Craniofacial Surgery	202007	31	5	1452	1454	Original Article
286	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森)	Bronchial brushing and diagnosis of pulmonary nontuberculous mycobacteria infection.	Urabe N, Sakamoto S, Ito A, Sekiguchi R, Shimanuki Y, Kanokogi T, Motohashi T, Anzai N, Homma S, Kishi K.	Respiration	20210527		27	1	9	Original Article
287	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森)	Exophiala dermatitidis pneumonia with bronchiectasis required prolonged voriconazole treatment.	Sekiguchi R, Urabe N, Sakamoto S, Sasaki M, Homma S, Kishi K	Respirol Case Rep	20210422		9	6	e00783	Original Article

288	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Rapid recovery achieved by intensive therapy after preterm cesarean section for worsening COVID-19-induced acute respiratory failure: A case report and literature review	Ayumu Ito, Eijiro Hayata, Masahiko Nakata, Tomoyuki Shigeta, Yasuhiko Nakamura†, Kazuma Kishi†, Hitoshi Yoda, Mineto Morita	Case Rep Womens Health	20210418	30		e00315		Original Article
289	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	New clinical diagnostic criteria for allergic bronchopulmonary aspergillosis/mycosis and its validation	Koichiro Asano, Akira Hebisawa, Takashi Ishiguro, Noboru Takayanagi, Yasuhiko Nakamura †, Junko Suzuki, Naoki Okada, Jun Tanaka, Yuma Fukutomi, Shigeharu Ueki, Koichi Fukunaga, Satoshi Konno, Hiroto Matsuse, Katsuhiko Kamei, Masami Taniguchi, Terufumi Shimoda, Tsuyoshi Oguma, Japan ABPM Research Program	J Allergy Clin Immunol	20200910	147	4	1261	1268	Original Article
290	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Clinical risk factors of thromboembolic and major bleeding events for patients with atrial fibrillation treated with rivaroxaban in Japan.	Miyamoto S, Ikeda T†, Ogawa S, Kitazono T, Nakagawara J, Minematsu K, Murakawa Y, Iwashiro S, Takeichi M, Kidani Y, Okayama Y, Sunaya T, Sato S, Yamanaka S	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases	20200400	29		104584		Original Article
291	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Comparing the effects of milrinone and olprinone in patients with congestive heart failure.	Dobashi S†, Watanabe I†, Nakanishi R†, Hisatake S†, Kiuchi S†, Kabuki T†, Oka T†, Fujii T†, Ikeda T†	Heart and Vessels	20200600	35		776	785	Original Article
292	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Rhythm versus rate control strategies regarding anticoagulant use in elderly non-valvular atrial fibrillation patients: Subanalysis of the ANAFIE (All Nippon AF In the Elderly) Registry.	Yuzawa H†, Inoue H, Yamashita T, Akao M, Atarashi H, Koretsune Y, Okumura K, Shimizu W, Tsutsui H, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Kaburagi J, Takita A, Ikeda T†	Journal of Cardiology	20200700	76		87	93	Original Article
293	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Chronic thromboembolic pulmonary hypertension due to popliteal vein aneurysm.	Tsubono M†, Shimizu K, Sato S, Ito T, Ikeda T†	International Medical Case Reports Journal	20210217	14		101	106	Review
294	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森), 医学部 医学科 社会医学講座/衛生学	Association of fine particulate matter exposure with bystander-witnessed out-of-hospital cardiac arrest of cardiac origin in Japan.	Kojima S, Michikawa T, Matsui K, Ogawa H, Yamazaki S, Nitta H, Takami A, Ueda K, Tahara Y, Yonemoto N, Nonogi H, Nagao K, Ikeda T†, Sato N, Tsutsui H, for the Japanese Circulation Society With Resuscitation Science Study (JCS-ReSS) Group	JAMA Network Open	20200417	3	4	e203043		Original Article
295	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森), 医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 内科学講座 血液・腫瘍学分野(大森)	Early electrocardiographic indices for predicting chronic doxorubicin-induced cardiotoxicity.	Kinoshita T†, Yuzawa H†, Natori K†, Wada R†, Yao S†, Yano K†, Akitsu K†, Koike H†, Shinohara M†, Fujino T†, Shimada H†, Ikeda T†	Journal of Cardiology	20201005	77	4	388	394	Original Article
296	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森), 医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野(大森), 医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	A prospective randomized study comparing effects of empagliflozin to sitagliptin on cardiac fat accumulation, cardiac function, and cardiac metabolism in patients with early-stage type 2 diabetes: the ASSET study.	Hiruma S, Shigiyama F, Hisatake S†, Mizumura S†, Shiraga N†, Hori M, Ikeda T†, Hirose T†, Kumashiro N	Cardiovascular Diabetology	20210200	20	1	32		Original Article

297	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森), 医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野(大森)	Coronary spastic angina after the administration of intravenous immunoglobulin in myasthenia gravis: a case report.	Yanagihashi M, Okamoto R, Morioka H, Sawada M, Matsumoto S†, Ikeda T†, Kano O†	BMC Neurology	20200800	20	1	319		Case report
298	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野(大森)	Preface: promoting research in PLS: current knowledge and future challenges	Mitsumoto H, Turner M-R, all Delegates of the PLS Conference, Senda A-D, Patricia A, Jinsy A, Estela A, Juan M-S, Suma B, Richard B, Peter B, Michael B, Sheena C, Robin C, Philippe C, Merit C, Frank D, Mamede de C, Vivian D, Lauren E, Pam F-L, Jose A, Eoin F, John F, Mary K, Christina F, Angela G, Raghav G, Volkan G, Georg H, Orla H, Matthew H, Ghazala H, Terry H-P, Bryan H, Annemarie H, Edward H, Omar J, Kano O†, Kristen K, Matthew K, Kisanuki Y, Jerome K, Justin K, Dale L, Albert L, Ian M, Giovanni M, David M, Mitsuya M, Jennifer M, Sharon N, Bjorn O, Sabrina P, David P, John R, Kourosh R, Guy R, Stephen S, Teepu S, Naillah S, Vincenzo S, Zachary S, Jeffrey S, Bryan T, Marka v-B, Leonard v-d-B, David W, Deborah W, James W	Amyotrophic lateral sclerosis & frontotemporal degeneration	20201100	21		1	2	Original Article

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

No.	講座名	表題	著者・共著者	掲載誌名	発行年月日	巻	号	開始頁	終了頁	論文種別

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	○有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	○有・無
・ 手順書の主な内容 (手順書：見出し抜粋) 委員会設置について、医学部長および病院長の責務について、倫理委員会の役割について、委員ならびに事務に従事する者の責務について、教育・研修について、申請の手續について、審査事項について、報告について、記録の保存について、審査結果等の公表について、実施状況の報告、調査・中止および変更命令について、臨時の専門部会の設置について	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年10回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	○有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	○有・無
・ 規定の主な内容 (手順書：見出し抜粋) 設置について、目的について、構成員について、職務について、予算について、事務について、規程改定について	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年10回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容	

「APRIN e-ラーニングプログラム」 (WEB講習なので、受講は常時可能)

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針および利益相反について」 (WEB動画につき視聴常時可能)

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

東邦大学医学部は「良き臨床医の育成」を学是としている。「良き臨床医」とは、患者さんを全人的にかつ高い技術と適切な態度で診ることができる医師と考えている。卒後2年間の初期臨床研修が修了し、3年目以降は各自それぞれの専門分野に所属し研修を行うが、この後期臨床研修は、将来の医師としての質を決定する重要な期間である。

当院では、卒後3年目以降は5年間のレジデント、さらに5年間のシニアレジデントの職位を設け、大学付属病院においては専門性を求めた研修を行い、教育関連病院においては、それぞれの科の一般性を軸とした研修を行うことにより、幅広くかつ専門性の高い両輪での教育を実践している。

現在、具体的な後期研修プログラムには19の基本領域の他、多数のコース（口腔外科含む）があり（<https://www.trainee.med.toho-u.ac.jp/kouki/program.htm>）、臨床医としての基礎から専門性の高い領域までの教育が行われ、各分野の認定医・専門医・指導医などの資格を取得できる教育体制を整えている。もちろん、臨床のみならず、研究活動を同時に行い、学位を取得することも可能である。さらに、後輩の教育も重要な責務であり、医学生や研修医の教育を通じて、「良き臨床医」としての基盤を構築できる研修体制を確立している

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	184.8人
-------------	--------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	職 位	臨床経験年数	特記事項
池田 隆徳	内科	教授	35	
松裏 裕行	小児科	教授	39	
石河 晃	皮膚科	教授	35	
根本 隆洋	精神科	教授	26	
船橋 公彦	外科	教授	35	
高橋 寛	整形外科	教授	33	
森田 峰人	産婦人科	教授	38	
堀 裕一	眼科	教授	26	
和田 弘太	耳鼻咽喉科	教授	25	
中島 耕一	泌尿器科	教授	27	
周郷 延雄	脳神経外科	教授	33	
堀 正明	放射線科	教授	24	
武田 吉正	麻酔科	教授	34	
澁谷 和俊	病理診断科	教授	38	
盛田 俊介	臨床検査	教授	37	
本多 満	救急科	教授	38	
荻野 晶弘	形成外科	教授	22	
海老原 覚	リハビリテーション科	教授	31	
瓜田 純久	総合診療科	教授	36	
五十嵐 良典	消化器内科	教授	40	
池田 隆徳	循環器内科	教授	35	

岸 一馬	呼吸器内科	教授	31	
名取 一彦	血液内科	准教授	26	
弘世 貴久	糖尿病・代謝・内分泌内科	教授	36	
酒井 謙	腎臓内科	教授	35	
狩野 修	脳神経内科	教授	22	
南木 敏宏	膠原病・リウマチ内科	教授	31	
船橋 公彦	消化器外科	教授	35	
伊豫田 明	呼吸器外科	教授	30	
渡邊 善則	心臓血管外科	教授	39	
田井中 貴久	小児外科	准教授	22	
緒方 秀昭	乳腺外科	教授	33	
堀 正明	放射線診断	教授	24	
寺原 敦朗	放射線治療	教授	35	
端詰 勝敬	心療内科	教授	28	
與田 仁志	新生児科	教授	38	
田中 耕一郎	東洋医学	准教授	19	
関谷 秀樹	口腔外科	准教授	29	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

<p>① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）</p>
<p>・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 輸液ポンプ等医療機器に関する研修・3日・107名 ◇ BLS・AED研修（看護師）・4.5日（半日計9回）・89名 ◇ BLS・AED研修（クラーク、ヘルパーコメディカル等）・3日（90分3回）・18名 ◇ インフォームドコンセント：2日（半日2回）・99名 ◇ 看護倫理研修Ⅰ・2日（半日2回）・102名 ◇ 看護倫理研修Ⅱ・2日（半日2回）・55名 ◇ がん看護基礎研修・3日（半日3回）106名
<p>② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）</p>
<p>・研修の主な内容：研修の期間（実施回数）：研修の参加人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ メンバーシップ研修：1日（1.5h×4回）・101名 ◇ コーチング研修：1日（1回）・36名 ◇ コミュニケーション研修：2日（半日2回）・21名 ◇ プリセプター研修：1ヶ月（オンデマンド配信）・132名 ◇ 看護補助者研修（各種）：4日（半日8回）・69名 ◇ 看護管理者研修（各種）：29日（半日29回）・117名 ◇ 看護教育担当・指導者研修：4日（半日4回）・94名 ◇ セーフティ・マネジメント研修：1日（半日2回）・109名 ◇ 院内コンフリクト・マネジメント研修：1日・8名
<p>③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況)</p>
<p>・研修の主な内容：研修の期間（実施回数）：研修の参加人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇第20回大田区臨床薬剤セミナー、2020.10.27、120名 ◇第1回心不全トータルケア研究会、2021.2.22、40名 ◇緩和ケアオンラインセミナー、第1回9/11、第2回10/9（2回）、第1回2名 第2回3名 計5名

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ○ 2. 現状
管理責任者氏名	病院長 瓜田純久
管理担当者氏名	医療安全管理部・部長 前村俊満、感染管理部・部長 館田一博、薬剤部 副部長（部長代行 松本高広、臨床工学部 次長 元木康裕、総合相談部 部長 廣井直樹、中央放射線部 次長 大久保卓史、医療情報管理センター 課長補佐 草道裕子、総務課 事務次長 平松武昌、人事課 課長 樋山恵、医事課 課長 原田将則、医事課 課長 涌井芳樹

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	医療情報管理センター
		処方せん	医療情報管理センター
		手術記録	医療情報管理センター
		看護記録	医療情報管理センター
		検査所見記録	医療情報管理センター
		エックス線写真	医療情報管理センター
		紹介状	医療情報管理センター
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事課
		高度の医療の提供の実績	診療科及び総務課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	診療科及び総務課
		高度の医療の研修の実績	診療科及び総務課
		閲覧実績	医療情報管理センター
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部及び医事課
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	総務課及び医療安全管理部
			・書面綴りキャビネットでの施錠保管管理 ・電子保存およびターミナルデジット方式にて分類 ・診療記録・診療諸記録取り扱いに関する規定 ※診療録の学外への持出は原則禁止（「診療記録・診療諸記録取り扱いに関する規定」に準ずる）
			・当該規程・規約等に準じ、担当部門において、コンピュータ又はファイル等により保管、管理している。
			・当該規程・規約等に準じ、担当部門において、コンピュータ又はファイル等により保管、管理している。

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染管理部	・当該規程・規約等に準じ、担当部門において、コンピュータ又はファイル等により保管、管理している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	臨床工学部および中央放射線部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部および中央放射線部	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部および中央放射線部	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部および中央放射線部			

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部および総務課	・当該規程・規約等に準じ、担当部門において、コンピュータ又はファイル等により保管、管理している。
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課及び感染管理部	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理部	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報管理センター	
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	高難度新規医療技術管理部	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	未承認新規医薬品等管理部	
		監査委員会の設置状況	法人本部および病院総務課	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理部	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	総合相談部	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全管理部	
		職員研修の実施状況	医療安全管理部	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全管理部および総務課	
管理者が有する権限に関する状況	法人本部および総務課総務課			
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	法人本部および総務課			
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	法人本部および総務課			

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ○ 2. 現状
閲覧責任者氏名	事務部総務課 事務次長 平松武昌
閲覧担当者氏名	事務部総務課 課長 安江紀治
閲覧の求めに応じる場所	個人情報管理室
閲覧の手続の概要 病院宛てまたは病院長宛の公文書（書面）による依頼・照会に基づき、閲覧の申込みを受け付ける。受け付けられた内容に対し、病院長が認めた内容について閲覧を実施する。 なお、閲覧は、管理部署（事務部総務課）職員ならびに関係の教職員が立ち会い、指定の閲覧場所（個人情報管理室）にて行う。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	○有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>I 総則 II 組織および体制 III 医療安全管理委員会及び医療事故調査委員会等の設置 IV 報告等に基づく医療に係る安全確保を目的とした改善方策 V 職員研修 VI 医療事故への具体的対応・対策 VII 医療従事者と患者との情報共有 VIII 患者等からの苦情・相談への対応 IX 本指針の見直し</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（ ○有・無 ） 【医療安全管理委員会】</p> <p>・ 開催状況：年 44 回（週1回）</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>1) 重大な問題、医療安全管理委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合は、速やかに原因究明のための調査及び分析を行うこと。原因究明のための調査及び分析は、客観的事実から構造的原因を分析するものであり、個人の責任追及を行うものではないことに留意すること。</p> <p>2) 分析の結果を活用した医療安全の確保を目的とした改善方策の立案及び実施並びに従業者への周知を行うこと。医療安全の確保を目的とした改善方策の立案及び実施並びに従業者への周知とは、組織としての改善方策を企画立案及び実施し、医療機関において情報を共有するものであること。また、改善方策は、背景要因及び根本原因を分析し検討された効果的な再発防止策等を含むものであること。</p> <p>3) 改善方策の実施状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しを行うこと。改善方策の実施状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しとは、同様の事故等の発生状況の確認や、医療安全管理委員会の構成員が定期的に関係部署の巡回を行うなどをして調査を行い、必要に応じて医療安全の知見に基づいた見直しを行うものであること。</p> <p>4) 必要な検討内容について、患者への対応状況を含め管理者へ報告すること。</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>・ 第1回 全体研修（WEBセミナー）（2,480名：6月）</p> <p>・ 第2回 全体研修（WEBセミナー）（2,480名：12～1月）</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（ ○有・無 ）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>1) 院内での医療事故やヒヤリハット、その他報告が必要な事象に遭遇した場合インシデント・アクシデント支援システム（あんしん君）へ入力し、医療安全管理部へ報告する。 入院患者の死亡・死産は、院内死亡報告として、院内報告システム（モニ</p>	

- タ君)へ入力し、医療安全管理部へ報告する。
- 2) 管理者が定める22項目に該当する症例は、毎日報告(院長報告)として、院内報告システム(モニタ君)へ入力し、医療安全管理部へ報告する。その後、医療安全管理上の課題が認められる事例等は、関係者にMMカンファレンスの開催、また必要時、医療安全報告書の提出を求める。
 - 3) 毎週開催される医療安全管理委員会において、あんしん君と毎日報告(院長報告)で報告され全事例を評価する。その内、改善が必要と思われる事例については、関係者へ改善策の策定を求める。院内で協議・調整が必要な改善策は、医療の質統括会議へ提出する。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	○有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 骨子「院内感染より患者及び医療従事者の身を守るために、手指衛生及び感染予防策を徹底させる」 1. 感染対策に関する基本的考え方 2. 感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項 3. 感染対策のための従事者に対する研修に関する基本指針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 感染症発生時の対応に関する基本方針 6. 他病院との連携に関する基本方針 7. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 8. その他の感染対策の推進のために必要な指針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容：毎月1回定例として委員会を開催 ・ 厚労省・東京都等からの通達 ・ 感染症報告書の集計報告 ・ 主要菌サーベイランス報告 ・ 抗菌薬使用状況、耐性菌発生件数報告 ・ ICTラウンド結果報告 ・ 耐性菌警告書発行報告 ・ マニュアル改定・作成報告 ・ 研修報告 ・ 感染防止対策加算における連携に関する活動報告等を行い、院内感染上問題となる状況やその徴候について審議。また、衛生委員会、医療安全管理部と連携し、感染対策の推進を図っている。 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> ・ 全職員対象とした全体研修を年2回実施 ・ 新型コロナウイルス感染症の研修 ・ 新規採用者対象の院内感染の基礎知識等 ・ 微生物検査の提出と結果の解釈 	

- ・ 染症診療の基本と TDM ・ 届出
- ・ 静脈注射研修
- ・ 耐性菌伝播予防策の知識の習得
- ・ PPE着脱研修

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (○有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - ・ 各検査部における各種耐性菌の早期発見
 - ・ 電子カルテシステムを利用した感染情報の共有
 - ・ 臨床現場における感染予防策の徹底と耐性菌警告文書の発行
 - ・ 各種サーベイランスの実施
 - ・ 病棟・外来・その他施設の環境ラウンド及び耐性菌検出患者のラウンドの実施
 - ・ 抗菌薬適正使用の教育・推進活動
 - ・ 感染対策関連マニュアルの見直しと改訂

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る
措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年11回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： ・ 医薬品の有効性・安全性に関する情報 ・ 使用方法に関する事項 ・ 業務手順書に関する事項 ・ 副作用が発生した場合の対応に関する情報 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (○有・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： ・ 医薬品の業務手順書の作成 ・ 医薬品の安全使用のための研修 ・ 業務手順書に基づく実施状況の確認・記録 ・ 改善のための方策の実施 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (○有・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば)：なし ・ その他の改善のための方策の主な内容： <p>1) PMDAおよび製薬企業からの医薬品安全情報を速やかに伝達 (お知らせの配布・院内ネット (メール配信) の利用・会議報告)。</p> <p>2) クオリティマネージャー会議等を通じて報告内容を全職員に閲覧し周知を図っている。</p> <p>3) 院内副作用報告は医薬品情報室で一元化し、薬事委員会で報告後職員にも情報を発信している (13件)。</p> <p>以上の情報は、院内イントラネットで職員が全て随時入手できる体制となっている</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年163回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 除細動器の院内配置と使用時の留意点について講義 ・ 人工呼吸器の操作、注意事項についての講義および実技指導 ・ 放射線治療装置の操作、注意事項についての講義 ・ 閉鎖式保育器の操作、注意事項についての講義および実技指導 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定 (○有・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部委託(メーカー)定期保守：人工呼吸器、放射線治療装置、血液浄化装置、閉鎖式保育器、人工心肺装置、補助循環装置 ・ 院内実施定期保守：除細動器、血液浄化装置、輸液・シリンジポンプ 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (○有・無) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば)：なし ・ その他の改善のための方策の主な内容：「注射器、その他の容器の使用基準」改訂：ISO規格対応 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	○有・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全・医療の質に関わる担当者を配置し、当院の医療安全を統括する。 当院では安全担当副院長がその役割を担う。 毎週開催される医療安全管理委員会に、医療安全管理部、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者等が参加し、各担当業務の状況を医療安全管理責任者に報告している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（6名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品安全管理責任者は、医療法施行規則第9条20の2第3項第3号イ、ロに掲げる措置を適切に実施するとともに、その担当者に医療安全管理室専従の薬剤師を配置している。 ・医療安全管理室専従の薬剤師を活用し、新規採用職員・中途採用職員に対する医薬品安全使用のための教育を実施している。 ・医薬品に関する情報の収集・整理は、医薬品情報室に行わせる。 <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品安全管理責任者は医療安全管理室専従薬剤師に指示し、各部署からの未承認や適応外・禁忌に使用する医薬品情報を収集し報告を受ける。医療安全管理室専従薬剤師は医療安全管理委員会にて報告を行う。これらの報告から医薬品安全管理責任者は、必要に応じ医薬品の適正使用にかかる注意喚起（禁忌等や緊急安全性情報等）を院内全体に行わせ、必要に応じ手順の見直しを行っている。 <p>・担当者の指名の有無（○有・無）</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>（所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ） （所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	○有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する</p>	

規程の作成の有無 (○有・無)

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：医療安全への報告事例において適格な説明がなされているかその都度カルテにて確認している。説明において必須の内容が記載されていない場合は、その都度担当医に連絡し記載をするよう指導している

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

○有・無

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

◇全退院患者の診療録・診療諸記録について確認を行う〔量的監査〕と全診療科の診療録・診療諸記録について確認を行う〔質的監査〕にて診療録等の記載内容を確認している。

記載内容の監査については、以下の項目を中心に「診療録・診療諸記録監査マニュアル」に則って確認を行い、不備等があれば当該診療責任者と記載医へ通知を行っている。

【確認項目】：診療記録（検閲状況・経過記録の適時記載等）、インフォームド・コンセント、手術記録、退院サマリー、書類（入院診療計画書・検査等承諾書・手術承諾書・麻酔承諾書等）

◇主な指導（通知）内容：各項目の未記載・不備、病名の訂正・追加、日付の誤り、略語の訂正、I Cや書類の不備 等

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

○有・無

・所属職員：専従（12）名、専任（ ）名、兼任（11）名

うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（3）名

うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名

うち看護師：専従（3）名、専任（ ）名、兼任（1）名

（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

1)安全管理に関する基本的考え方や組織に関する基本的事項について明示した安全管理のため指針の策定に関すること

2)インシデント及びアクシデントの実態の把握と、その背景要因の分析と評価に関すること

3)「医療の質」の向上に関すること

4)院長報告基準に該当する事例が発生した場合、診療録その他の記録等が正確かつ十分になされていることの確認及び指導、事例の記録、保管に関すること

5)事故発生時の患者や家族の説明など対応状況についての確認、及び事故等の原因究明が適切に実

施されていることの確認及び、指導に関すること

- 6) 医療に係る安全の確保に資する診療状況の把握及び、職員の医療の安全に関する意識の向上の状況を確認し記録すること
- 7) 医療安全に関わる連絡調整に関すること
- 8) 医療の質統括会議の記録事務に関すること
- 9) 相談窓口等の担当者と密接な連携を図り、医療安全に係る患者・家族の相談に適切に応じる体制を支援すること
- 10) 定期的に院内を巡回し各部門における医療安全対策の実施状況を把握・分析し、医療安全確保のために必要な業務改善等の具体的な対策に関すること
- 11) 安全管理に関わる研修会の企画・運営に関すること
- 12) 医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他医療安全管理委員会庶務に関すること
- 13) 安全文化の醸成に関すること
- 14) その他医療安全の推進に関すること

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（10件）、及び許可件数（7件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（○有・無）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（○有・無）
- ・ 活動の主な内容：
高難度新規医療技術の導入を行う際には、各診療科から書類で高難度新規医療技術管理部門に申告する。高難度新規医療技術管理部は内容を確認し、評価委員会での審議が必要か否かを審議する。評価委員会は管理部とは独立しており、導入の可否、導入の方法を審議しその結果を管理部へ報告する。報告を受けた管理部は、評価委員会の結果を評価し、最終的な導入開始の決定を行う。承認された技術について、患者への説明および有事事象の有無を含め医療行為が適切に行われているかを評価する。
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（○有・無）

・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（○有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（1件）、及び許可件数（0件）

・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（○有・無）

・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（○有・無）

・活動の主な内容：

国内未承認の医薬品・医療機器を使用する際には、各診療科から書類で未承認新規医薬品等管理部に申請を行う。未承認新規医薬品等管理部は内容を確認し、評価委員会での審議が必要か否かを審議する。評価委員会は使用の可否を検討し管理部へ検討結果を報告する。報告を受けた管理部は、評価委員会での結果を評価し、最終的な使用開始の決定を行う。使用を認めた医薬品や医療機器について、患者への説明および医療行為が適切に行われているかをモニタリングし評価する。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（○有・無）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（○有・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 472 件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 360 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

（入院患者が死亡した場合の報告事項）

名称：院内死亡報告

システム：モニタ君

報告内容：入院患者の死亡および死産

対応：担当医は、入院患者の死亡および死産を、医療安全管理部へ報告する。医療安全管理部は、死亡・死産症例の診療記録を確認し、予期せぬ死亡かどうか、医療行為に起因するかどうかを確認する。医療安全管理部内の検討結果を、毎週開催される医療安全管理委員会で報告し、必要な対応等について審議する。

(入院患者の死亡以外の水準)

名称：毎日報告（院長報告）

システム：モニタ君

報告内容：濃厚な処置や治療が必要となる(3b以上となり得る)22項目を院長が設定、毎日病棟等関係部署より発生があったかどうか、あった場合は項目番号が医療安全管理部へ報告される。

対応：医療安全管理部内で毎日、現病等による病状の悪化か、予期したものか、加えられた追加治療は何か、3b以上であるか、等を検討する。医療安全管理部内の検討結果を、毎週開催される医療安全管理委員会で報告し、必要な対応等について審議する。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（○有（病院名：日大板橋病院）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（○有（病院名：日大板橋病院）・無）
- ・技術的助言の実施状況
令和2年度ピアレビューはCOVID-19のため書面でのレビューとした。
薬剤部内の麻薬や毒薬の保管庫に対する監視カメラの設置の検討・・・現在設置予定で準備中

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況

【体制の確保状況】

窓口の名称：総合相談・がん相談支援センター

相談日・時間：月曜日から金曜日 9:00 から 17:00

土曜日 9:00 から 14:00

(祝日・第3土曜日・年末年始・創立記念日6/10は除く)

責任者氏名：廣井直樹(医師)

(活動状況等)

●患者等への明示方法

- ・ポスターを1号館・2号館・3号館・5号館入り口付近、各科外来、検査施設等、全病棟に掲示し案内している。
- ・病院リーフレット「総合相談のご案内」を配布用として9か所に配置している。

- ・入院受付で配布している「入院のご案内」に掲載している。
- ・総合相談部入口横にカウンターを設け積極的に対応を行っている。
- ・院内案内図「A0(総合相談部)」場所(窓口)を案内している。
- ・ホームページに総合相談部の「主な活動」「相談内容」などを掲載している。
- 患者等が不利益を受けないよう適切に配慮の具体的方策
 - ・東邦大学医療センター大森病院 総合相談部規約第14条(相談情報の秘密保護)の規定順守。
 - ・ポスター、リーフレット、ホームページに「個人情報厳守し、不利益が生じないよう配慮しています」と記載している。
- 相談窓口以外の相談方法
 - ・ご意見箱の設置(22か所)
 - ・電話相談
 - ・大森病院ホームページ上にご意見・お問い合わせを受け取れる入力フォームの設置

⑫ 職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況
 - ・年2回全体研修 Web セミナー(医療安全・感染管理・病院機能評価・医薬品・IC・医療の倫理・個人情報保護・RRS などについて)
 - ・新入職者・研修医オリエンテーション
 - ・研修医対象医療安全研修(2回)
 - ・セイフティーマネジメント研修
 - ・東邦大学3病院医療安全研修(セイフティマネージャー対象に医療安全・臨床倫理)

(注) 前年度の実績を記載すること(⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

- ・研修の実施状況

管理者(病院長)

【研修時期】 令和 2 年 10 月 15 日

【研修内容】 2020 年度 特定機能病院管理者研修受講（予定）

【主催者名】 公益財団法人 日本医療機能評価機構（予定）

医療安全管理責任者：2020 年度未受講

医薬品安全管理責任者

【研修時期】 令和 2 年 10 月 15 日

【研修内容】 2020 年度 特定機能病院管理者研修

【主催者名】 財団法人日本医療機能評価機構

医療機器安全管理責任者

【研修時期】 令和 2 年 11 月 25 日

【研修内容】 2020 年度 特定機能病院管理者研修

【主催者名】 財団法人日本医療機能評価機構

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・ 第三者による評価の受審状況

◇ 日本医療機能評価機構 一般病院 3 機能種別版評価項目 3rdG : Ver. 2.0
(令和3年 1月20日・21日・22日 受審済み)

・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

指摘なし

・ 評価を踏まえ講じた措置

なし

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <p>東邦大学医学部附属病院長選任規程（内規）（令和3年1月1日 一部改訂）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定機能病院の被選任権者については前項に加え医療の安全の確保のために必要な資質及び能力（医療安全管理業務の経験や患者安全を第一に考える姿勢及び指導力を含む）及び組織管理能力等の当該病院を管理運営する上で必要な資質及び能力（当該病院内外での組織管理経験を含む）を有する者とする。また、選考に当たって、選考委員会は、求める資質及び能力についてあらかじめ当該病院のホームページに公表しなければならない。 ・ 医療安全管理者業務の経験とは、各号のいずれかの業務に従事した経験を有する者とする。 <ol style="list-style-type: none"> （1）医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者の業務 （2）医療安全管理委員会の構成員としての業務 （3）医療安全管理部門における業務 （4）その他上記に準じる業務 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ <input type="radio"/>有・無 <input type="radio"/> ） ・ 公表の方法 <p>病院のウェブサイトにて、規程を公表 https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/byoin/senkou.html</p>
--

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	○有・無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ <input type="radio"/>有・無 <input type="radio"/> ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ <input type="radio"/>有・無 <input type="radio"/> ） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ <input type="radio"/>有・無 <input type="radio"/> ） ・ 公表の方法 <p>病院のウェブサイトにて、規程を公表 https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/byoin/senkou.html</p> 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
炭山 嘉伸	理事長	○	選任規程による	○有・無
白井 久己	常務理事		選任規程による	○有・無
中村 俊一郎	常務理事		選任規程による	○有・無
高松 研	学長		選任規程による	○有・無

盛田 俊介	医学部長		選任規程による	○有・無
五十嵐 良典	病院所属の教授		選任規程による	○有・無
渡邊 善則	病院所属の教授		選任規程による	○有・無
中島 耕一	病院所属の教授		選任規程による	○有・無
田中 耕一郎	病院所属の准教授		選任規程による	○有・無
木内 俊介	病院所属の講師		選任規程による	○有・無
小林 七郎	外部委員		選任規程による (利害関係無し)	有・○無
川村 雅文	外部委員		選任規程による (利害関係無し)	有・○無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		○有・無	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 合議体の主要な審議内容 <p>診療部委員会（病院意思決定機関）で、病院の運営方針、中期計画、予算及び決算などを審議する。</p> ・ 審議の概要の従業者への周知状況 <p>会議の議事録等は院内イントラネットを用いて、各部署で閲覧できる仕組みにしている。</p> ・ 合議体に係る内部規程の公表の有無（ ○有・無 ） ・ 公表の方法 <p>内部規程は院内イントラネットを用いて、各部署で閲覧できる仕組みにしている。</p> ・ 外部有識者からの意見聴取の有無（ 有・○無 ） 			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
診療部委員会名簿 別紙参照			

診療部委員会 委員会名簿

更新日：2021/9/25

診療部委員会

役職	氏名	規約構成（選出根拠）	所属
委員長	瓜田 純久	病院長	病院長
委員	船橋 公彦	副院長	副院長
委員	酒井 謙	副院長	副院長
委員	中島 耕一	副院長	副院長
委員	小原 雅子	副院長	副院長
委員	瓜田 純久	各科診療責任者	総合診療内科
委員	島田 長人	各科診療責任者	総合診療外科
委員	五十嵐 良典	各科診療責任者	消化器内科
委員	船橋 公彦	各科診療責任者	消化器外科
委員	池田 隆徳	各科診療責任者	循環器内科
委員	渡邊 善則	各科診療責任者	心臓血管外科
委員	岸 一馬	各科診療責任者	呼吸器内科
委員	伊豫田 明	各科診療責任者	呼吸器外科
委員	弘世 貴久	各科診療責任者	糖尿病・代謝・内分泌センター
委員	酒井 謙	各科診療責任者	腎センター
委員	狩野 修	各科診療責任者	脳神経内科
委員	周郷 延雄	各科診療責任者	脳神経外科
委員	南木 敏宏	各科診療責任者	膠原病科
委員	松裏 裕行	各科診療責任者	小児科
委員	田井中 貴久	各科診療責任者	小児外科
委員	松裏 裕行	各科診療責任者	小児循環器科
委員	名取 一彦	各科診療責任者	血液・腫瘍科
委員	緒方 秀昭	各科診療責任者	乳腺・内分泌外科
委員	端詰 勝敬	各科診療責任者	心療内科
委員	根本 隆洋	各科診療責任者	精神神経科
委員	荻野 晶弘	各科診療責任者	形成外科
委員	高橋 寛	各科診療責任者	整形外科
委員	森田 峰人	各科診療責任者	産婦人科
委員	石河 晃	各科診療責任者	皮膚科
委員	中島 耕一	各科診療責任者	泌尿器科
委員	堀 裕一	各科診療責任者	眼科
委員	和田 弘太	各科診療責任者	耳鼻咽喉科
委員	堀 正明	各科診療責任者	放射線科
委員	武田 吉正	各科診療責任者	麻酔科
委員	田中 耕一郎	各科診療責任者	東洋医学科
委員	与田 仁志	各科診療責任者	新生児科
委員	海老原 覚	各科診療責任者	リハビリテーション科
委員	関谷 秀樹	各科診療責任者	口腔外科
委員	渋谷 和俊	各科診療責任者	病理診断科
委員	鷺澤 尚宏	中央診療部門	栄養治療センター
委員	中村 陽一	中央診療部門	緩和ケアセンター
委員	菊池 由宣	中央診療部門	化学療法センター
委員	本多 満	中央診療部門	救命救急センター

診療部委員会 委員会名簿

更新日：2021/9/25

診療部委員会

役職	氏名	規約構成（選出根拠）	所属
委員	島田 英昭	中央診療部門	がんセンター
委員	渡邊 善則	中央診療部門	大動脈センター
委員	永尾 光一	中央診療部門	リプロダクションセンター
委員	松田 尚久	中央診療部門	内視鏡部
委員	本多 満	中央診療部門	集中治療部
委員	池田 隆徳	中央診療部門	心血管インターベンション部
委員	池田 隆徳	中央診療部門	不整脈センター
委員	酒井 謙	中央診療部門	人工透析部
委員	島田 長人	中央診療部門	褥瘡ケアチーム
委員	五十嵐良典	中央診療部門	先端健康解析センター
委員	武田 吉正	中央診療部門	移植医療支援部
委員	片桐 由起子	中央診療部門	臨床遺伝診療部
委員	盛田 俊介	中央施設部門責任者	臨床検査部
委員	永井 英成	中央施設部門責任者	臨床生理機能検査部
委員	船橋 公彦	中央施設部門責任者	中央手術部
委員	堀 正明	中央施設部門責任者	中央放射線部
委員	塩野 則次	中央施設部門責任者	臨床工学部
委員	塩野 則次	中央施設部門責任者	輸血部
委員	松本 高広	中央施設部門責任者	薬剤部
委員	鷺澤 尚宏	中央施設部門責任者	栄養部
委員	渋谷 和俊	中央施設部門責任者	病院病理部
委員	高橋 寛	中央施設部門責任者	メディカルフォトセンター
委員	松裏 裕行	中央施設部門責任者	医療情報管理センター
委員	中島 耕一	中央施設部門責任者	地域医療支援センター
委員	松裏 裕行	中央施設部門責任者	保険医療指導部
委員	南木 敏宏	中央施設部門責任者	治験・臨床研究管理部
委員	狩野 修	中央施設部門責任者	国際医療支援部
委員	大島 勝	事務部長	事務部長
委員	前村 俊満	委員長指名	医療安全管理部
委員	宮崎 泰斗	委員長指名	感染管理部
委員	廣井 直樹	委員長指名	総合相談部
委員	高井 雄二郎	委員長指名	電子情報委員会
委員	原 規子	委員長指名	羽田空港クリニック
委員	並木 温	委員長指名	卒後臨床研修/生涯教育センター

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ ○有・無 ）
- ・ 公表の方法
病院ウェブサイト（<https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/byoin/tokutei.html>）
および院内細則
- ・ 規程の主な内容

管理者が病院の管理・運営に必要な指導力を発揮できる内容、有する権限を記載している。

<一部抜粋>

管理者は、前項に定めるもののほか、次の各号に掲げる事項に関する職務を行う。

- （1）医療安全管理について、十分な知見に基づく高度な医療安全管理体制の確保
 - （2）高度かつ先進的な医療の提供
 - （3）病院組織の総合的な状況把握と、これらを含めた適切な病院の管理及び運営
 - （4）高度の医療技術の研究、開発及び評価
 - （5）学生、医師、関連医療職の医療に関する教育及び研修等の実施
 - （6）地域医療機関との連携
 - （7）診療及び病院の運営等に関する諸記録の適正な管理
 - （8）病院に関する経営情報等の把握と経営状況の改善
 - （9）病院情報システムの管理
 - （10）病院の個人情報の管理
 - （11）病院の事業計画、中期計画、予算の策定及び管理
 - （12）病院の施設整備及び改善
 - （13）病院に勤務する職員の労働環境及び労働条件の改善
 - （14）理事会への病院部門の意向提言及び病院職員への経営方針等重要事項の周知
 - （15）理事長から特別に委任された事項
 - （16）その他の病院運営に関する重要な事項
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割別紙参照（執行部担当表）
 - ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
院内研修として、将来構想若手勉強会の開催
外部研修として、医事研究会、医療安全研修などへ参加している。

執行部担当表(2021.8.修正版)

職名	氏名	所属		担当	主催会議・委員会(規約要件)
病院長	ウリタ ヨシヒサ 瓜田 純久	総合診療内科	教授		01 病院運営審議会 04 院内選考委員会 07 医療の質統括会議 13 薬事委員会 14 新規診療材料購入委員会 37 心肺蘇生委員会 41 ホランティアコーディネート委員会 35 臨床修練委員会
副院長	フナハシ キミヒコ 船橋 公彦	消化器外科	教授	◎安全管理統括 ○医療安全・医療の質 ◎教育統括 ◎病床運営 ○中央手術部運営	07 医療の質統括会議 09 医療安全管理委員会 52 特定行為業務管理委員会 10 がんセンター運営委員会 8 中央手術部運営委員会
副院長	サカイ ケン 酒井 謙	腎センター	教授	◎診療・当直関係 ◎院内感染統括 ◎労働安全衛生統括 ◎病院機能評価受審関	04 院内選考委員会 013 院内感染対策委員会 26 働き方改革検討委員会 29 医療ガス安全管理委員会 31 院内廃棄物管理委員会 42 衛生委員会 46 院内清掃環境委員会 16 栄養委員会 ※ 将来構想委員会
副院長	ナカジマ コウイチ 中島 耕一	泌尿器科	教授	◎業務管理統括 ◎地域連携・救急 ○病床調整 ◎ハラスメント ○労働安全衛生 ◎予算	18 臨床検査検討委員会 20 地域医療支援センター運営委員会 47 広報委員会 ○羽田診療を含む 26 働き方改革検討委員会(運審推薦・外科) ※ 医学部予算委員会
副院長	オハラ マサコ 小原 雅子	看護部	部長	◎看護担当 ◎病床運営 ◎特定行為関係	4 看護師長会議 43 レクリエーション委員会 52 特定行為業務管理委員会
院長補佐	スゴウ ノブオ 周郷 延雄	脳神経外科	教授	◎業務関係 ◎検診関係 ・放射線安全管理	2 医局長会議 3 業務管理会議 24 輸血療法委員会 21 検診センター運営委員会
院長補佐	ナンキ トシヒロ 南木 敏宏	膠原病科	教授	◎倫理関連 ◎国際医療支援統括	02 大森病院倫理委員会 18 先進医療委員会 19 TDM委員会 05 治験審査委員会 50 国際医療支援部運営委員会
院長補佐	ホリ ユウイチ 堀 裕一	眼科	教授	◎教育関連 ◎外来・病棟運営 ◎保育園運営	33 院内教育委員会 34 院内研修運営委員会 35 臨床修練委員会 36 研修管理委員会 40 「からだのとしよしつ」運営委員会 6 外来運営委員会 7 病棟運営委員会 ※ 保育園運営委員会
院長補佐	マエムラ トシミツ 前村 俊満	医療安全管理部	准教授	◎医療安全 ◎総合相談	9 医療安全管理委員会 12 総合相談部運営委員会 38 患者サービス・サポート委員会
院長補佐	タカイ ユウジロウ 高井 雄二郎	呼吸器内科	准教授	◎個人情報	11 未承認新規医薬品等評価委員会 25 個人情報保護委員会 15 クリニカルパス委員会 28 電子情報委員会
院長補佐	ミヤザキ タイト 宮崎 泰斗	感染管理部	院内講師	◎感染管理	013 院内感染対策委員会
事務部長	オオシマ マサル 大島 勝	事務部	部長	◎事務部管理	5 事務部課長会議 29 医療ガス安全管理委員会 31 院内廃棄物管理委員会 32 防災対策委員会

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況	○有・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>◇委員会は、当該病院における医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務状況について、管理者等から報告を求め、または必要に応じて自ら確認を実施する。医療安全に関する研修報告、事故事例報告、医療安全運営改善報告などがこれにあたる。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（○有・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（○有・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（○有・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（○有・無）</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p>病院ウェブサイトにて公開 https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/byoin/evaluation/audit.html</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
梅田 勝	東京工科大学 医療保健学部 学部長（医師）	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・○無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
小林 七郎	弁護士（東京弁護士会）		法律に関する識見を有する者	有・○無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
岩本 裕	NHKチーフ・プロデューサー		医療メディアに関する識見を有する者	有・○無	医療を受ける者その他の医療従事者以外の者
高松 研	東邦大学 学長 (医師)		医療に関する識見を有する者	○有・無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
盛田 俊介	東邦大学医学部 学部長 (医師)		医療に関する識見を有する者	○有・無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
				有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容

法人本部監査室

- ・ 専門部署の設置の有無 (有・無)

- ・ 内部規程の整備の有無 (有・無)

- ・ 内部規程の公表の有無 (有・無)

- ・ 公表の方法

学内ポータルサイト

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 <ul style="list-style-type: none"> ◇理事会（法人） <ul style="list-style-type: none"> 理事会は、病院の予算執行状況等、管理運営に関する重要事項について監督する ・ 会議体の実施状況（ 年11回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ ○有・無 ）（ 年11回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ ○有・無 ） ・ 公表の方法 学内ポータルサイト 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：理事会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
理事会名簿 別紙参照			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

学校法人東邦大学 役員（理事・監事）名簿

令和3年9月1日現在

理事長	炭山 嘉伸
常務理事	白井 久己
常務理事	中村 俊一郎
理事	高松 研
理事	盛田 俊介
理事	田中 芳夫
理事	古田 寿昭
理事	岸 恵美子
理事	瓜田 純久
理事	小家 一彦
理事	岩渕 聡
理事	多田 周右
理事	酒井 康弘
理事	額田 均
理事	加藤 裕芳
理事	吉田 茂雄
理事	大島 範子
監事	西込 明彦
監事	山田 眞之助

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ ○有・無 ）・ 通報件数（令和2年度：0件）・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ ○有・無 ）・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ ○有・無 ）・ 周知の方法 全体研修および各種会議にて報告、院内通知文での発信

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	○有・無
<p>・ 情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>◇ 地域連携学術セミナーを年 1 回開催し、当院の診療内容・方針を理解していただき、地域医療機関との医療連携促進に役立てているが、前年度は新型コロナウイルス感染対策により集会形式での開催は中止とした。しかしながら、参加者向けの講演者動画を撮影・配信した。</p> <p>◇ 公開講座を実施し、一般の方に対して、広く情報発信を行っている。年間10回開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染対策に開催は中止した。</p> <p>◇ 広報誌「The Expert」を月に 1 回発行し、当院の診療科医師などの紹介、診療内容について広く情報発信を行っている。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	○有・無
<p>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>◇ 組織横断的なチームを形成することで、複数の診療科・多職種の職員が連携して、従前より診療対応に当たっている。呼吸ケア、褥瘡ケア、認知症ケアチーム、周術期センター等がこれにあたる。</p>	